

校舎トイレ改修工事（東小）

株式会社細田設計

校舎トイレ改修工事（東小）

図面リスト								
図面番号	図面名称	縮尺 A1・A3	図面番号	図面名称	縮尺 A1・A3	図面番号	図面名称	縮尺 A1・A3
Aー00	表紙	—	Aー31	建具表 1（A便所）	1/50・1/100	Mー01	機械設備工事 特記仕様書（1）	—
Aー01	図面リスト	—	Aー32	建具表 2（A便所）	1/50・1/100	Mー02	機械設備工事 特記仕様書（2）	—
Aー02	特記仕様書（改修その1）	—	Aー33	建具表 3（B便所）	1/50・1/100	Mー03	機械設備工事 特記仕様書（3）	—
Aー03	特記仕様書（改修その2）	—	Aー34	建具表 4（C便所）	1/50・1/100	Mー04	機械設備工事 器具表（改修前・改修後）	—
Aー04	特記仕様書（改修その3）	—	Aー35	建具表 5（職員便所）	1/50・1/100	Mー05	機械設備工事 部分系統図（便所部分）	—
Aー05	特記仕様書（改修その4）	—	Aー36	軽量片引きフラッシュ戸詳細図	1/5・1/10 1/20・1/40	Mー06	機械設備工事 校舎 1・2階平面図	1/200・1/400
Aー06	特記仕様書（改修その5）	—	Aー37	仮設計画図（配置図）	1/400・1/800	Mー07	機械設備工事 校舎 3・R階平面図	1/200・1/400
Aー07	特記仕様書（改修その6）	—	Aー38	仮設計画図（校舎平面図）	1/200・1/400	Mー08	機械設備工事 A便所平面詳細図	1/50・1/100
Aー08	工事区分表	—				Mー09	機械設備工事 B便所平面詳細図	1/50・1/100
Aー09	案内図	1/2500・1/5000				Mー10	機械設備工事 C便所平面詳細図	1/50・1/100
Aー10	配置図	1/400・1/800				Mー11	機械設備工事 職員便所平面詳細図	1/50・1/100
Aー11	仕上表	—						
Aー12	平面図	1/200・1/400						
Aー13	A便所 矩計図（改修前・後）	1/30・1/60						
Aー14	A便所 平面詳細図（改修前・後）	1/50・1/100						
Aー15	A男子便所 展開図（改修前・後）	1/50・1/100						
Aー16	A女子便所 展開図（改修前・後）	1/50・1/100						
Aー17	B便所 平面詳細図（改修前・後）	1/50・1/100						
Aー18	B男子便所 展開図（改修前・後）	1/50・1/100						
Aー19	B女子便所 展開図（改修前・後）	1/50・1/100						
Aー20	C便所 平面詳細図（改修前・後）	1/50・1/100	Eー01	電気設備工事 特記仕様書（1）	—			
Aー21	C男子便所 展開図（改修前・後）	1/50・1/100	Eー02	電気設備工事 特記仕様書（2）	—			
Aー22	C女子便所 展開図（改修前・後）	1/50・1/100	Eー03	電気設備工事 A便所設備図	1/50・1/100			
Aー23	バリアフリースイイレ 前室 展開図（改修前・後）	1/50・1/100	Eー04	電気設備工事 B便所設備図	1/50・1/100			
Aー24	職員便所 平面詳細図・天井伏図（改修前・後）	1/50・1/100	Eー05	電気設備工事 C便所設備図	1/50・1/100			
Aー25	職員男子便所 展開図（改修前・後）	1/50・1/100	Eー06	1階C便所 電気設備図	1/50・1/100			
Aー26	職員女子便所 展開図（改修前・後）	1/50・1/100	Eー07	バリアフリースイイレ コンセント・呼出し設備図	1/50・1/100			
Aー27	A便所 天井伏図（改修前・後）	1/50・1/100	Eー08	職員便所平面詳細図	1/50・1/100			
Aー28	B便所 天井伏図（改修前・後）	1/50・1/100						
Aー29	C便所 天井伏図（改修前・後）	1/50・1/100						
Aー30	部分詳細図	1/20・1/40 1/30・1/60						

[illegible]

5

建具改修工事

①改修工法

[5. 1. 3]

建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

・7A型鋼製建具

—

—

・建具表による

・樹脂製建具

—

—

・建具表による

○鋼製建具

・外部

—

・建具表による

○鋼製建具

・内部

○

○建具表による

・鋼製軽量建具

—

—

・建具表による

・ステンレス製建具

—

—

・建具表による

・木製建具

—

—

・建具表による

新規に建具を設ける場合

・窓図示

・

壁部分の開口の開け方

・窓図示

・

新規建具周囲の補修工法及び範囲

・窓図示

・

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章

防水改修工事による。

・

2

防火戸

適用箇所

・建具表による

・

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

・行方（※建具表による）

・行わない

3

見本の製作等

建具見本の製作

・行方（建具符号：）

・行わない

建具見本作の目的等：（）

・

・行わない

特殊な建具の仮組

・行方（建具符号：）

・

4

防犯建物部品

適用箇所

（・建具表による）

・

・

5

アルミニウム製建具

性能値等

[5. 2. 2～5][表5. 2. 1、2]

耐風圧性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

気密性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

水密性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

外部に面する建具の種別

・

・

種別

耐風圧性

気密性

水密性

枠見込み(mm)

施工箇所

・A種

S-4

A-3

W-4

・70

※図示による

・B種

S-5

—

W-5

・100

※図示による

・C種

S-6

A-4

W-6

・

※図示による

防音ドア、防音サッシ

・

・

遮音性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

□

（適用する建具

※建具表による）

断熱性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

材料

・ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

・

・

表面処理

・

・

外部に面する建具

種別

・BB-1種

・BB-2種

・

着色

・標準色

・特注色

・

屋内の建具

種別

・BC-1種

・BC-2種

・

着色

・標準色

・特注色

・

結露水の処理方法

・水貯め式

・排水式

・

工法

・水切り板、ぜん板等

※図示

・

6

網戸等

種類

材種

線径

網目

・防虫網

※合成樹脂製

・ガラス繊維入り合成樹脂製

・ステンレス(SUS316)製

・

※0.25mm以上

・

※16～18メッシュ

・防鳥網

ステンレス(SUS304)線材

1.5mm

網目寸法15mm

7

樹脂製建具

性能値等

[5. 2. 2][5. 3. 2～5]

耐風圧性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

気密性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

水密性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

外部に面する建具の種別

・

・

種別

耐風圧性

気密性

水密性

枠見込み(mm)

施工箇所

・A種

S-4

—

W-4

・

※図示による

・B種

S-5

—

W-5

・

※図示による

・C種

S-6

A-4

W-6

・

※図示による

防音ドア、防音サッシ

・T-1

・T-2（適用する建具

※建具表による）

遮音性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

□

（適用する建具

※建具表による）

断熱性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

外部に面する建具の日照熱取得性の等級

・

・

枠の見込み寸法

※建具表による

・

材料

・ガラス

※複層ガラス

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

・

・

表面色

・標準色

・特注色

・

工法

・水切り板、ぜん板

※図示

・

⑧鋼製建具

[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]

性能値等

[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]

簡易気密型ドアセット

・適用する（※建具表による）

・

○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

・

・

耐風圧性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

防音ドア、防音サッシ

・

・

遮音性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

□

（適用する建具

※建具表による）

断熱性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

耐震ドア

・

・

面内変形追従性の等級（・D-1:1/300

・D-2:1/120

・D-3:1/100）

（適用する建具

※建具表による）

材料

・ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

・

・

鋼板類の厚さ

・

・

大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)

※建具表による

・

上記以外の鋼製建具

※[表5. 4. 2]による

・建具表による

・

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※建具表による

・

・

⑨鋼製軽量建具

[5. 2. 2][5. 5. 2～4]

性能値等

[5. 2. 2][5. 5. 2～4]

簡易気密型ドアセット

・適用する（※建具表による）

・

○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

・

・

耐風圧性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

防音ドア、防音サッシ

・

・

遮音性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

□

（適用する建具

※建具表による）

断熱性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

耐震ドア

・

・

面内変形追従性の等級（・D-1:1/300

・D-2:1/120

・D-3:1/100）

（適用する建具

※建具表による）

材料

・鋼板

・亜鉛めっき鋼板

・ビニル被膜鋼板

・カー鋼板

・ステンル鋼板

・ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

・

・

鋼板類の厚さ

・

・

大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)

※建具表による

・

上記以外の鋼製軽量建具

※[表5. 5. 1]による

・建具表による

・

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※建具表による

・

・

⑩ステンレス製建具

[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2～5]

性能値等

[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2～5]

簡易気密型ドアセット

・適用する（※建具表による）

・

○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

・

・

耐風圧性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

防音ドア、防音サッシ

・

・

遮音性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

□

（適用する建具

※建具表による）

断熱性の等級（）

（適用する建具

※建具表による）

耐震ドア

・

・

面内変形追従性の等級（・D-1:1/300

・D-2:1/120

・D-3:1/100）

（適用する建具

※建具表による）

材料

・ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

・

・

表面処理

・

・

ステンレス鋼板の曲げ加工

※普通曲げ

・角出し曲げ

・

⑪木製建具

[5. 7. 2～4]

建具材の加工、組立時の含水率

※A種

・

建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

・

⑫建具用金物

[5. 8. 1～3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等

※[表5. 8. 1]及び適用は建具表による

・

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※[表5. 8. 2]による

・建具表による

・

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※[表5. 8. 3]による

・建具表による

・

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※[表5. 8. 4]による

・建具表による

・

木製建具に使用する戸車及びレール

※[表5. 8. 5]による

・建具表による

・

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置

・建具表による

・図示

・

錠前類

・

・

シンドラ箱錠及びシンドラ棒締り錠

・

・

クローザ錠

・

・

13錠

[5. 8. 4]

マスターキー

・製作する（・新規・既存マスター合わせ）

・製作しない

[5. 8. 4]

その他の錠

※各室3本1組（室名れ付き）

・

鍵箱

・無

・有

・

14自動ドア開閉装置

[5. 9. 2、3]

戸の開閉方式

・

・

・建具表による

・

引き戸用駆動装置

・

・

性能値

※改修標準仕様書表5. 9. 1による

（防錆

・適用する

・適用しない）

・耐腐食

・耐電圧（）

・温度上昇（）

・防錆（）

・電源（）

・

・車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置

・

・

性能値

※改修標準仕様書表5. 9. 2による

（防錆

・適用する

・適用しない）

・耐電圧（）

・耐電圧（）

・温度上昇（）

・防錆（）

・電源（）

・

引き戸用検出装置の種類及び必要性項目

・建具表による

・

タッチスイッチの種類

・

・

連続式タッチスイッチ

・光線式タッチスイッチ

・

車椅子使用者用便所スイッチの種類

・

・

・大型押しボタンスイッチ

・非接触スイッチ

・

凍結防止措置

・行方

・行わない

・

15自閉式上吊り戸装置

[5. 10. 3]

性能

※[表5. 10. 1]による

・

・

16重量シャッター

[5. 11. 2、3]

シャッターの種類

・管理用シャッター

・単用防火シャッター

・屋内用防火シャッター

・防壁シャッター

・

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（）Pa

・

・

開閉方式の種類

※電動式（手動併用）

・手動式

・

安全装置

・

・

電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置

（設置箇所

・建具表による

・

電動式シャッターの障害物感知装置

（設置箇所

・建具表による

・

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置

（設置箇所

・建具表による

・

管理用シャッターのシャッターケース

・設ける

・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板の材質

・

・

種類

・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・

めっきの付着量

※Z12又はF12

・

ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる

・

・

スイッチボックス類のふたの材質

・

・

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

17軽量シャッター

[5. 12. 2～4]

開閉形式の種類

・電動式（手動併用）

※手動式

・

耐風圧強度（）Pa

・

・

安全装置

・

・

電動式シャッターの障害物感知装置（設置箇所

・建具表による

・

スラットの材質の種類

・

・

・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・めっき付着量

※Z06又はF06

・

・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）

・めっき付着量

※AZ90

・

スラットの形状

・インターロック形

・オーバラッピング形

・

18オーバヘッドドア

[5. 13. 2、3]

セクション材料による区分

風圧力による強さの区分(Pa)

開閉方式による区分

収納形式による区分

ガイドレールの材質

※スチールタイプ

・125

※バランス式

・スタンダード形

※溶融亜鉛

・アルミニウムタイプ

・100

・チエーン式

・ローヘッド形

・めっき鋼板

・ファイバークラスタイプ

・75

・電動式

・ハイルフト形

・ステンレス鋼板

・50

・

・パーチカル形

・

電動式オーバヘッドドアの障害物感知装置

（設置箇所

・建具表による

・

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。

・フロート板ガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類

※建具表による

・

○型板ガラス

・

・

型板ガラスの厚さによる種類

※建具表による

・

・網入板ガラス

・

・

網又は線の形状、板の表面の状況及び厚さの呼びによる種類

※建具表による

・

・合わせガラス

・

・

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ

※建具表による

・

形状による種類

・平面合わせガラス

・曲面合わせガラス

・

落球衝撃及び離特性及びショットバック衝撃特性による種類

・Ⅰ類

・Ⅱ-1類

・Ⅱ-2類

・Ⅲ類

・

○強化ガラス

・

・

形状による種類、材料板ガラスの種類による名称

※建具表による

・

破片の状況及びショットバック衝撃特性による種類

・Ⅰ類

・Ⅲ類

・

・熱線吸収板ガラス

・

・

板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

・

性能による種類

・1種

・2種

・

・複層ガラス

・

・

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

※建具表による

・

断熱性による区分

・T1

・T2

・T3

・T4

・T5

・T6

・

日照取得性及び日照遮蔽性による区分

・G

・S

・

乾燥気体の種類

・空気

・アルゴン

・

・熱線反射ガラス

・

・

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

・

日照熱遮へい性による区分

・1種

・2種

・3種

・

耐久性による区分

（日照熱遮へい性が2種の場合）

・A種

・B種

・

・倍透ガラス

・

・

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

・

・

建具の種類

ガラス留め材

ガラス溝の大きさ(mm)

アルミニウム製

・シーリング材

※建具の製造所の仕様による

・グレイジングチャンネル

・

・図示による

鋼製及び鋼製軽量

・シーリング材

※建具の製造所の仕様による

ステンレス製

・シーリング材

※建具の製造所の仕様による

樹脂製

・グレイジングチャンネル

※建具の製造所の仕様による

・

・

・

呼び寸法(mm)

厚さ(mm)

色調

目地幅(mm)

伸縮調整目地位置(mm)

防火性能

・160×160

・95

・

・

・

・

・200×200

・95

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状

※図示

・

力骨

材質

※ステンレス鋼(SUS304)

・

寸法

※径5.5mm

・

形状

※はしご形状筋及び単筋

・

化粧目地モルタルの色

・白

・グレー

・

シーリングの種類

・SR-1

・PS-1

・

金属製化粧カバー

材質

※ステンレス製

・アルミニウム製

・

寸法

※図示

・

形状

※図示

・

目地部の横力骨の納まり

※ガラスブロック製造所の仕様による

・図示

・

21ガラス用フィルム

[5. 14. 5]

種類

記号

その他性能等

・日照調整フィルム

□

※SC-1

・SC-2

可視光線透過率：65%以上

・低放射フィルム

・LE

・

・衝撃破壊対応ガラス

・G1-1

・G1-2

・

・飛散防止フィルム

・GD-1

・GD-2

・

・飛散防止フィルム

・GD-1

・GD-2

・

・ガラス貫通防止フィルム

・SF

・

品質

JIS A 5759による

・

熱割れ計算書

※要

・不要

・

第3者機関による性能測定データ

※要

・不要

・

6

内装改修工事

①改修範囲

[6. 1. 3]

既存床の撤去及び下地補修

・

・

③既存壁の撤去及び下地補修

[6. 3. 2]

④施工一般

[6. 5. 2]

⑤製材

[6. 5. 2]

⑥造作用集材

[6. 5. 2]

7造作用単板積層材

[6. 5. 2]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

[6. 1. 3]

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示

・

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

・

・

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示

・

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま

・図示

・

ビニルシート等の除去

※仕上げ材のみ（接着剤とも）

[6. 2. 2]

・下地モルタルとも（・図示の範囲

・除去範囲全て）

・

合成樹脂塗床材の除去工法

・機械的除去工法

・目荒し工法

・

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。

・

・

改修後の床の清掃範囲

※改修箇所の室内

・

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

[6. 3. 2]

※[4. 3. 10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置

※図示）

・図示

・

・

⑤製材

[6. 5. 2]

・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材

[6. 5. 2]

施工箇所

寸法(mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

・

・

※2級

・

・

・

・

・

※2級

・

・

・

・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材

[6. 5. 2]

施工箇所

寸法(mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

見え掛り面

・

※上小節

・

※A種

・B種

・

見え掛り面以外

・

※小節以上

・

※A種

・B種

・

・

・

・

・

・

・

・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材

[6. 5. 2]

施工箇所

寸法(mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

・

・

※1等

・

・

・

・

・

※1等

・

・

・

・JAS 1083（製材）以外の製材

[6. 5. 2]

施工箇所

寸法(mm)

材面の品質

含水率

防虫処理の適用

間伐材等の適用

（）

・

※A種

・B種

・

・

（）

・

※A種

・B種

・

・

・「集材材の日本農林規格」による造作用集材

[6. 5. 2]

施工箇所

品名

樹種名

見付け材面数

寸法(mm)

見付け材面の品質

間伐材等の適用

額縁等

・

杉

・

・

※1等

・2等

・

・

・

・

・

・

・

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材

[6. 5. 2]

施工箇所

品名

化粧薄板の樹種名

芯材の樹種名

化粧薄板の厚さ(mm)

見付け材面数

寸法(mm)

見付け材面の品質

間伐材等の適用

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材

[6. 5. 2]

施工箇所

樹種名

寸法(mm)

見付け材面の品質

含水率

間伐材等の適用

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材

[6. 5. 2]

施工箇所

化粧薄板の樹種

芯材の樹種

寸法(mm)

化粧薄板の厚さ(mm)

見付け材面の品質

含水率

間伐材等の適用

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

[6. 5. 2]

施工箇所

品名

寸法(mm)

表面の品質

防虫処理の適用

間伐材等の適用

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

[6. 5. 2]

施工箇所

寸法(mm)

表面の品質

含水率

防虫処理の適用

間伐材等の適用

・

・

⑧合板等

・「合板の日本農林規格」による普通用合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
収納棚板 床下地	※5.5 ○図示	シナ ラワン	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード [G]

施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※P又はM		※15

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

・MDF [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態 による区分	曲げ強さに よる区分	接着剤に よる区分	難燃性に よる区分

9接合金等

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つづし頭釘打ち ・釘頭現し諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
・ 寸法： 材質：

⑩接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆

11防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理

適用部材

・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部材

※薬剤の製造所の仕様による ※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位 ()
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位 ()

12内部間仕切軸組及び床組み

間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松
床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松

⑬窓、出入口その他

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 ※松又は杉
その他 ※松又は杉

⑭軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋外 (※25形 ・19形) 屋内 (※19形 ・25形)
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びびんサートの間隔 ・図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
野縁の間隔 ・図示 ・
既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・ () 箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
() N
・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井のふとところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・
補強方法 ※図示 ・

⑮軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 ※表6.7.1により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 ・図示
※表6.7.1により「スタッドの高さが5mmを超える場合 ※図示
出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4.(5)]による ・

⑯ビニル床シート [G]

[6.8.2.3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS (複層ビニル床シート)	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・2.5	

17ビニル床タイル [G]

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
※KT (コホ ジョンビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0	
・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0	
・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0 ・4.0	
・FOA (置き敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0	
・FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物			

18特殊機能床材

[6.8.2]

- ・帯電防止床シート 種類 () 性能 () 厚さ (mm) ()
- ・帯電防止床タイル 種類 () 性能 () 寸法 (mm) (×) 厚さ (mm) ()
- ・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
- ・耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ (mm) ()
- ・防滑性床シート 種類 () 厚さ (mm) ()
- ・防滑性床タイル 種類 () 寸法 (mm) (×) 厚さ (mm) ()

⑰ビニル幅木

材質の種類 ・軟質 ・硬質 ○床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2]
高さ(mm) ※60 ・75 ・100
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

20ゴム床タイル

[6.8.2]種類 ・単層品 ・積層品
色柄 ()
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) () × ()

21カーペット敷き[G]

[6.9.2.3][表6.9.1]

織り方	バイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフエスカーペット ・アズミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル

色柄 ※模様のない無地
バイル系の繊維種等 ※無地の縞りじゅうたんの種類 (・A種 ・B種 ・C種)
帯電性 適用する 適用しない
縞じゅうたんの接合法 帯電性 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・タフテッドカーベットのバイル形状

種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループバイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットバイル	・第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	

22合成樹脂床床

[6.10.2.3]

種類	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (弾力性樹脂系塗床)		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (1.5mm樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂めし工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 (1.5mm樹脂系塗床)			※平滑仕上げ
・ポリウレタン塗床材 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

23フローリング張り[G]

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2～6]
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による ・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・
単層フローリング (フローリングボード1等)
工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法
樹種 ※なら ・
間伐材等の適用 ・する ・しない
単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種 ・
厚さ(mm) ・
大きさ ・
間伐材等の適用 ・する ・しない
複合フローリング
工法 ・釘止め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法
樹種 ※なら ・
種類 ・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用 ・する ・しない
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・
・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワックス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

24畳敷き

種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)
下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン [G])
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳 (畳表： ・C1 ・C2)
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2.3]
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2.(2)(4)の(a)～(d)のいずれか ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
木質系セメント板[G]

種 類	厚さ(mm)	規格等
・硬質(HW)	・15 ・20 ・25	
・中質(MW)	・15 ・20 ・25	
・普通(NW)	・15 ・20 ・25	

木片セメント板[G]

種 類	厚さ(mm)	規格等
・硬質(HF)	・12 ・15 ・18 ・21	
・普通(NF)	・30	

繊維強化セメント板

種 類	厚さ(mm)	規格等
・けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ2 (無石棉)	・6 ・8
・化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ2 (無石棉)	・6 ・8
	表面への化粧張り等の加工 ・アクリル樹脂系接着剤	

火山性ガラス質複層板

種 類	厚さ(mm)	規格等
・火山性ガラス質複層板	・図示による	

繊維板

種 類	厚さ(mm)	規格等
ハードボード(素地)	・素地ハードボード(未研磨板(RN)・研磨板(RS))	
スタンダードボード(無処理)	・内装用化粧ハードボード(D1) 厚さ・2.5・3.5・5・7	
テンハードボード(処理)	・素地ハードボード(未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・外装用化粧ハードボード(DE) 厚さ・2.5・3.5・5・7	
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)[G]	厚さ・3・7・9・12	
・インシュレーションボード[G]	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ ・) ・9 ・12 ・15 ・18	

パーティクルボード[G]

種 類	厚さ(mm)	規格等
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 (WN) ・研磨板 (VS) ・10 ・12 ・15 ・18	
・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ(DV) ・フタ材オーバーレイ(DO) ・塗装(DC) ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・	

吸音材料

種 類	厚さ(mm)	規格等
・ロックウール化粧吸音板(DR)	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃)) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 (不燃)) ・25 ・25(ガラスクロス包) ・	

せっこうボード製品

種 類	厚さ(mm)	規格等
○せっこうボード(GB-R)	○12.5 (不燃) ・15 (不燃)	
○不燃根拠せっこうボード(GB-NC)	○9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧紙 (トラバーチン模様)	
○シージングせっこうボード(GB-S)	12.5 (※ 不燃 ・準不燃)	
・強化せっこうボード(GB-F)	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	
・せっこうラスボード(GB-L)	9.5	
○化粧せっこうボード (GB-D)	・木目12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 粒目 ・ 板目) 専用下地材有り ・化粧紙模様 9.5 (準不燃)	

合板[G]

種 類	厚さ(mm)	規格等
○普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度 ・) ・不透明塗料塗り (※しな合板程度 ・) 板面の品質 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・行う ・行わない	
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ・ 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・行う ・行わない	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能 (タイプ) 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・行う ・行わない	

化粧板

○メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による (※1.2 ・)
○ポリエステル樹脂化粧板	

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による
合板類の張付け ・A種 ・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類 ※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
突付け工法のエッジの種類 ・ペベルエッジ ・スクエアエッジ
目透かし工法のエッジの種類 ・ペベルエッジ ・スクエアエッジ
化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)

26壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.14.2.3]

施工箇所	壁紙の種類			防火種別	備考
	紙	織物	壁紙B1種B2種	無機質系その他	
				・不燃・準不燃・難燃	
				・不燃・準不燃・難燃	
				・不燃・準不燃・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・A種

27モルタル塗り

モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 [6.15.3.5.6]
既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・)
床目地 ・設けない
・設ける 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度) ・
種類 ※押し目地
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の地下処理 ※図示による
伸縮調整目地の位置 (※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・) [6.16.2～4]
床タイル 床タイル以外 (・図示 ・)
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改特記仕様書第3章による
試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ・行わない
見本焼き ・行う (施工箇所) ・行わない
・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り

28タイル張り

タイルの形状・寸法等
施工箇所種類形状/寸法(mm)再生材料の適用[G]敷き替え区分Ⅰ類Ⅱ類Ⅲ類防水有無役物色耐震害性耐漏り性備考

29セルフレベリング材塗り

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り
タイルの形状・寸法等
施工箇所種類形状/寸法(mm)再生材料の適用[G]敷き替え区分Ⅰ類Ⅱ類Ⅲ類防水有無役物色耐震害性耐漏り性備考

30フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構 法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上材	備 考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット		
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500	・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット		

フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ()

31可動間仕切

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (20.2.3)

構造形式	構成の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
・スクッド式(内蔵) ・スクッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式	スクッドパネル	・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

32移動間仕切

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (20.2.4)

構造形式	操作方法	圧接装置の総厚さ (mm)	パネル表面材	遮音性 (dB/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式	・フック式 ・ハンドル式	・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上

33トイレブース

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (20.2.5)

表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※製造所の標準仕様 ・標準	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	・標準 ・Rタイプ

⑭手すり

材料の種類及び仕上げ (20.2.6)

- ・SUS304 表面処理 ※HL程度
- ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書 表14.2.2による種別 (種))
- ・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書 表14.2.1による種別 (種))
色色等 ・標準色 () ・特注色 ()

手すりの握り部分

材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材(材種：) ・クリアカラー		・30程度・35程度・45程度		
・ビル用アルミ		・30程度・35程度・45程度		
・樹脂被覆タイプ		・3φ		

NOTE

株式会社
細田設計

県知事登録(第)1718号

1級建築士201144号
田中謙也

DATE
JOB

TITLE
校舎トイレ改修工事(東小)

ITEMS
特記仕様書(改修その4)

SCALE
NO.
A — 05

R6.1(Ver. R5-3)

35 階段滑り止め

材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7)
・アルミニウム製押出型材
形状 ・タイヤ型 (タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂脂等) ・タイヤレス製
端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし
寸法 (幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法

36 黒板及び
ホワイトボード

・黒板 区分 ※焼き付け
種類 ・ほうろう ・鋼製
色 ※緑
・ホワイトボード ()

37 表示

衝突防止表示 ※図示による
・設置場所 (・30φ)
材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート)
・設置しない
誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、
取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

38 タラップ

材質及び仕上げ (20.2.12)
・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり ・なし)
・鋼製 表面処理 滑輪重鉛めつき
(※標準仕様書表 14.2.2による種別 (※C種 ・ 種))

39 ブラインド

(20.2.14)
形式 操作方法 操作方法の種類 スラットの材質 スラット幅 (mm) スラットの材料 幅・高さ 取付箇所
・横形 ・手動 ※ギヤ式 ※アルミニウム ※25 ※鋼製 ・図示
・コード式
・操作様式
・電動
・縦形 ・手動 ※2本操作コード式 ・7mmスラット ・80 ※7mm×4mm
・1本操作コード式 ・10mmスラット 合金製 ・図示
・電動
・横形 ・手動 ※ギヤ式 ※アルミニウム ※25 ※鋼製 ・図示
・コード式
・操作様式
・電動
・縦形 ・手動 ※2本操作コード式 ・7mmスラット ・80 ※7mm×4mm
・1本操作コード式 ・10mmスラット 合金製 ・図示
・電動

縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 [G] とする

40 ロールスクリーン

(20.2.15)
操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式
幅・高さ、取付箇所 ・図示
材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製
品質等 ・
その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は
[G] とする

41 カーテン・縦帳

(20.2.16)
形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所 備考
・シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ
・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、片ひだ
・縦帳 ・片引き ・手引き ・約1.5倍ひだ
生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、[G] とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上

42 カーテンレール

(20.2.16)
材料による区分 ※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材
強度による区分 ※ステンレス製
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

43 ブラインドボックス
及びカーテンボックス

溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
種類 (標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種
色合い 標準色 ()
・鋼製 (仕上げ)

44 天井点検口

材質 寸法 形式 外枠 内枠
※アルミニウム製 ○450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・額縁タイプ ・額縁タイプ
・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ
・気密形

45 床点検口

材質 寸法 形式 備考
・アルミニウム製 ○450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・鍵付き
・ステンレス製 ○600×600 ・密閉形 ・屋内用
・鋼製
密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。

46 くつふきマット

材質 受け枠 備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス製 (SUS304)
・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金
・ステンレス鋼 (SUS304) 製

47 流し台ユニット

材質 寸法 (mm) 備考
W D H
・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品
・1500 ・600 ・850 トラップ付き
・1800 ・650 天板ステンレス製
・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品
・600 ・600 ・670 パックガード有り
・600 ・650 天板ステンレス製
・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品
・900 ・700
・水切り ・1200 ・― ― 市販品
・900 ステンレス製
・600 1段式
品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状

48 鋼製書架及び物品棚

種類 規格等 JIS による種類
・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種

49 屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製 ・
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

50 洗面カウンター

材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (芯材: 集成材) ・人工大理石
奥行き (mm) ・約450 ・約600

51 防煙垂れ壁

・固定式
材 質 厚さ (mm) 高さ (mm) 備 考
※納入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き
・線入り磨板ガラス ・
・可動式
種 類 材 質 高さ (mm) 備 考
・垂直降下式 (巻取り型) ※不燃布 (不燃認定品) ※500・800 ガイドレール (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)
・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500・800 表面仕上げ ※天井材張り
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)

52 収納家具

材質、形状、寸法 ※図示
材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

7 塗装改修工事

① 材料 [7.1.3]
② 下地調整 [7.2.1~7]
③ 素地ごしらえ [7.3.2~7]
④ 錆止め塗料塗り [7.4.2、3]
⑤ 塗装 [G] [7.5.2~7.12.2]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3]
防火材料 ※屋内の壁・天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示
下地調整
下地の種類 下地調整の種類 ひび割れ部の補修
木部 ※不透明塗料塗りの場合はRB種 ―
・RA種 (注) ※RB種 ・
鉄鋼面 (DP以外) ・RA種 (注) ※RB種 ―
鉄鋼面 (DP) ・RA種 ※RB種 ・C種
重鉛めつき面 ・A種 ・B種 ・C種
モルタル面及びせつこうプラスター面 ・A種 ※B種
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 ・A種 ※B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) ・A種 ・B種
コンクリート面 (DPのみ) ・A種 ・B種
せつこうボード面及び 目地: 継目処理工法 ※A種 ・B種
その他ボード面 目地: 継目処理工法以外 ・A種 ※B種
(注) DP以外からDPへ塗替えの場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に
応じてRA種 (既存塗膜全除去) 又はRB種 (既存塗膜一部除去) を選定すること。
錆止め塗料塗りの種類 [7.4.2、3]
素地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類
SOP 塗替え A種 ※C種
鉄鋼面 (工程の種類は [表7.4.3]) 新規見え隠れ A種 ※A種
EP-G 塗替え ・A種 ※B種 ※C種
(工程の種類は [表7.4.3]) 新規見え隠れ ・A種 ※B種 ※C種
DP 塗替え 7.4.2 (1) (a) (b) ・A種 (下地調整RA種) ・B種 (下地調整RB種) ・C種 (下地調整RC種)
(工程の種類は [表7.4.4]) 新規 7.4.2 (1) (a) (a) による
垂鉛めつき鉄鋼面 SOP 塗替え ※A種 ・B種 ※C種
(工程の種類は [表7.4.5]) 新規鋼製建具等 ※A種 ・B種 ※A種
EP-G 塗替え ※B種 ※C種
(工程の種類は [表7.4.5]) 新規鋼製建具等 C種 ※A種
DP 塗替え C種 ※B種
(工程の種類は [表7.4.6]) 新規 B種 ・

塗装の種類 塗装面 工程 新規

○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 木部屋外 ※B種 ・ ※A種
木部屋内 ※B種 ・ ※B種
鉄鋼面 ※B種 ・ ※B種 ・A種
重鉛めつき鉄鋼面 (鋼製建具) ※B種
面鉛めつき鉄鋼面 (鋼製建具以外) ※B種
・クリヤラッカー塗り (D) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種
・耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 上塗り等級 () 級 ―
重鉛めつき鉄鋼面 上塗り等級 () 級 ―
○つや有合成樹脂エマルジョン・コンクリート面等 ※B種 ・ ※B種 ・A種
・ヨウペイント塗り (EP-G) 屋内の木部 ※B種 ・ ※A種
屋内の鉄鋼面 ※B種 ・ ※B種 ・A種
屋内の重鉛めつき鉄鋼面 ※A種 ・ ・B種 ※A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ※B種 ・ A種 ※B種 ・A種
・ウレタン樹脂ニス塗り (UC) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種
・ステイン塗り ※B種 ・A種 ※B種 ・A種
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、せつこうボード面、
その他のボード面) の塗替えの場合のし止め
※B種又はC種の場合は [表7.9.1] の工程 1 の下塗りをしし止めシーラーとする
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のし止め
※B種又はC種の場合は [表7.10.1] の工程 1 の下塗りをしし止めシーラーとする
注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種類に注意すること。

8 耐震改修工事

特記仕様書 (改修その7~8) による

9 環境配慮改修工事

1 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]
測定時期、場所及び測定点
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点
い* A1 い* E2 い* E3
※ 測定1 処理作業室内 (処理作業室ごと)
※ 測定2 処理作業前 施工区画周辺又は敷地境界 ・各2点 (・) 点
※ 測定3 処理作業室内 4方向各1点 (・) 点
※ 測定4 処理作業室内 出口吹出し風速
・各2点 (・) 点
・各1点 (・) 点
・各1点 (・) 点
・各2点 (い* E3は各1点) (・) 点
※ 測定5 処理作業中 出口吹出し風速
・各2点 (い* E3は各1点) (・) 点
※ 測定6 処理作業後 (隔離・撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 ・各2点 (い* E3は各1点) (・) 点
※ 測定7 処理作業後 (隔離・撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 ・各2点 (い* E3は各1点) (・) 点
※ 測定8 処理作業後 (1次撤去後) 施工区画周辺又は敷地境界 ・各2点 (い* E3は各1点) (・) 点
※ 測定9 処理作業後 (2次撤去後) 施工区画周辺又は敷地境界 ・各2点 (い* E3は各1点) (・) 点
※ 測定10 処理作業後 (3次撤去後) 施工区画周辺又は敷地境界 ・各2点 (い* E3は各1点) (・) 点
さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。
測定方法
測定5のみ ※ペーパークルシヤン、粉じん相対湿度計 (デジタル粉じん計)、繊維状粒子自動計測器 (リゾルグメーター) 等、排気量の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定
測定5以外は下表による
測定5 測定3 測定1, 4, 7, 9 測定2, 6, 8, 10
測定5のみの直径 (mm) 25 25 47
試料の吸引流量 (L/min) ※5 ※5 ※5
試料の吸引時間 (min) ※15 ※120 ※40
2 石綿含有吹付け材の除去 (レベル1) [9.1.3]
除去対象範囲 ・図示 ・
除去工法 ※ [9.1.3] (2) (7) による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※密封処理 (※湿潤化 ・図形化)
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)
3 石綿含有保温材等の除去 (レベル2) [9.1.4]
除去工法 ※ [9.1.4] (2) による (原形のまま、手ばらしが可能な場合)
除去対象範囲 ・図示 ・
・ [9.1.3] (2) による (損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合)
除去対象範囲 ・図示 ・
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※密封処理 (※湿潤化 ・図形化)
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)
4 石綿含有成形板の除去 (レベル3) [9.1.5]
除去対象範囲 ・図示 ・
石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生 (負担不要) 方法
・ビニールシート等による養生を行う
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せつこうボード
※埋立処分 (管理型最終処分場)
・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)
5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去 (レベル3) [9.1.6]
除去対象範囲 ・図示 ・
着工前の試験施工 ・行う ・行わない
除去工法 ・
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止
※密封処理 (※湿潤化 ・図形化)
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)
6 PCB含有シーリング材処分 [9.1.7]
種類 採取する部位・箇所数 備考
・PCB含有シーリング 部 位 ・箇所
分析調査 (第一次判定) 箇所数: 箇所
・PCB含有シーリング 部 位 ・箇所
分析調査 (第二次判定) 箇所数: 箇所
詳細は監督員との協議による
7 外断熱改修工事 [G] [9.2.1~4]
断熱材 (種類 () 厚さ (mm) 施工箇所 (・図示 ・))
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
外装材
種類 防火性能 備考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。
鋳木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製鋳木による。
既存外壁の処置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない
下地の清掃 ・行う ・行わない
欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整
断熱材の施工
・断熱材の製造所の仕様による
・外装材製造所の仕様による
・通気層の有無 ・あり (mm) ・なし
外装材の外壁への取付け ・図示
笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による

8 断熱・防露改修工事 [G]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4]
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
工法
・断熱材打込み工法
種類
厚さ (mm) ・
施工箇所 ・
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H
厚さ (mm) ・25 ・30
施工箇所 ・図示 ・
・断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ・
厚さ (mm) ・
・せつこうボード等を張り付けたパネルを使用
材質 厚さ (mm) ・
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法 ・
断熱材へのボードの張付け工法 ・

9 屋上緑化改修工事 [G]

植栽基盤及び材料 [9.4.2~4]
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・図示 ・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・設置する (種類)
既存保樹層の撤去 ・行う ・行わない
新植した芝及び地被類の枯損償の期間 ※引き渡しの日から1年 ・
適用範囲: 歩道 [9.5.2~5.9]
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
路床の材料
種類 材 料 厚さ (mm)
・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種
・凍上抑制層 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]
・再クランチャラン [G] ・クラッシュラン
・切込み砂利
・砂 (改修標準仕様書表9.5.1による)
・フィルター層 ・改修標準仕様書9.5.3 (2) (9) による ・図示
(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)
・行う ・行わない
・路床安定処理 ・適用する ・適用しない
安定処理の方法 置き換え工法 (・
路床安定処理用添加材料の種類
・フライアッシュセメントB種
・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号)
添加量 () kg/m³ (目標CBR ※3以上 ・)
引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 1.5×10⁻¹ cm/sec以上 ・
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m²以上
厚さ (mm) ・5~1.0
引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数 1.5×10⁻¹ cm/sec以上
試験
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない
六面クロム溶出試験 ・行う ・行わない
路盤
路盤の構成及び厚さ ・図示
路盤材料 (改修標準仕様書表9.7.3による種別)
・クラッシュラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシュラン [G]
・再生粒度調整砕石 [G]
・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]
・粒度調整鉄鋼スラグ [G]
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]
舗装の構成 ・図示
舗装の平たん性 ※著しく不陸がないもの
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

11 舗装版切断時に発生する濁水の処理 (舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)

濁水の処理
1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
種類及び処理量 ・図示による
処理方法
・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却含まず)
・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入 (処理に焼却含む)
2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。
共通事項
1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。
提出書類等
1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。
その他
1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
3) 疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

NOTE

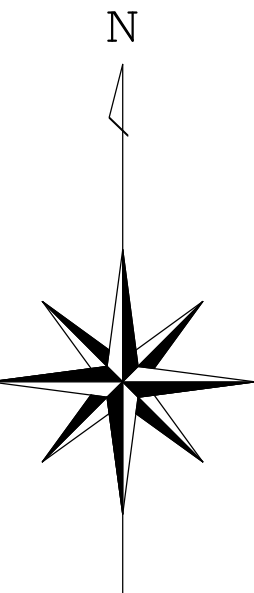
株 式 会 社 細 田 設 計 県知事登録 (第) 1718号 1 級建築士281144号 田 中 謙 也

DATE JOB 校舎トイレ改修工事 (東小)

TITLE 特記仕様書 (改修その5)

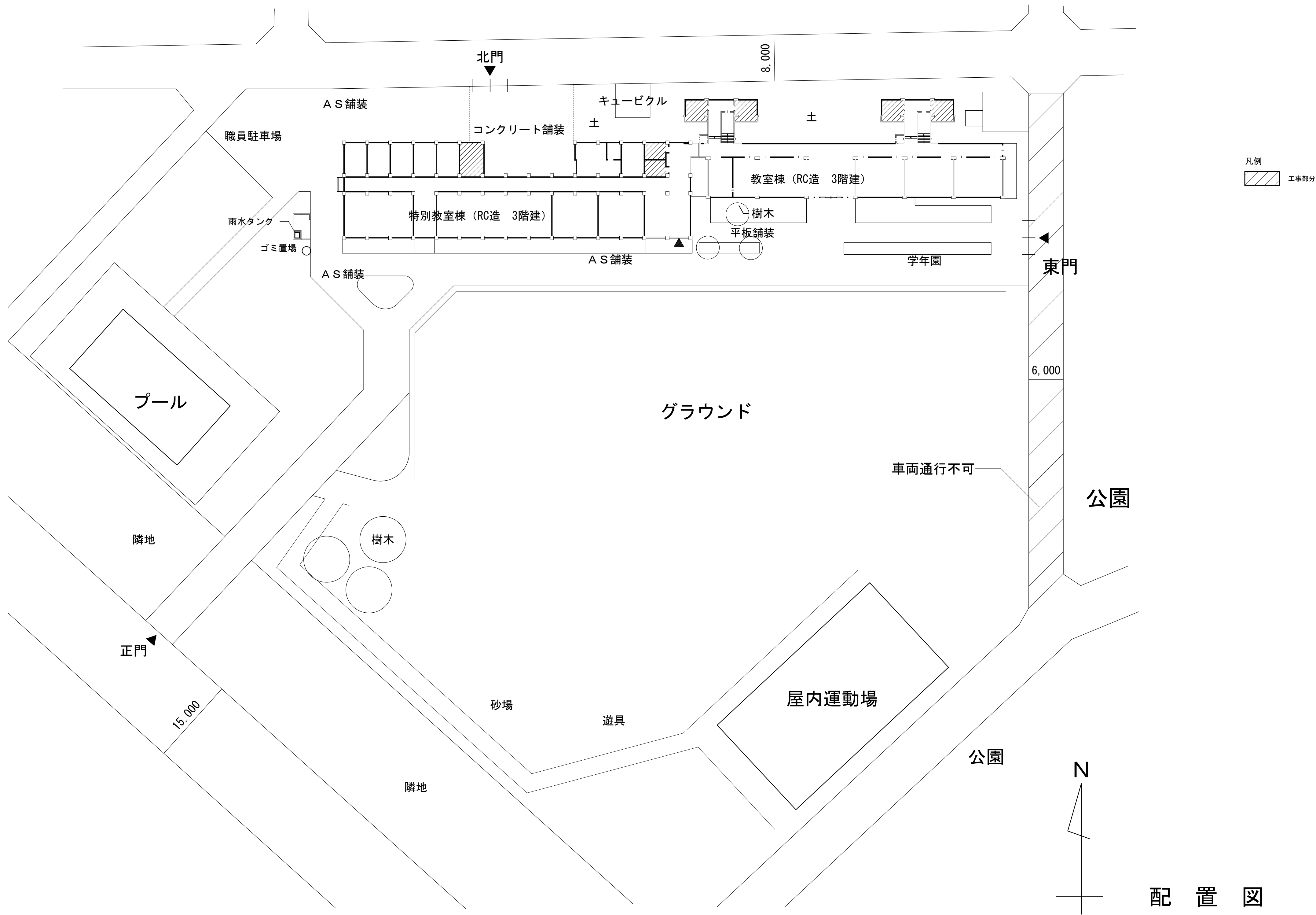
ITEMS SCALE NO. A 06

R6.1 (Ver. R5-3)

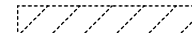
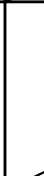
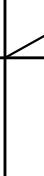
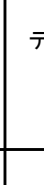
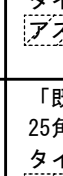
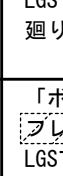
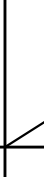


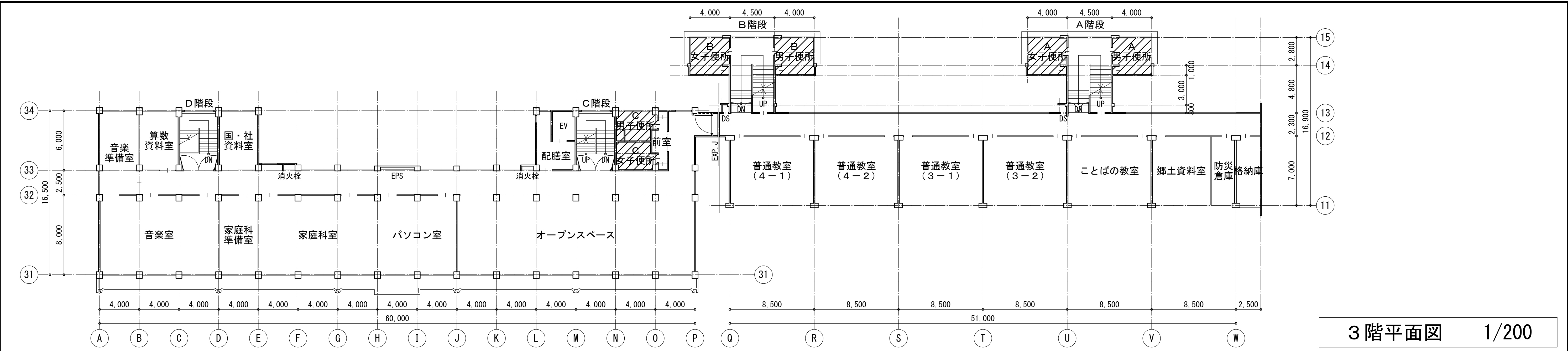
案 内 図 1/2500

NOTE	株 式 細 田 設 計 県知事登録(第)1718号			DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
	会 社			JOB	校舎トイレ改修工事（東小）	案内図	(A3 1/5000) 1/2500	A — 09
	1級建築士281144号 田 中 謙 也							

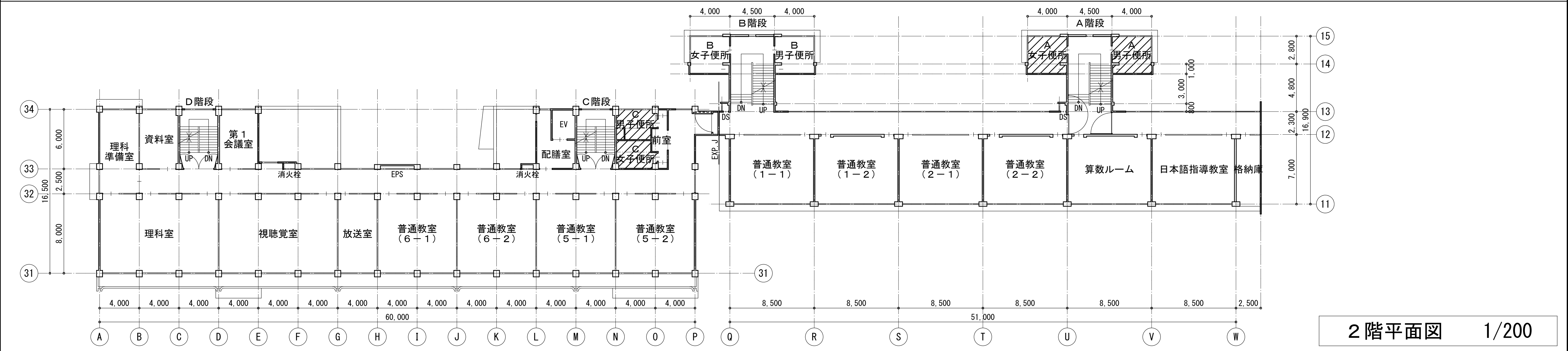


NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号 田中謙也	県知事登録(8)1718号			DATE	校舎トイレ改修工事 (東小)	ITEMS 配置図	SCALE (A3 1/800) 1/400	NO. A — 10
					JOB				

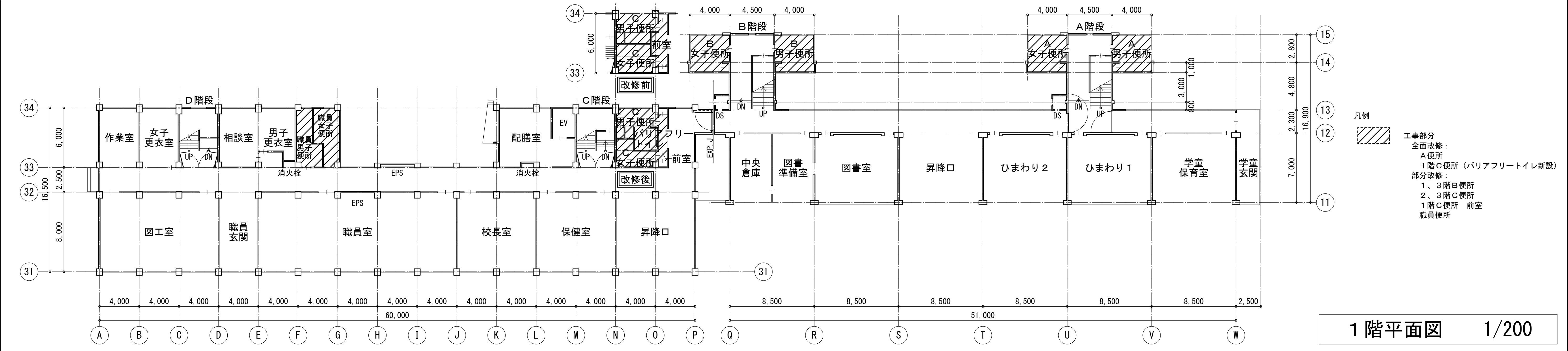
内部仕上表						※注記  は、アスベスト含有建材を示す		※機械設備工事：衛生陶器、化粧鏡、手摺本体、モップ掛けパネル、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボード					
室名	床		巾木・腰		壁		天井		備考				
	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後			
A	1階男子	「土間コンクリートから撤去」 50角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル 土間コンクリート (7)120	「土間コンクリートから新設」 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 見切：アルミ 土間コンクリート (7)120 小便器部：汚垂石 W=600 出入口下部 長尺塩ビシート (7)2貼		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ 男子便所のみ 小便器部：汚垂石立上げ H=100	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「PS壁撤去」 100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル CB (7)100 (2、3階：CB下部既存防水立上り残し) 「小便器 (男子便所のみ)・手洗い・SK部ライニング撤去」 100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル CB (7)100 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) PS壁 メラミン不燃化粧板 (7)3+ケイカル板 (7)6 LGS下地 (100型)	「LGS下地・廻り縁共撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「LGS下地・廻り縁共新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 棚2ヶ所 面台 (小便器・SK部)：メラミンポストフォーム (7)20 隔壁：テラゾーブロック W600×H1,800× (7)40 面台 (小便器・手洗い部)：テラゾーブロック (7)30 SK部：棚板、フック5ヶ所	「新設」 トイレブース 目隠し 面台 (小便器・SK部)：メラミンポストフォーム (7)20 手摺固定金具：小便器1ヶ所、洋便器1ヶ所		
	1階女子	「土間コンクリートから撤去」 50角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル 土間コンクリート (7)120	「土間コンクリートから新設」 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 見切：アルミ 土間コンクリート (7)120 出入口下部 長尺塩ビシート (7)2貼		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 メラミン不燃化粧板 (7)3 +ケイカル板 (7)6+耐水合板 (7)12 LGS下地 (100型)	「LGS下地・廻り縁共撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「LGS下地・廻り縁共新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 棚3ヶ所 面台 (手洗い部)：テラゾーブロック (7)30 SK部：棚板、フック5ヶ所	「新設」 トイレブース 面台 (SK部)：メラミンポストフォーム (7)20 手摺固定金具：洋便器1ヶ所			
	2階男子 3階男子	「既存のまま」 50角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル 「 <u>アスファルト防水2層</u> 」	「下地から新設」「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、セルフレベリング (7)10 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 小便器部：汚垂石 W=600 既存床排水金物部 コンクリート充填 出入口下部 長尺塩ビシート (7)2貼		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ 男子便所のみ 小便器部：汚垂石立上げ H=100	「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ 男子便所のみ 小便器部：汚垂石立上げ H=100	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 ふかし壁 (鏡設置部) 室内側：メラミン不燃化粧板 (7)3 +ケイカル板 (7)6+耐水合板 (7)12 窓面側：フレキシブルボード (7)5 EP LGS下地 (100型)	「LGS下地・廻り縁共撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 棚2ヶ所 隔壁：テラゾーブロック W600×H1,800× (7)40 面台 (小便器・手洗い部)：テラゾーブロック (7)30 SK部：棚板、フック5ヶ所	「新設」 トイレブース 目隠し 面台 (小便器・SK部)：メラミンポストフォーム (7)20 手摺固定金具：小便器1ヶ所、洋便器1ヶ所			
	2階女子 3階女子	「既存のまま」 50角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル 「 <u>アスファルト防水2層</u> 」	「下地から新設」「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、セルフレベリング (7)10 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 既存床排水金物部 コンクリート充填 出入口下部 長尺塩ビシート (7)2貼		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	ふかし壁 (鏡設置部) 室内側：メラミン不燃化粧板 (7)3 +ケイカル板 (7)6+耐水合板 (7)12 窓面側：フレキシブルボード (7)5 EP LGS下地 (100型)	「LGS下地・廻り縁共撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 棚3ヶ所 面台 (手洗い部)：テラゾーブロック (7)30 SK部：棚板、フック5ヶ所	「新設」 トイレブース 面台 (SK部)：メラミンポストフォーム (7)20 手摺固定金具：洋便器1ヶ所			
B	1階男子	「既存のまま」 50角モザイクタイル貼 「 <u>タイル下地モルタル</u> 」	「仕上のみ新設」「和式便器撤去部、下地新設」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 (小便器部 色分け) 和式便器撤去部：モルタル金ゴテ 既存床排水金物部 コンクリート充填		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「既存のまま」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「既存のまま」	「撤去」 トイレブース、棚2ヶ所 SK部：棚板、フック5ヶ所 「既存のまま」 隔壁：テラゾーブロック W600×H1,800× (7)40 面台 (小便器・手洗い部)：テラゾーブロック (7)30	「新設」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所 「既存のまま」 面台 (小便器・手洗い部)		
	1階女子	「既存のまま」 50角モザイクタイル貼 「 <u>タイル下地モルタル</u> 」	「仕上のみ新設」「和式便器撤去部、下地新設」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 和式便器撤去部：モルタル金ゴテ 既存床排水金物部 コンクリート充填		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「既存のまま」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「既存のまま」	「撤去」 トイレブース、棚3ヶ所 SK部：棚板、フック5ヶ所	「新設」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所		
	2階男子	「既存のまま」 長尺塩ビシート (7)2貼 「 <u>タイル下地モルタル</u> 」 男子便所のみ 小便器部：汚垂石 W=600	「既存のまま」		「既存のまま」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 男子便所のみ 小便器部：汚垂石立上げ H=100	「既存のまま」 メラミン不燃化粧板 (7)3 ふかし壁 (鏡設置部) 室内側：メラミン不燃化粧板 (7)3 +ケイカル板 (7)6+耐水合板 (7)12 窓面側：フレキシブルボード (7)5 EP LGS下地 (65型)	「既存のまま」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「既存のまま」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「既存のまま」 トイレブース 鏡 面台 (小便器部)：メラミンポストフォーム (7)20	「既存のまま」 トイレブース 鏡 面台 (小便器部)			
	2階女子	「既存のまま」 長尺塩ビシート (7)2貼 「 <u>タイル下地モルタル</u> 」 「 <u>アスファルト防水2層</u> 」	「既存のまま」		「既存のまま」 長尺塩ビシート巻上げ H=100	「既存のまま」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「既存のまま」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「既存のまま」 トイレブース 鏡	「既存のまま」 トイレブース 鏡			
	3階男子	「既存のまま」 50角モザイクタイル貼 「 <u>タイル下地モルタル</u> 」 「 <u>アスファルト防水2層</u> 」	「仕上のみ新設」「和式便器撤去部、下地新設」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 (小便器部 色分け) 和式便器撤去部：モルタル金ゴテ 既存床排水金物部 コンクリート充填		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「ボード・廻り縁のみ撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース、棚2ヶ所 SK部：棚板、フック5ヶ所 「既存のまま」 隔壁：テラゾーブロック W600×H1,800× (7)40 面台 (小便器・手洗い部)：テラゾーブロック (7)30	「新設」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所 「既存のまま」 隔壁、面台 (小便器・手洗い部)		
	3階女子	「既存のまま」 50角モザイクタイル貼 「 <u>タイル下地モルタル</u> 」 「 <u>アスファルト防水2層</u> 」	「仕上のみ新設」「和式便器撤去部、下地新設」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 和式便器撤去部：モルタル金ゴテ 既存床排水金物部 コンクリート充填		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「ボード・廻り縁のみ撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース、棚3ヶ所 SK部：棚板、フック5ヶ所 「既存のまま」 面台 (手洗い部)：テラゾーブロック (7)30	「新設」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所 「既存のまま」 面台 (手洗い部)		
C	1階男子	「既存のまま」 25角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル	「下地から新設」「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、セルフレベリング (7)50 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 (小便器部 色分け) 既存床排水金物部 コンクリート充填		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	「新設バリアフリートイレ廻りはRC壁から撤去」 100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「小便器部ライニング撤去」 撤去ライニング部 A便所ライニング参照 「新設バリアフリートイレ廻り以外、一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設バリアフリートイレ廻りはLGS下地から新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) 新設下地部 石膏ボード (7)12.5、LGS下地 (65型) 新設ライニング部 A便所ライニング参照 タイル撤去部 モルタル補修	「LGS下地・廻り縁共撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「LGS下地・廻り縁共新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 面台 (小便器)：メラミンポストフォーム (7)20 床下点検口 600角 手摺固定金具：小便器1ヶ所、洋便器1ヶ所			
	1階女子	「既存のまま」 25角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル	「下地から新設」「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、セルフレベリング (7)50 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 既存床排水金物部 コンクリート充填		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	「新設バリアフリートイレ廻りはRC壁から撤去」 100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「新設バリアフリートイレ廻り以外、一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設バリアフリートイレ廻りはLGS下地から新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) 新設下地部 石膏ボード (7)12.5、LGS下地 (65型) 新設ライニング部 A便所ライニング参照 タイル撤去部 モルタル補修	「LGS下地・廻り縁共撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「LGS下地・廻り縁共新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 面台 (手洗い)：メラミンポストフォーム (7)20 手摺固定金具：洋便器1ヶ所			
	1階バリアフリートイレ				「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	「LGS下地から新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 (ジョイナー工法) 石膏ボード (7)12.5 LGS下地 (65型) 新設ライニング部 A便所ライニング参照			「新設」 面台 (手洗い)：メラミンポストフォーム (7)20 手摺固定金具：洋便器1ヶ所、はね上げ型用1ヶ所、背もたれ用1ヶ所 固定金具：ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボード			
	1階前室	「仕上のみ撤去」 長尺塩ビシート (7)2貼	「仕上のみ新設」 下地調整の上、 長尺塩ビシート (7)2貼		「既存のまま」 「新設壁部のみ」 サニタリー幅木 H=60	「新設バリアフリートイレ廻りはRC壁から撤去」 コンクリート打放しの上、吹付タイル	「新設バリアフリートイレ廻りはLGS下地から新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) 新設下地部 石膏ボード (7)12.5、LGS下地 (65型) 「新設壁廻り塗替」 下地調整の上、吹付タイル	「LGS下地・廻り縁共撤去」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「LGS下地・廻り縁共新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「撤去」 流し 「新設」 室名札 (バリアフリー利用) 目隠し2ヶ所 ※2、3階「新設」 目隠し2ヶ所			
	2階男子	「既存のまま」 25角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル 「 <u>アスファルト防水3層</u> 」 既存床排水金物部 コンクリート充填	「仕上のみ新設」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 (小便器部 色分け) 既存床排水金物部 コンクリート充填		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「ボード・廻り縁のみ撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所 面台 (小便器部)：テラゾーブロック (7)25			
	2階女子	「既存のまま」 25角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル 「 <u>アスファルト防水3層</u> 」	「仕上のみ新設」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 既存床排水金物部 コンクリート充填		「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「ボード・廻り縁のみ撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所			
	3階男子	「既存のまま」 長尺塩ビシート (7)2貼 タイル下地モルタル 「 <u>アスファルト防水3層</u> 」	「既存のまま」		「新設」 サニタリー幅木 H=60	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「ボード・廻り縁のみ撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所 面台 (小便器部)：テラゾーブロック (7)25			
	3階女子	「既存のまま」 長尺塩ビシート (7)2貼 タイル下地モルタル 「 <u>アスファルト防水3層</u> 」	「既存のまま」		「新設」 サニタリー幅木 H=60	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「ボード・廻り縁のみ撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所			
	1階男子職員	25角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル	「仕上のみ新設」「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 (小便器部 色分け) 既存床排水金物部 コンクリート充填			「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去	「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「ボード・廻り縁のみ撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース ノンスリップ：塩ビ (小便器部) 手摺固定金具：洋便器1ヶ所		
1階女子職員	25角モザイクタイル貼 タイル下地モルタル	「仕上のみ新設」「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート (7)2.5貼 既存床排水金物部 コンクリート充填	「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去		「新設」 メラミン不燃化粧板 (7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修	「ボード・廻り縁のみ撤去」 「 <u>プレキシジアルボード (7)6 目隠し貼 VP</u> 」 LGS下地 廻り縁：塩ビ	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード (7)9.5 廻り縁：塩ビ	「撤去」 トイレブース 面台 (小便器・手洗い・SK部)：テラゾーブロック (7)25 床下点検口 600角	「新設」 トイレブース 面台 (小便器・手洗い・SK部) 手摺固定金具：洋便器1ヶ所			
NOTE		株式会社 細田設計 県知事登録 (8)1718号				DATE JOB	TITLE 校舎トイレ改修工事 (東小)			ITEMS 仕上表	SCALE A	NO. 11	
		1級建築士281144号 田中謙也											



3 階平面図 1/200



2 階平面図 1/200

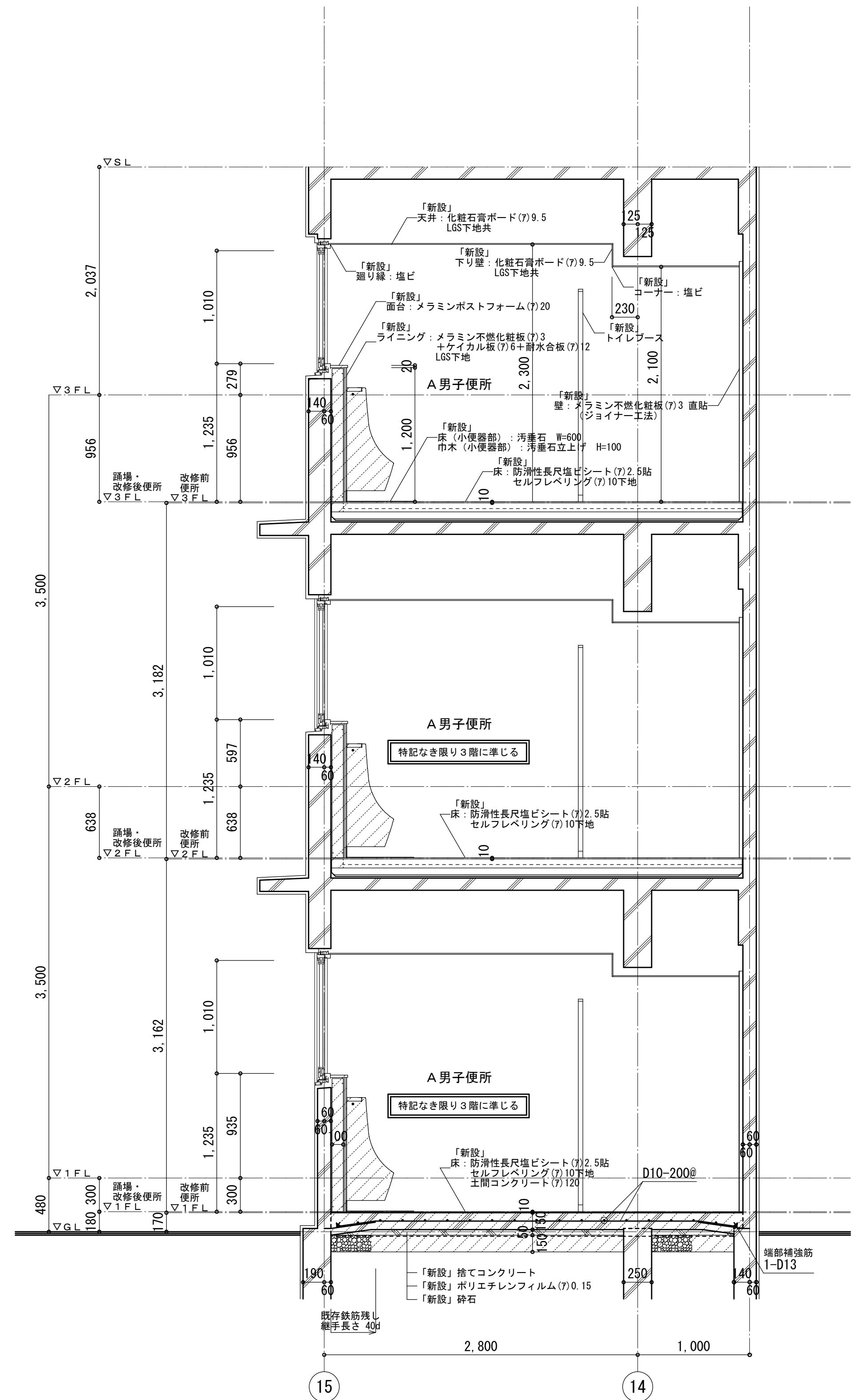


1 階平面図 1/200

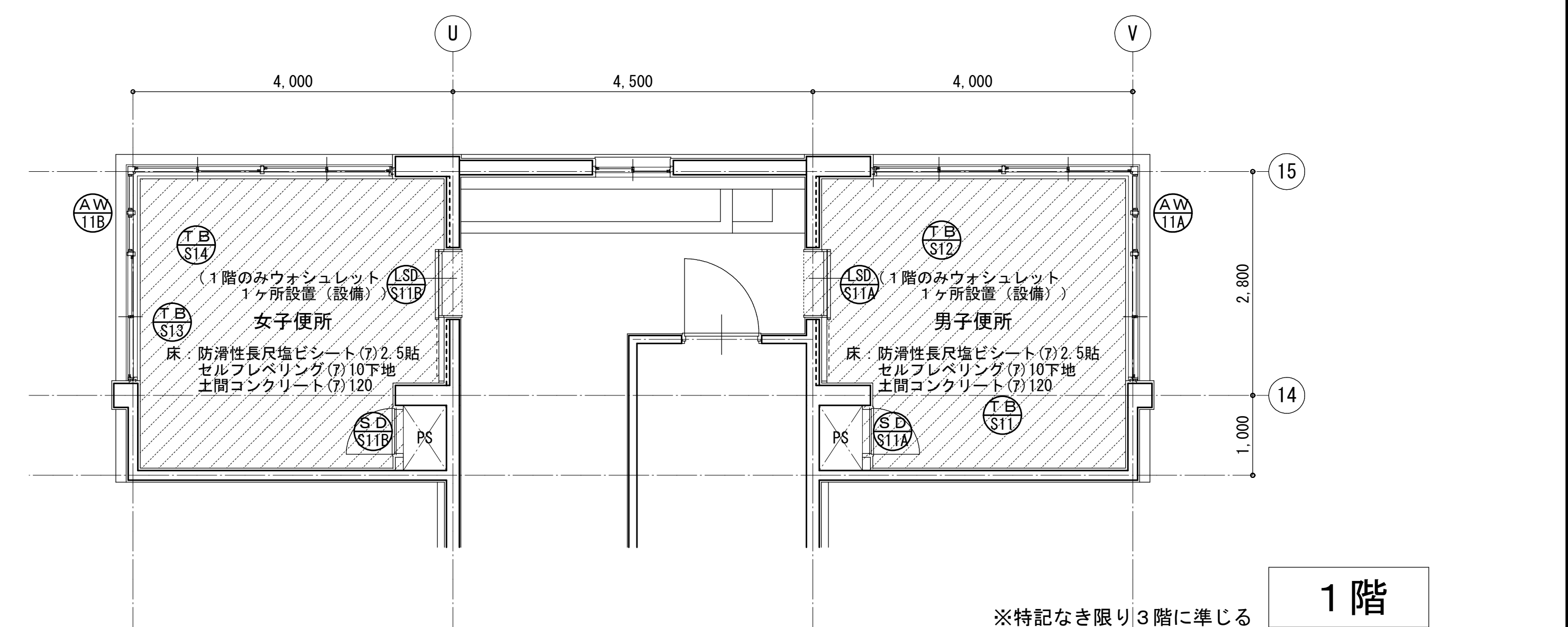
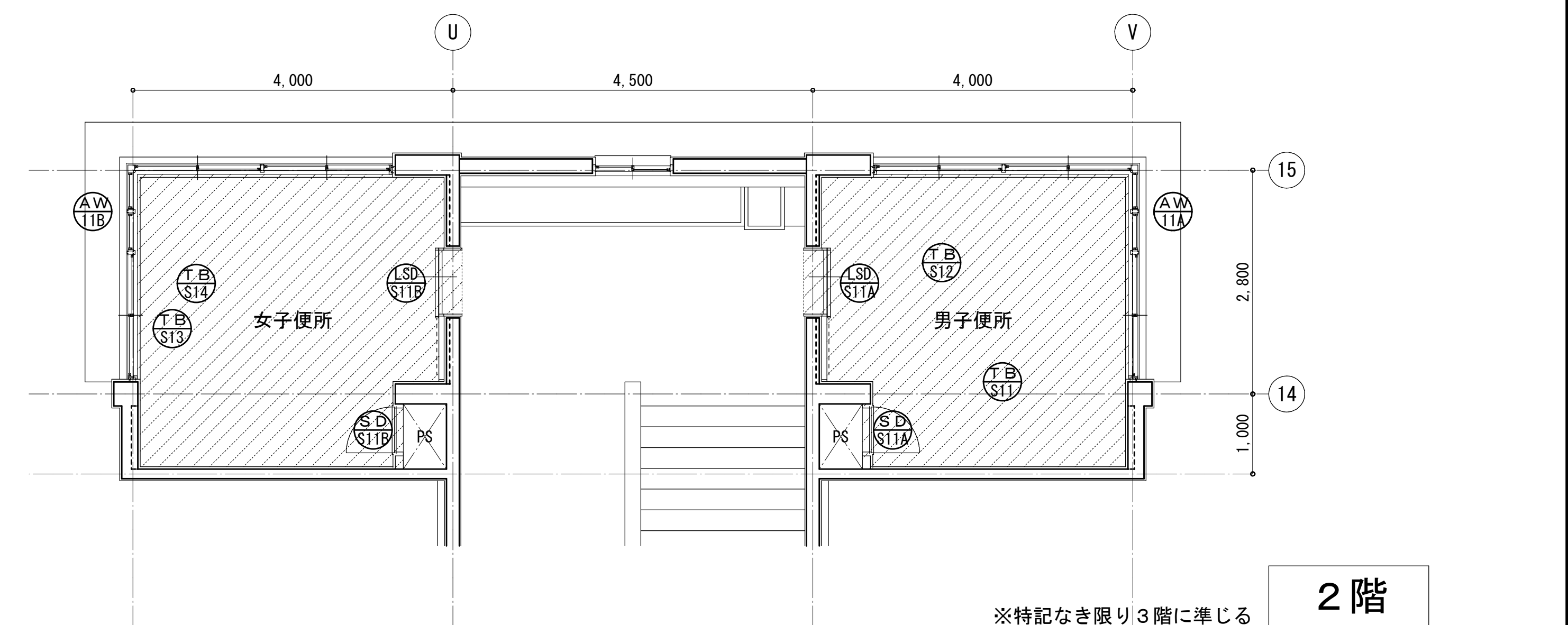
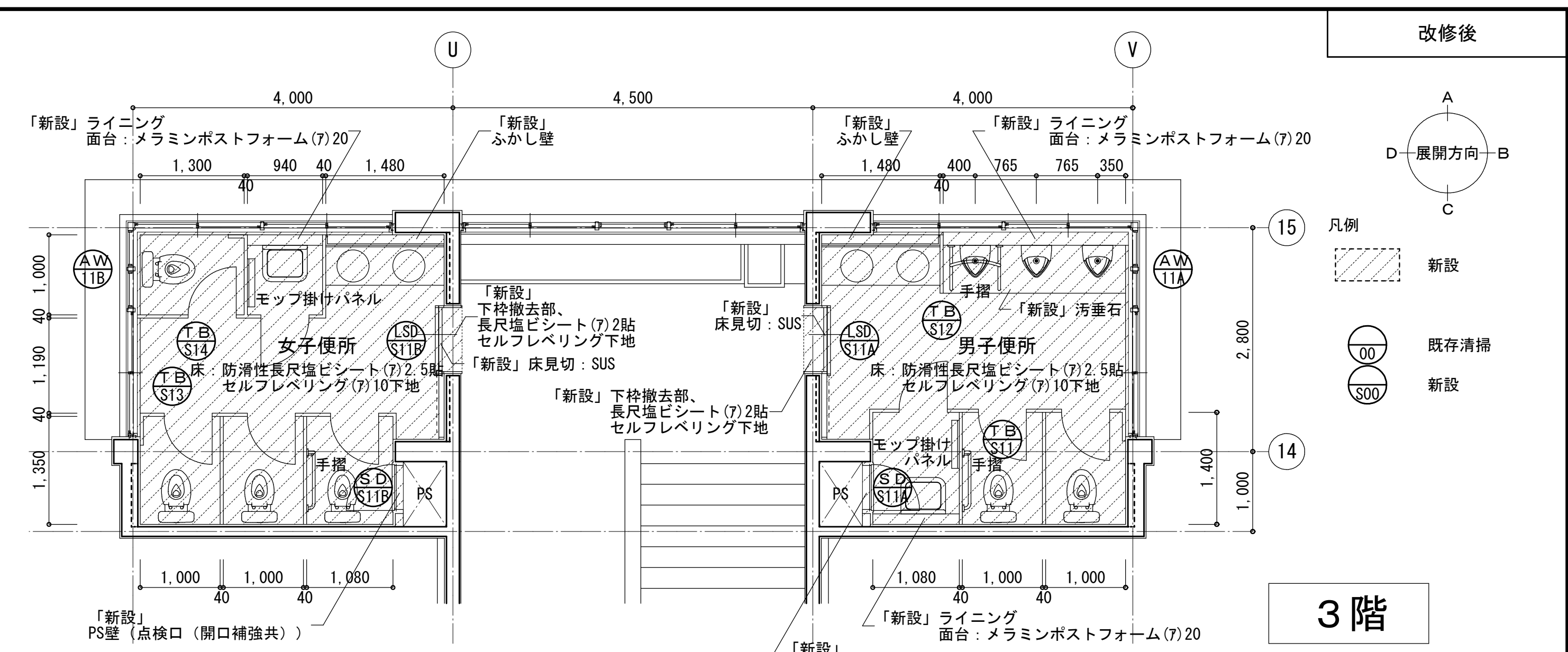
NOTE	株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号 1級建築士281144号 田中謙也		DATE JOB	TITLE 校舎トイレ改修工事（東小）	ITEMS 平面図	SCALE (A3 1/400) 1/200	NO. A 12
-----------------	--	--	-------------------------	------------------------------------	--------------------------	---	-------------------------

凡例

新設



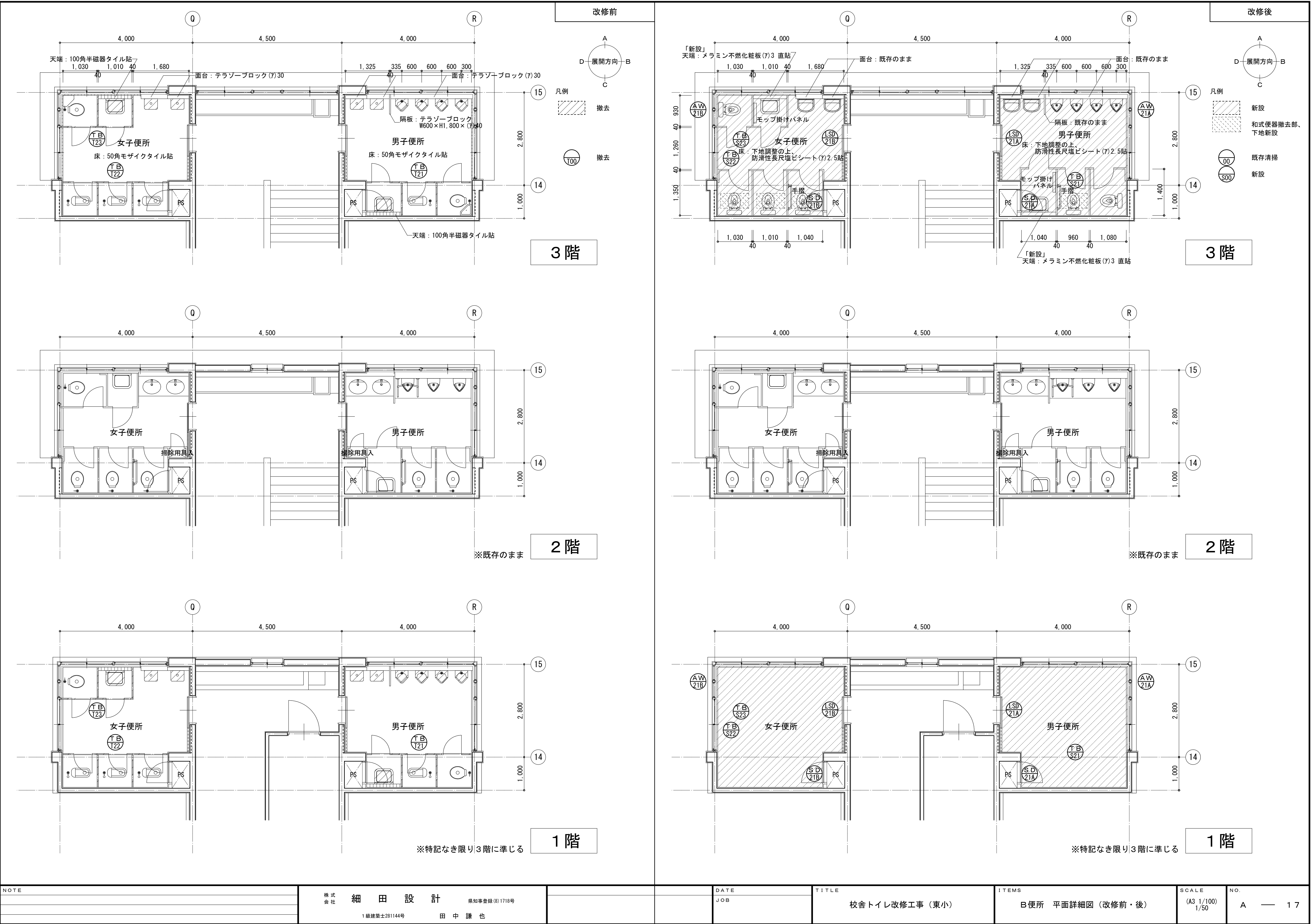
A — 13



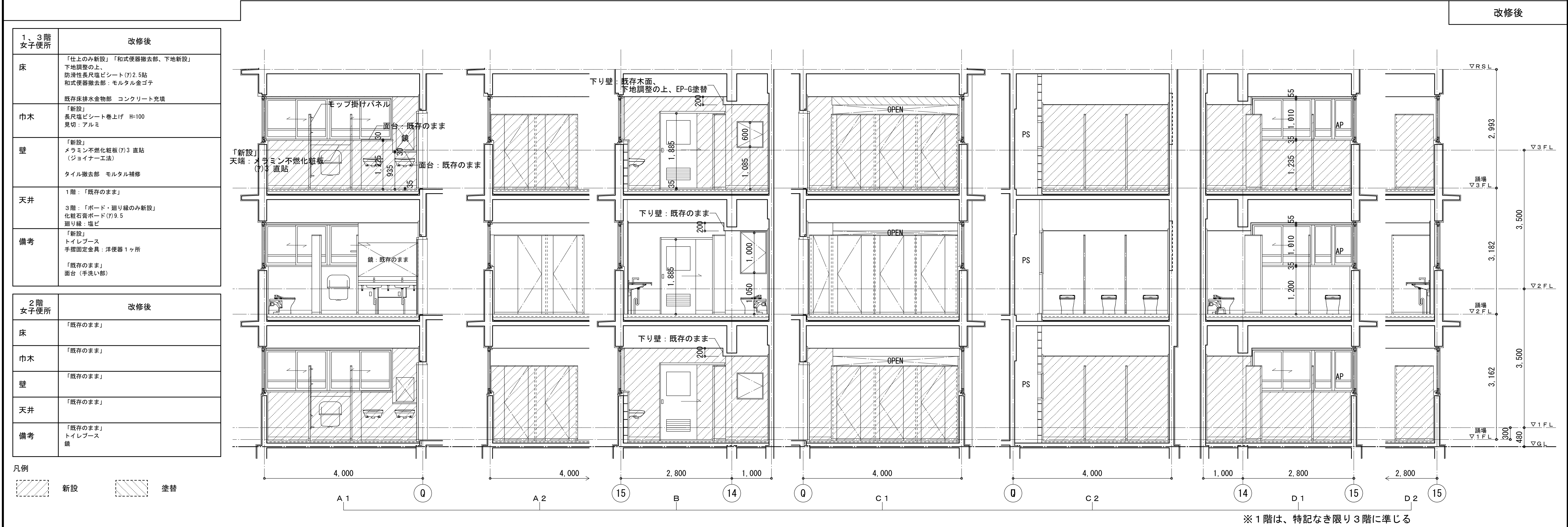
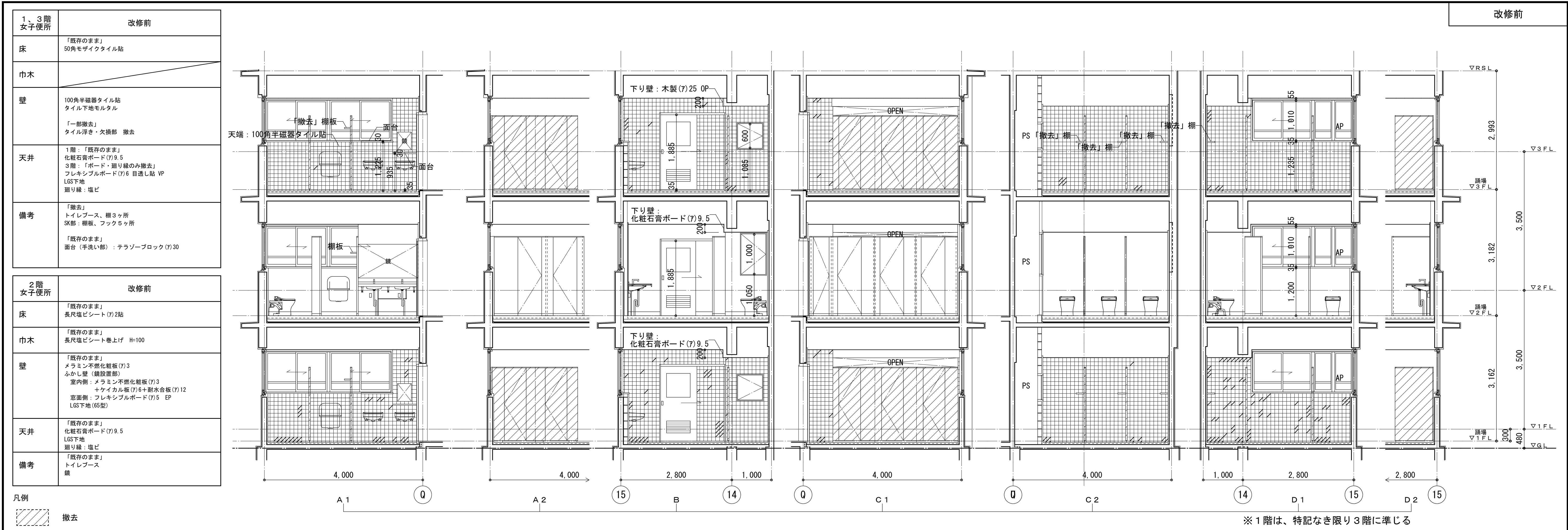
NOTE	株 式 細 田 設 計 県知事登録(8)1718号		DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
	会 社		JOB	校舎トイレ改修工事（東小）	A 便所 平面詳細図（改修前・後）	(A3 1/100) 1/50	A — 1 4
	1級建築士281144号 田 中 謙 也						

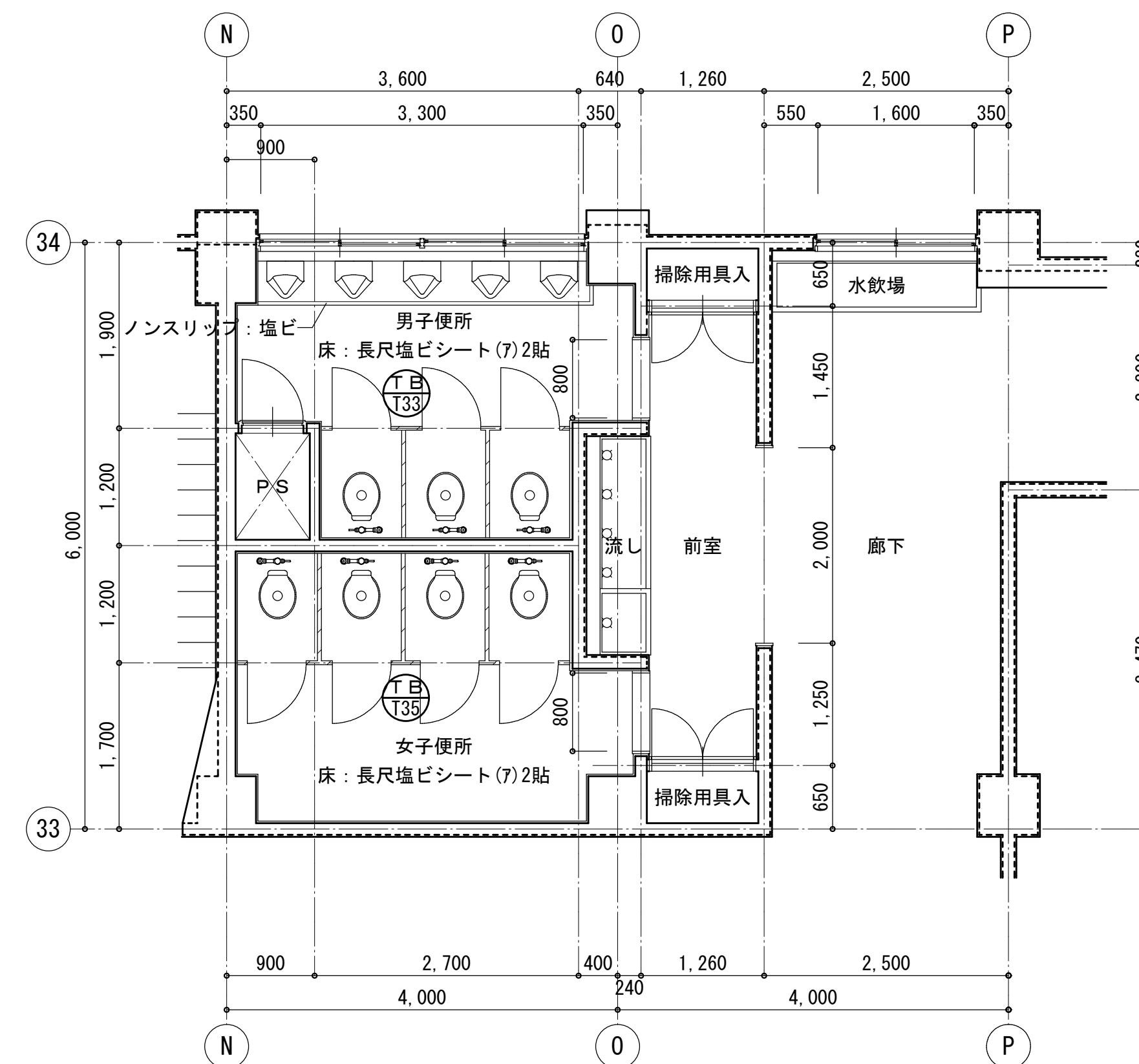
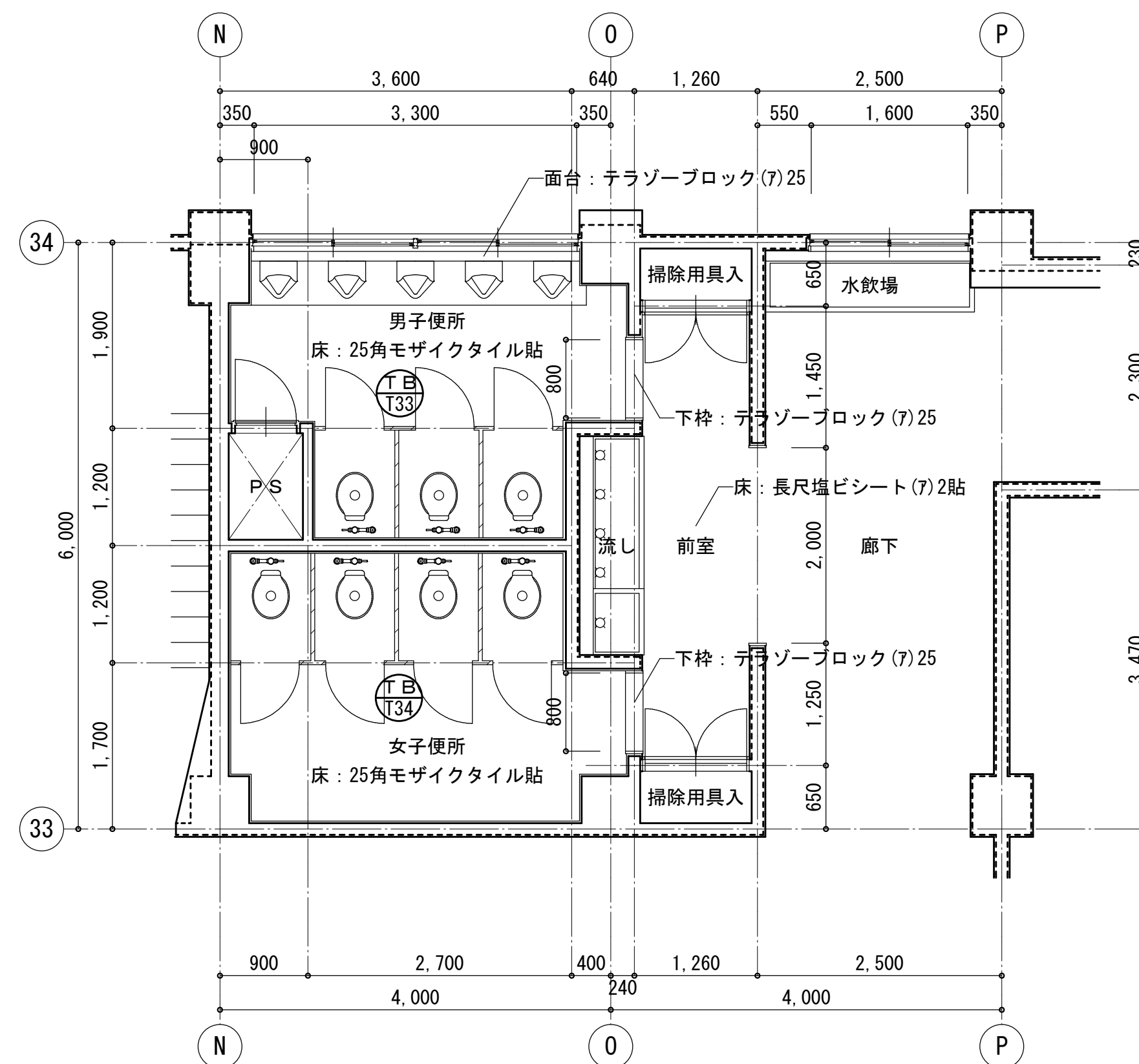
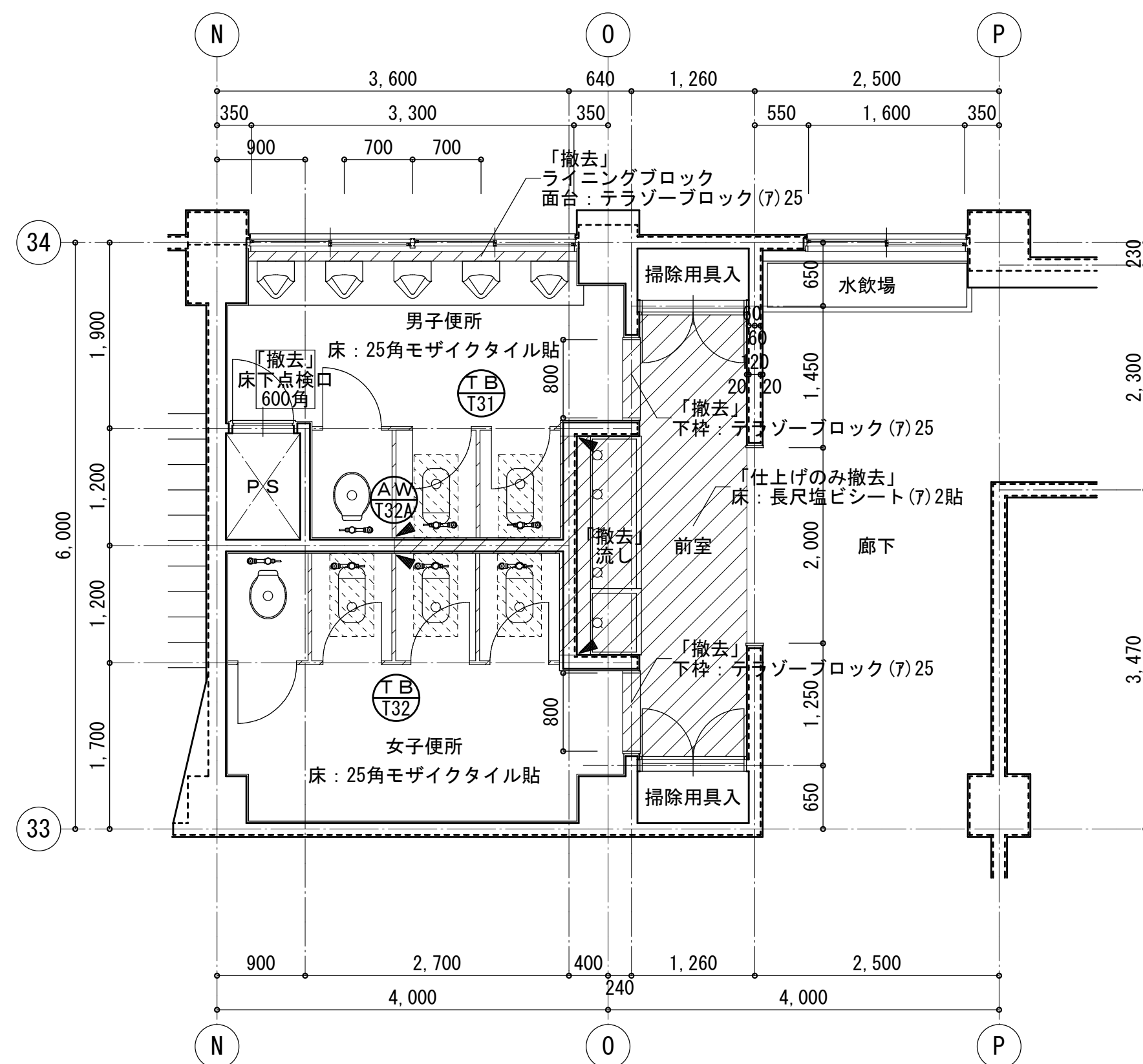
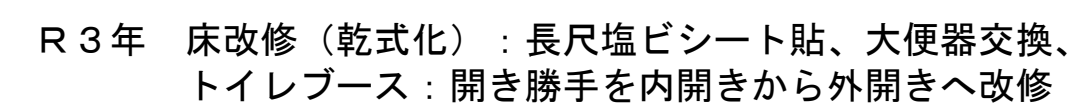
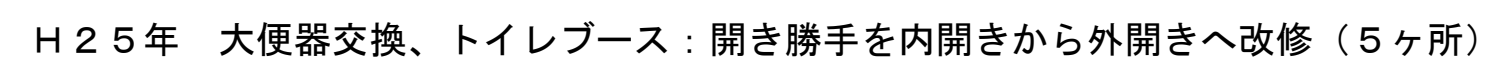


[illegible]

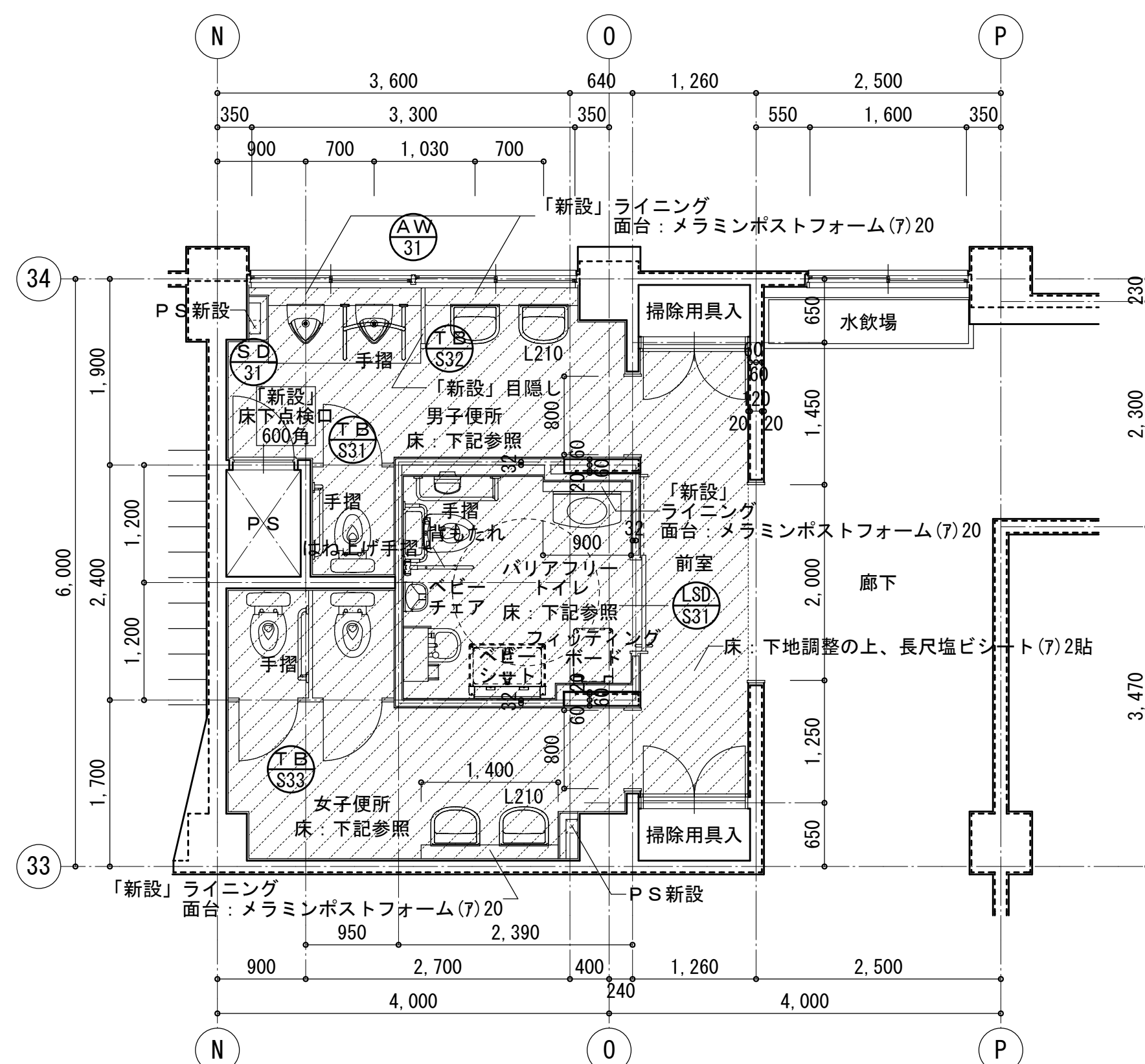
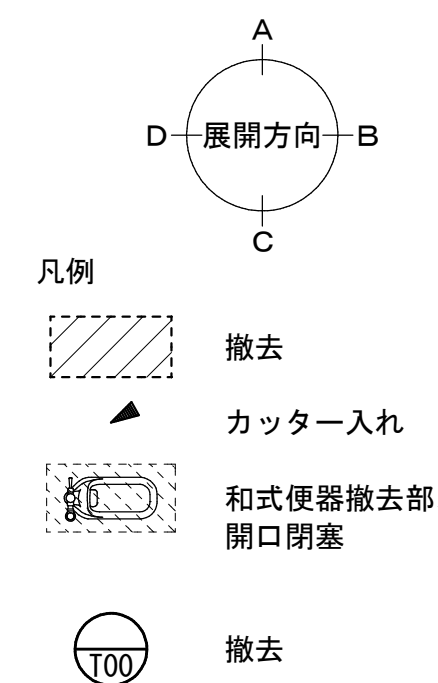
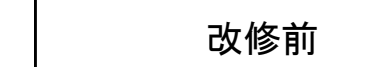






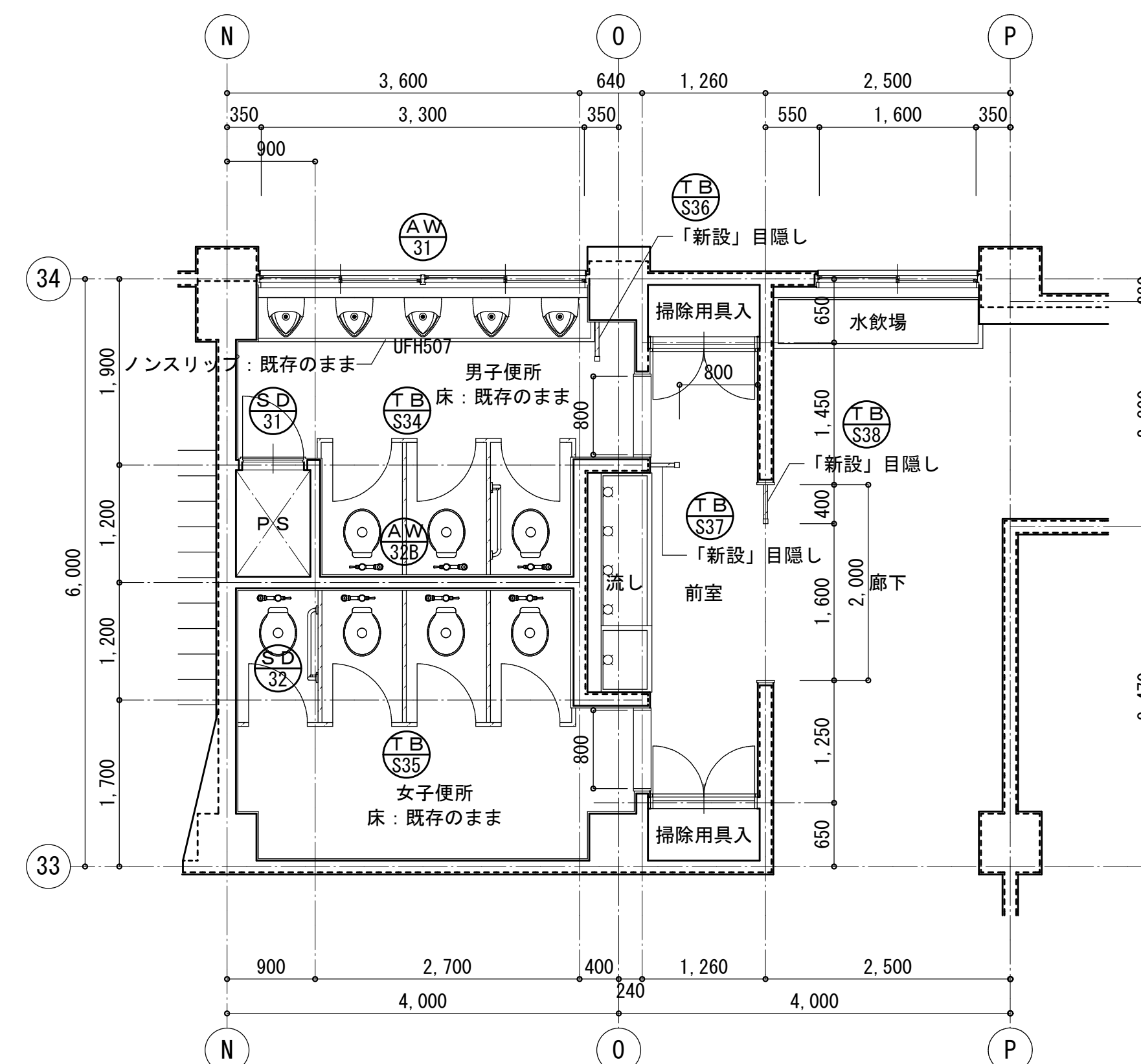
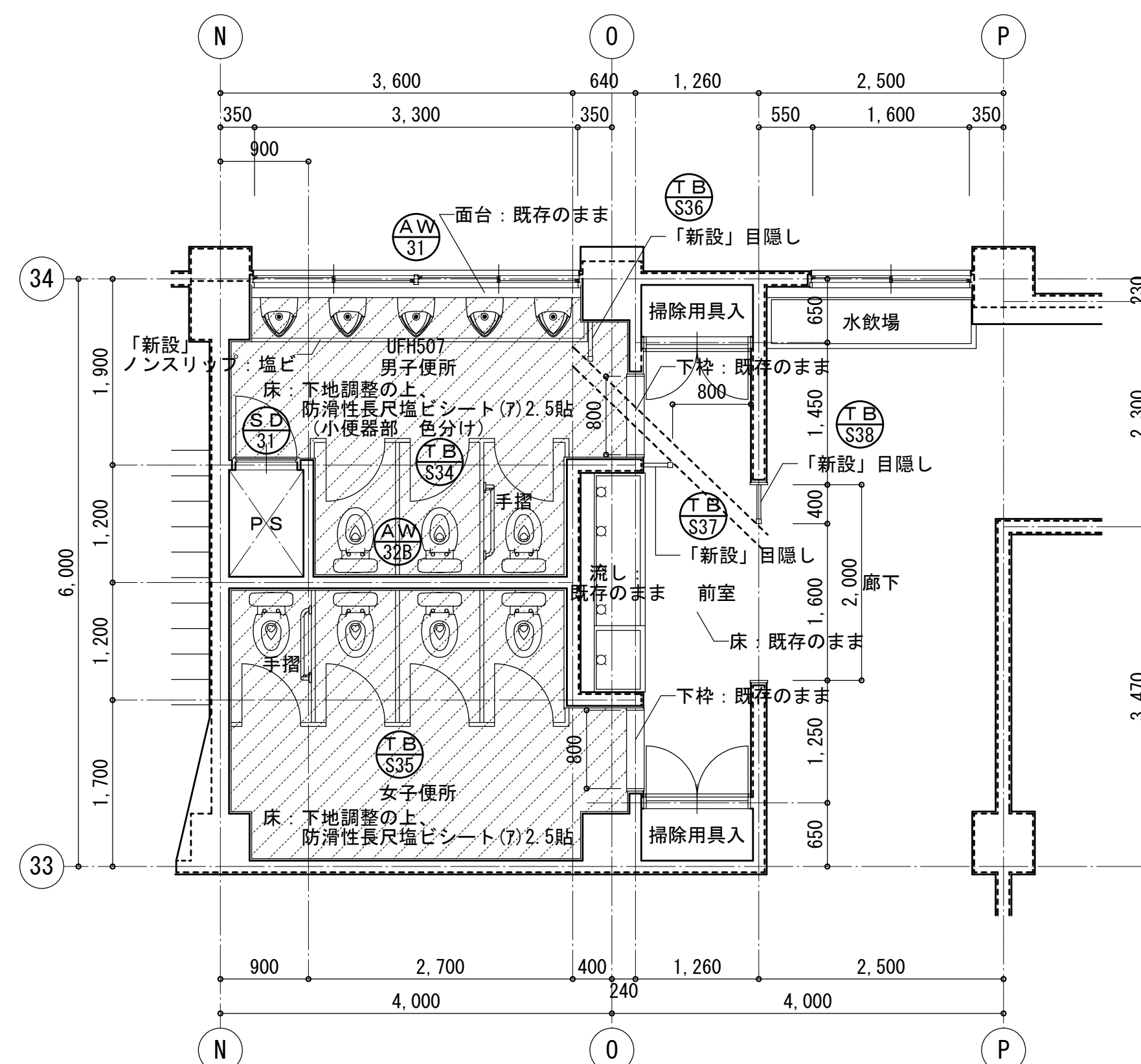


※特記なき限り2階に準じる

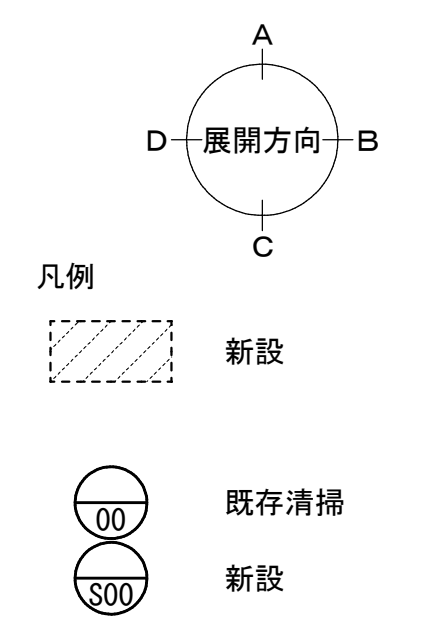
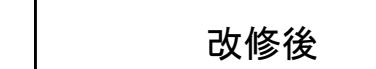


男子、女子便所 床
下地調整の上、セルフレベリング(7)50
防滑性長尺塩ビシート(7)2.5貼 (男子便所のみ 小便器部 色分け)

バリアフリートイレ 床
前室流し部：下地調整の上、防滑性長尺塩ビシート(7)2.5貼
便所部：下地調整の上、セルフレベリング(7)50
防滑性長尺塩ビシート(7)2.5貼



※特記なき限り2階に準じる



NOTE	株 式 会 社	細 田 設 計	県知事登録(8)1718号			DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
						JOB	校舎トイレ改修工事（東小）	C便所 平面詳細図（改修前・後）	(A3 1/100) 1/50	A — 20
		1級建築士281144号	田 中 謙 也							



※特記なき限り3階に準じる

凡例

新設

※特記なき限り3階に準じる

NOTE

株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号
1級建築士281144号 田中謙也

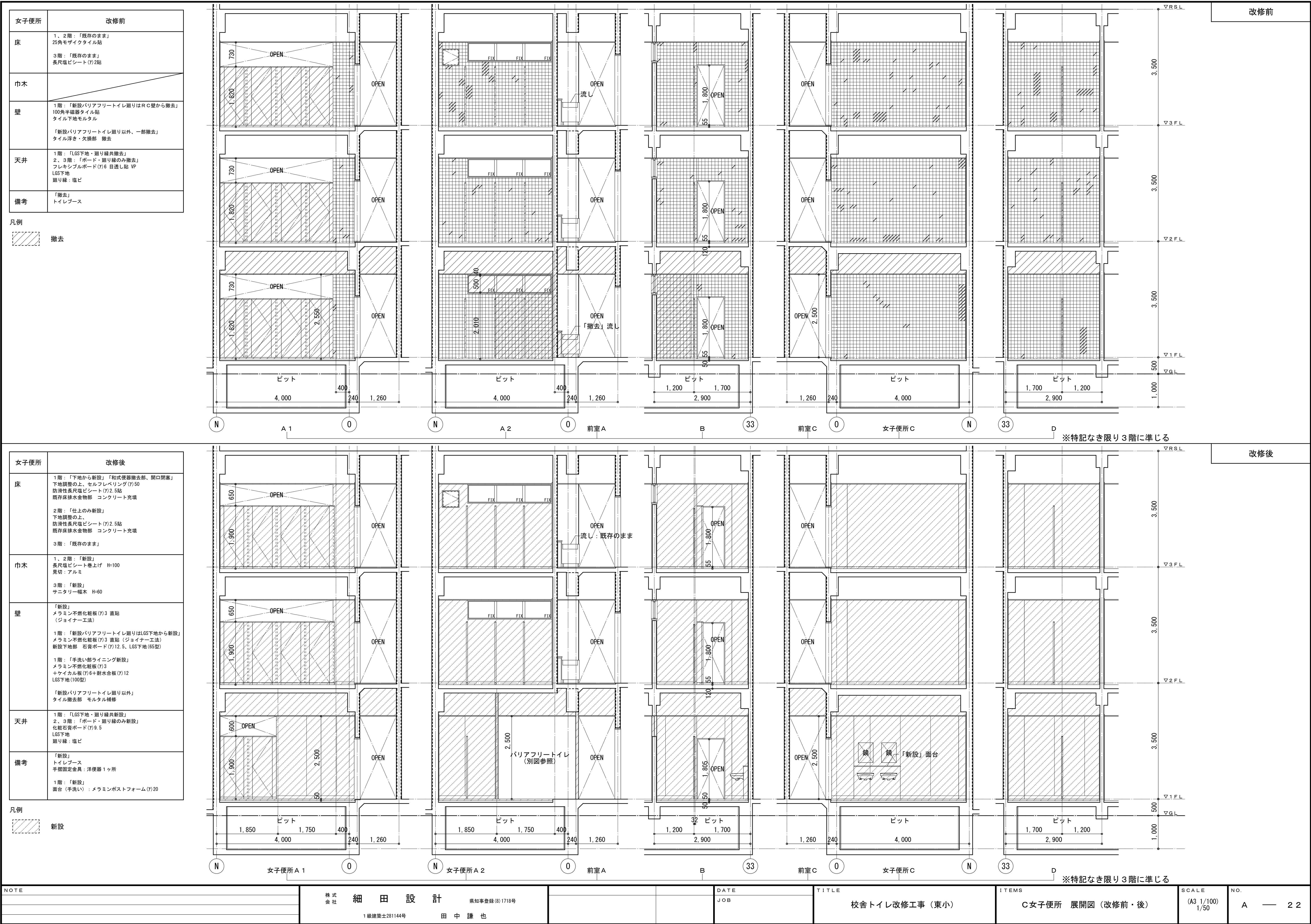
DATE
JOB

TITLE
校舎トイレ改修工事（東小）

ITEMS
C男子便所 展開図（改修前・後）

SCALE
(A3 1/100)
1/50

NO.
A — 21



女子便所		改修後	
床		1階：「下地から新設」「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、セルフレベリング(7)50 防滑性長尺塩ビシート(7)2.5貼 既存床排水金物部 コンクリート充填 2階：「仕上のみ新設」 下地調整の上 防滑性長尺塩ビシート(7)2.5貼 既存床排水金物部 コンクリート充填 3階：「既存のまま」	
巾木		1、2階：「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ 3階：「新設」 サニタリー幅木 H=60	
壁		「新設」 メラミン不燃化粧板(7)3 直貼 (ジョイナー工法) 1階：「新設バリアフリートイレ廻り」LGS下地から新設 メラミン不燃化粧板(7)3 直貼 (ジョイナー工法) 新設下地部 石膏ボード(7)12.5、LGS下地(65型) 1階：「手洗い部ライニング新設」 メラミン不燃化粧板(7)3 十ヶイカル板(7)6+耐水合板(7)12 LGS下地(100型) 「新設バリアフリートイレ廻り以外」 タイル撤去部 モルタル補修	
天井		1階：「LGS下地・廻り縁共新設」 2、3階：「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード(7)9.5 LGS下地 廻り縁：塩ビ	
備考		「新設」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器1ヶ所 1階：「新設」 面台(手洗い)：メラミンボストフォーム(7)20	

凡例

新設

改修後

※特記なき限り3階に準じる

NOTE

株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号
1級建築士281144号 田中謙也

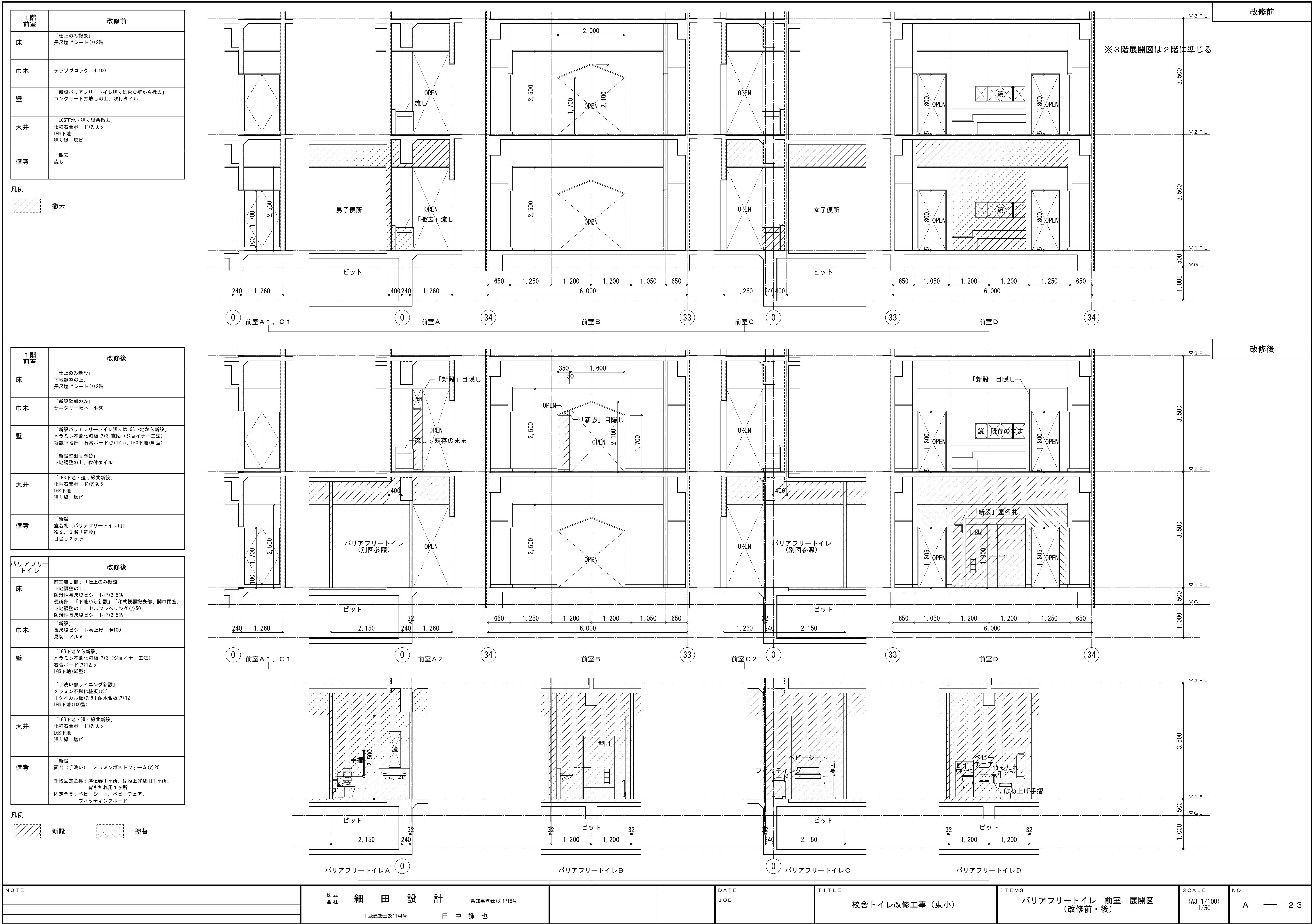
DATE
JOB

TITLE
校舎トイレ改修工事(東小)

ITEMS
C女子便所 展開図(改修前・後)

SCALE
(A3 1/100)
1/50

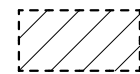
NO.
A 22

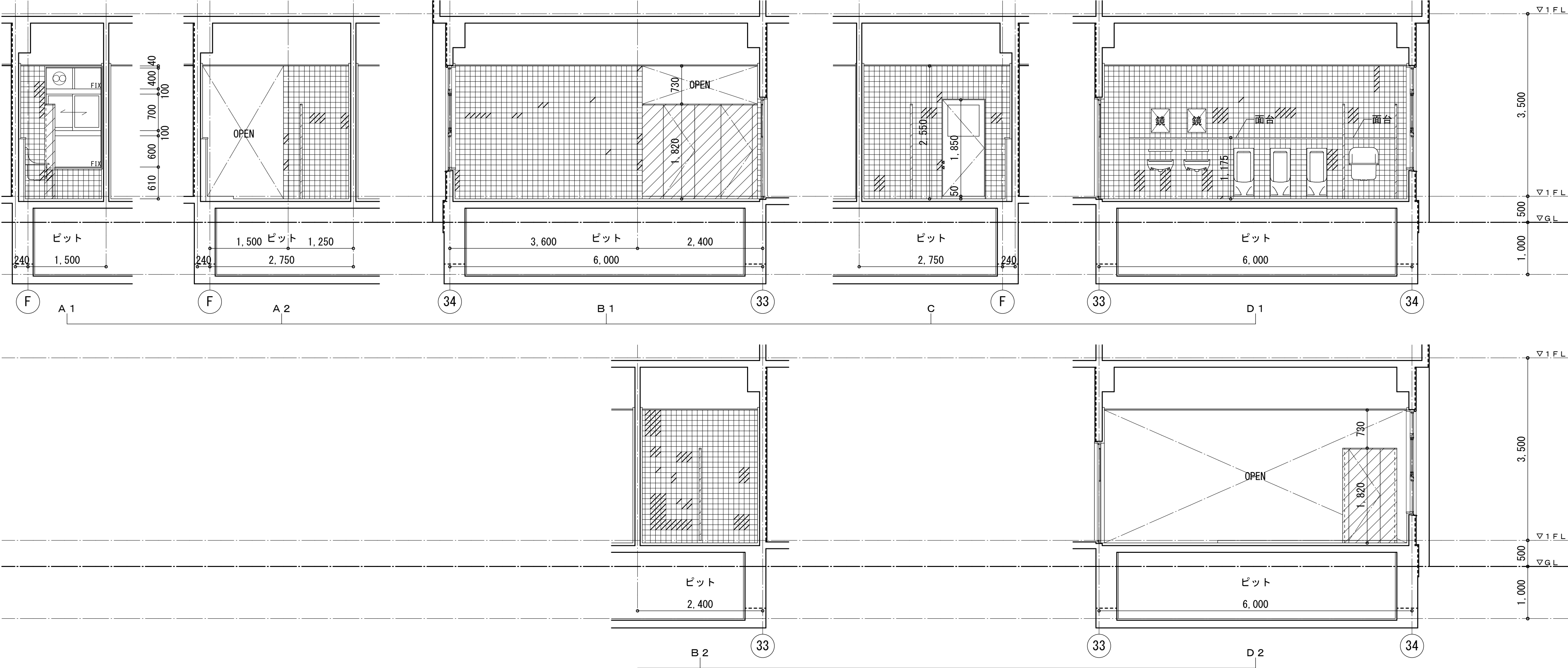




職員男子 便所	改修前
床	「既存のまま」 25角モザイクタイル貼
巾木	
壁	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去
天井	「ボード・廻り縁のみ撤去」 フレキシブルボード(7)6 目透し貼 VP LGS下地 廻り縁：塩ビ
備考	「撤去」 トイレブース 「既存のまま」 面台（小便器・手洗い・SK部）：テラソーブロック(7)25

凡例

 撤去

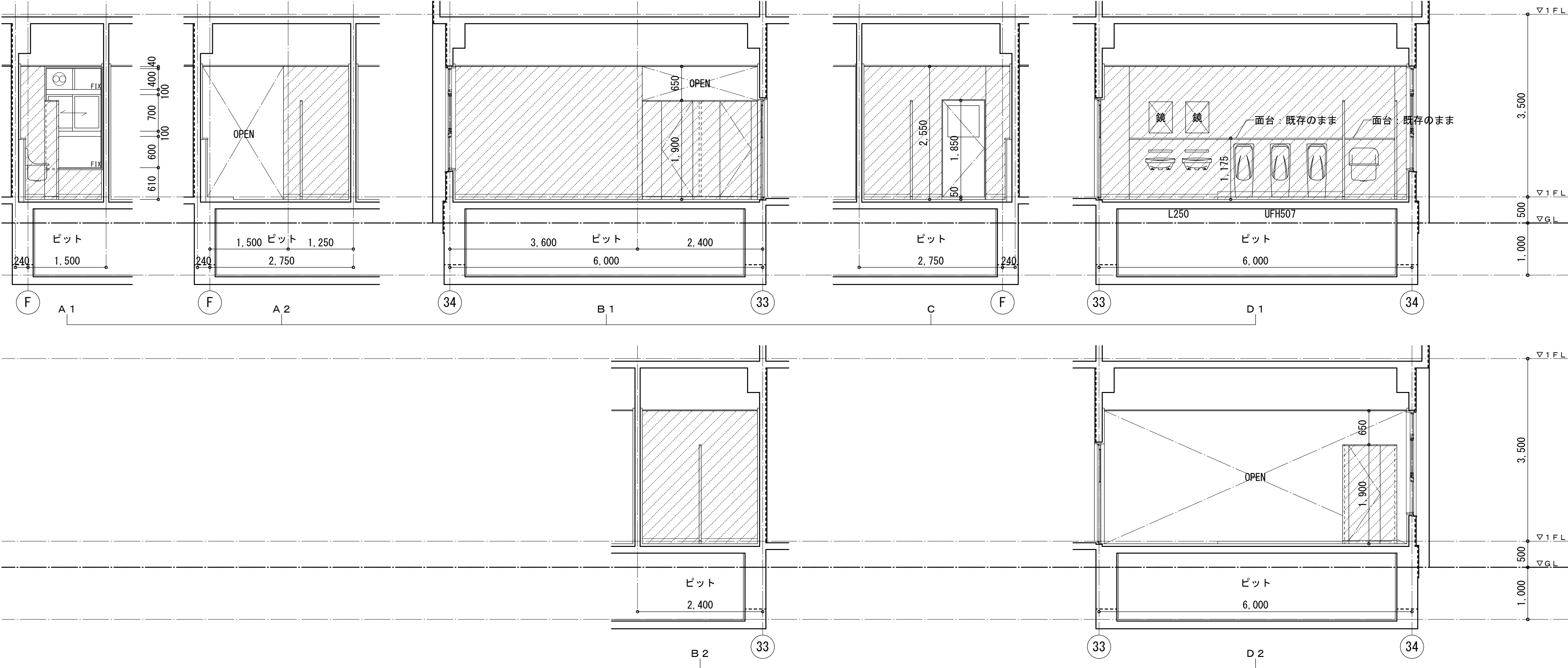


改修前

職員男子 便所	改修後
床	「仕上のみ新設」 「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート(7)2.5貼（小便器部 色分け） 既存床排水金物部 コンクリート充填
巾木	「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ
壁	「新設」 メラミン不燃化粧板(7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修
天井	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード(7)9.5 廻り縁：塩ビ
備考	「新設」 トイレブース ノンスリップ：塩ビ（小便器部） 手摺固定金具：洋便器1ヶ所 「既存のまま」 面台（小便器・手洗い・SK部）

凡例

 新設

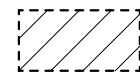


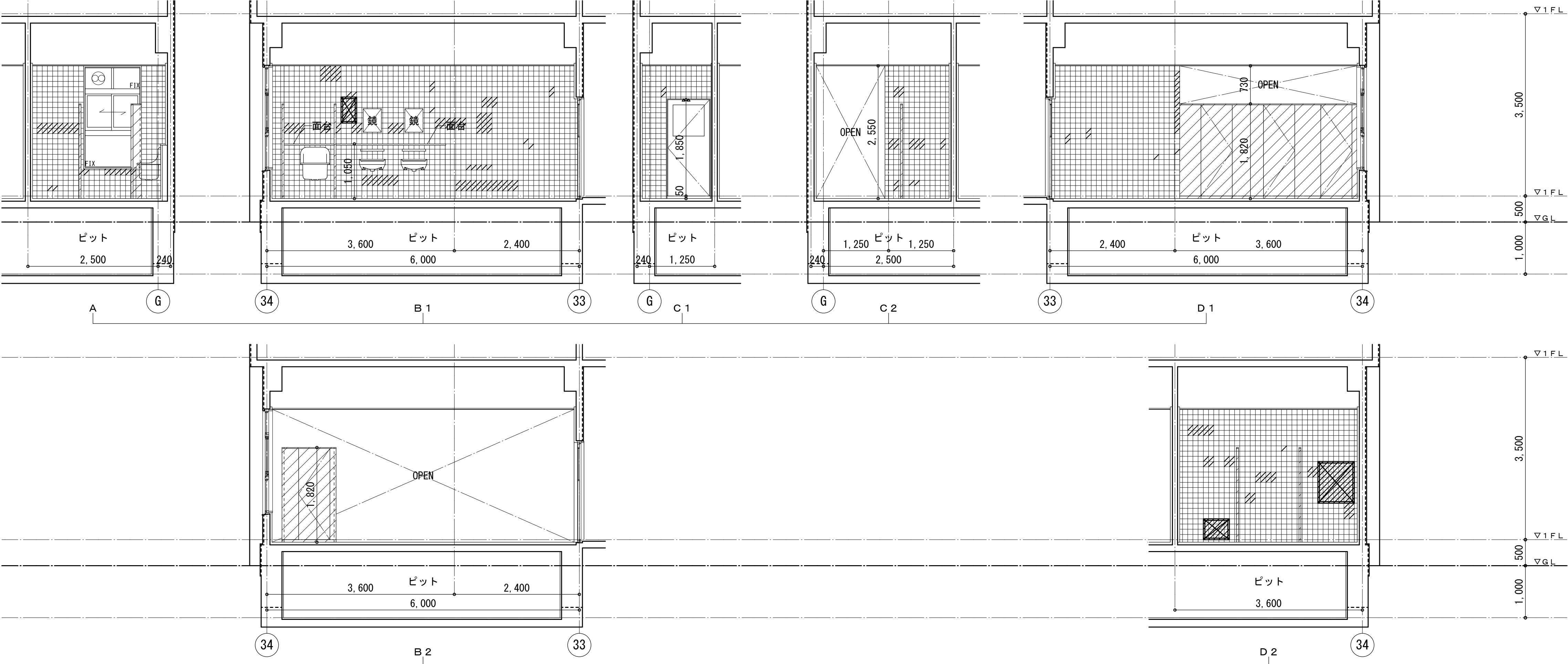
改修後

NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号 田中謙也	県知事登録(8)1718号	DATE JOB	TITLE 校舎トイレ改修工事（東小）	ITEMS 職員男子便所 展開図（改修前・後）	SCALE (A3 1/100) 1/50	NO. A — 25
------	-----------------------------------	---------------	-------------	------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------

職員女子 便所	改修前
床	「既存のまま」 25角モザイクタイル貼
巾木	
壁	100角半磁器タイル貼 タイル下地モルタル 「一部撤去」 タイル浮き・欠損部 撤去
天井	「ボード・廻り縁のみ撤去」 フレキシブルボード(7)6 目透し貼 VP LGS下地 廻り縁：塩ビ
備考	「撤去」 トイレブース 「既存のまま」 面台（手洗い・SK部）：テラゾーブロック(7)25 床下点検口 600角

凡例

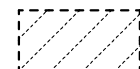
 撤去

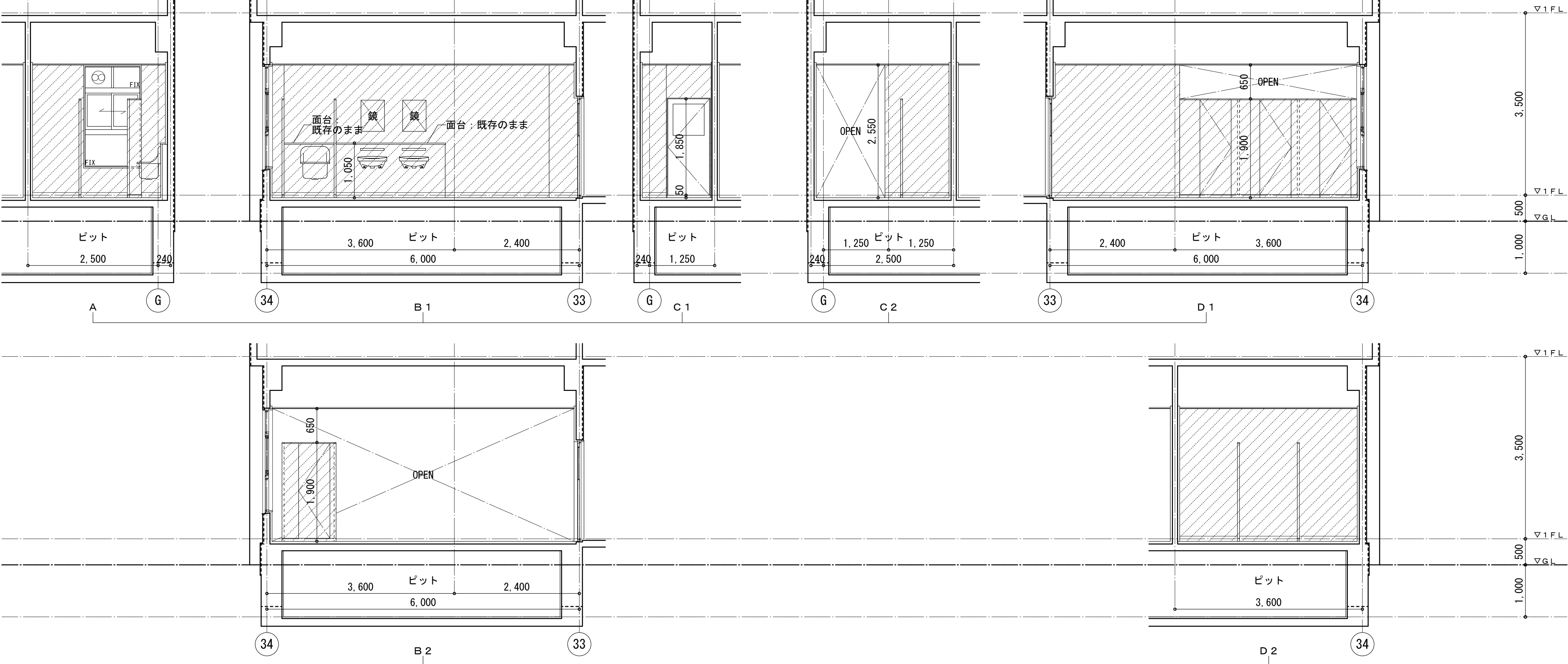


改修前

職員女子 便所	改修後
床	「仕上のみ新設」 「和式便器撤去部、開口閉塞」 下地調整の上、 防滑性長尺塩ビシート(7)2.5貼 既存床排水金物部 コンクリート充填
巾木	「新設」 長尺塩ビシート巻上げ H=100 見切：アルミ
壁	「新設」 メラミン不燃化粧板(7)3 直貼 (ジョイナー工法) タイル撤去部 モルタル補修
天井	「ボード・廻り縁のみ新設」 化粧石膏ボード(7)9.5 廻り縁：塩ビ
備考	「新設」 トイレブース 手摺固定金具：洋便器 1ヶ所 「既存のまま」 面台（手洗い・SK部） 床下点検口 600角

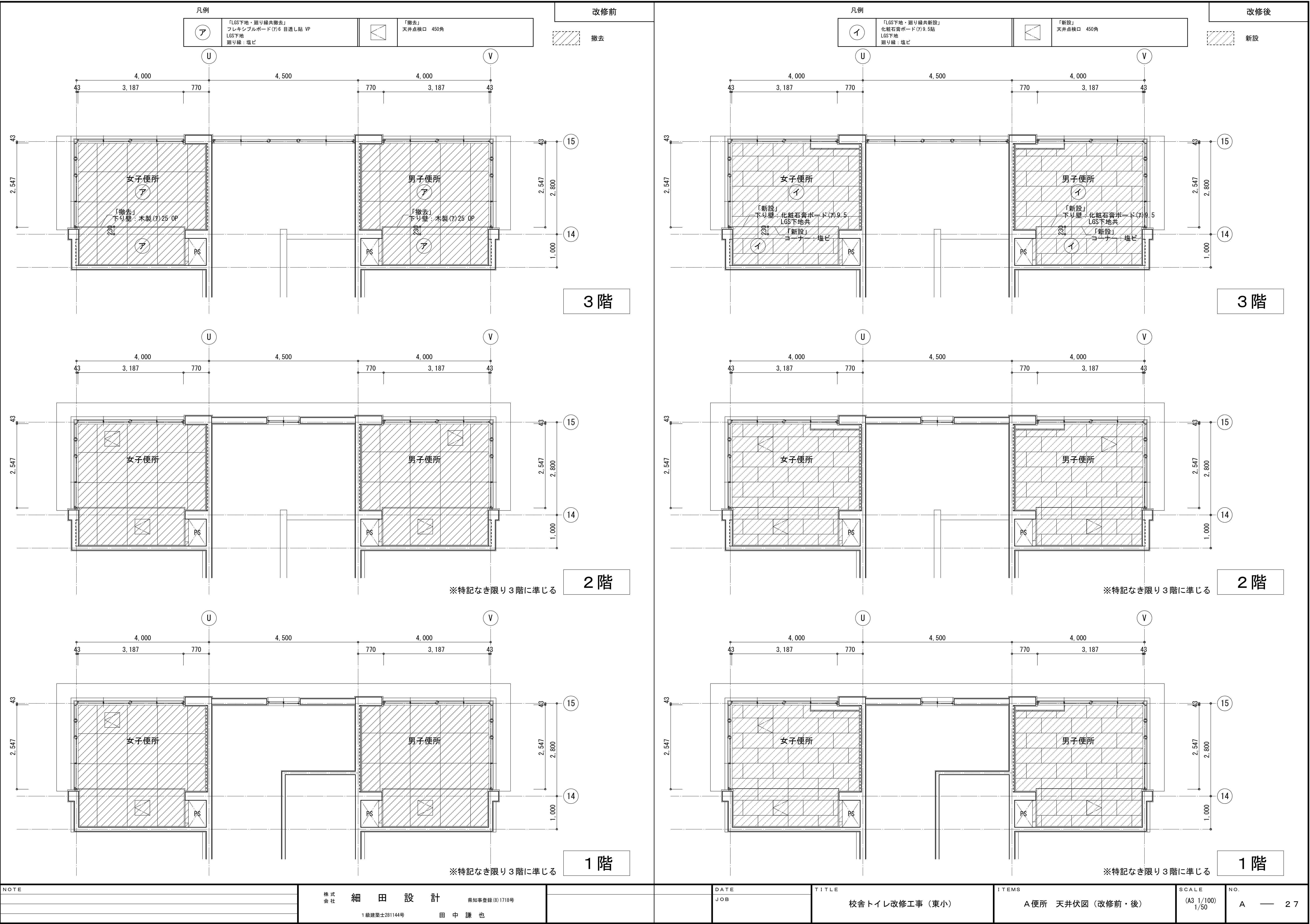
凡例

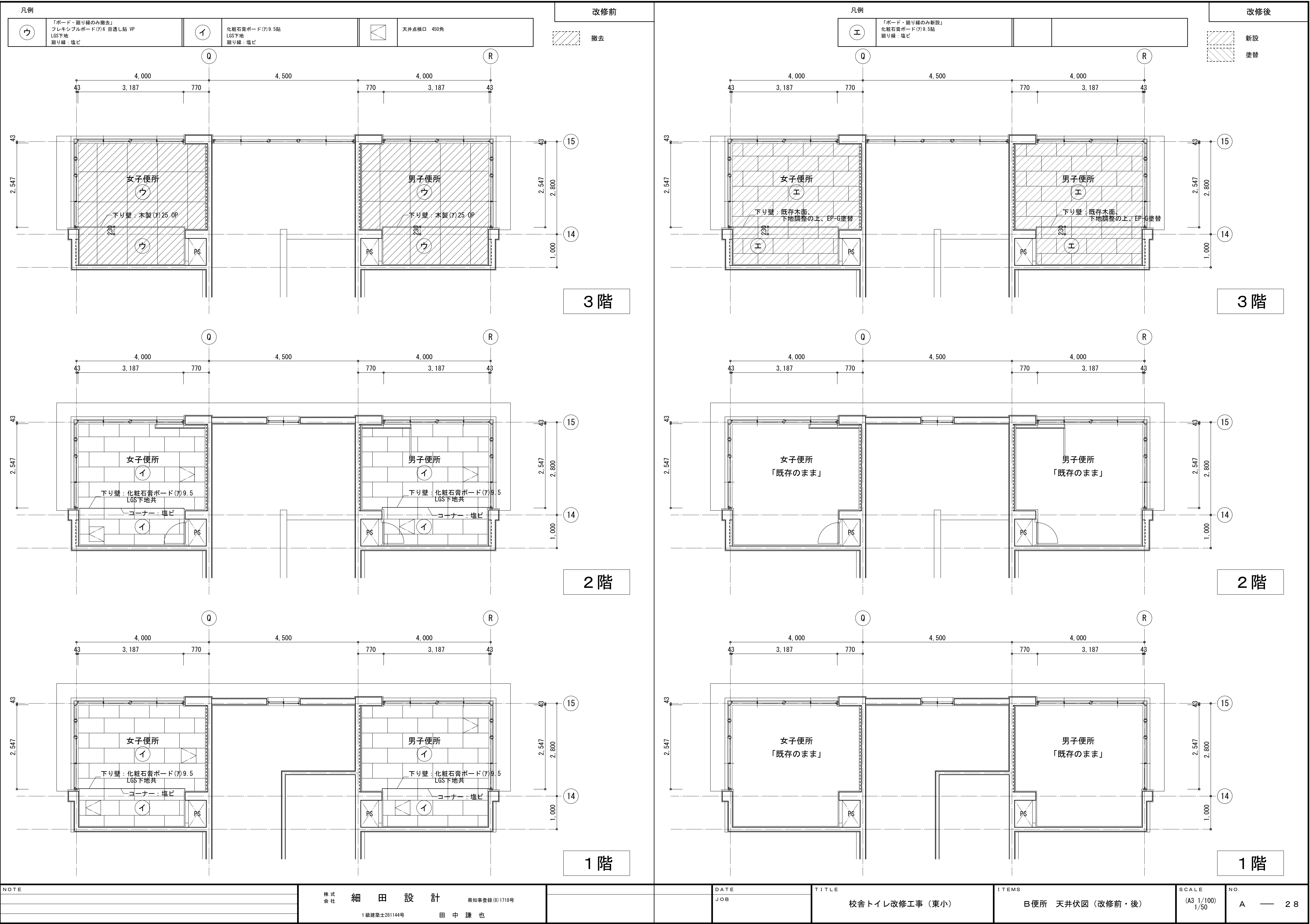
 新設



改修後

NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号	県知事登録(8)1718号 田中謙也	DATE JOB	TITLE 校舎トイレ改修工事（東小）	ITEMS 職員女子便所 展開図（改修前・後）	SCALE (A3 1/100) 1/50	NO. A — 26
------	---------------------------	-----------------------	-------------	------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------







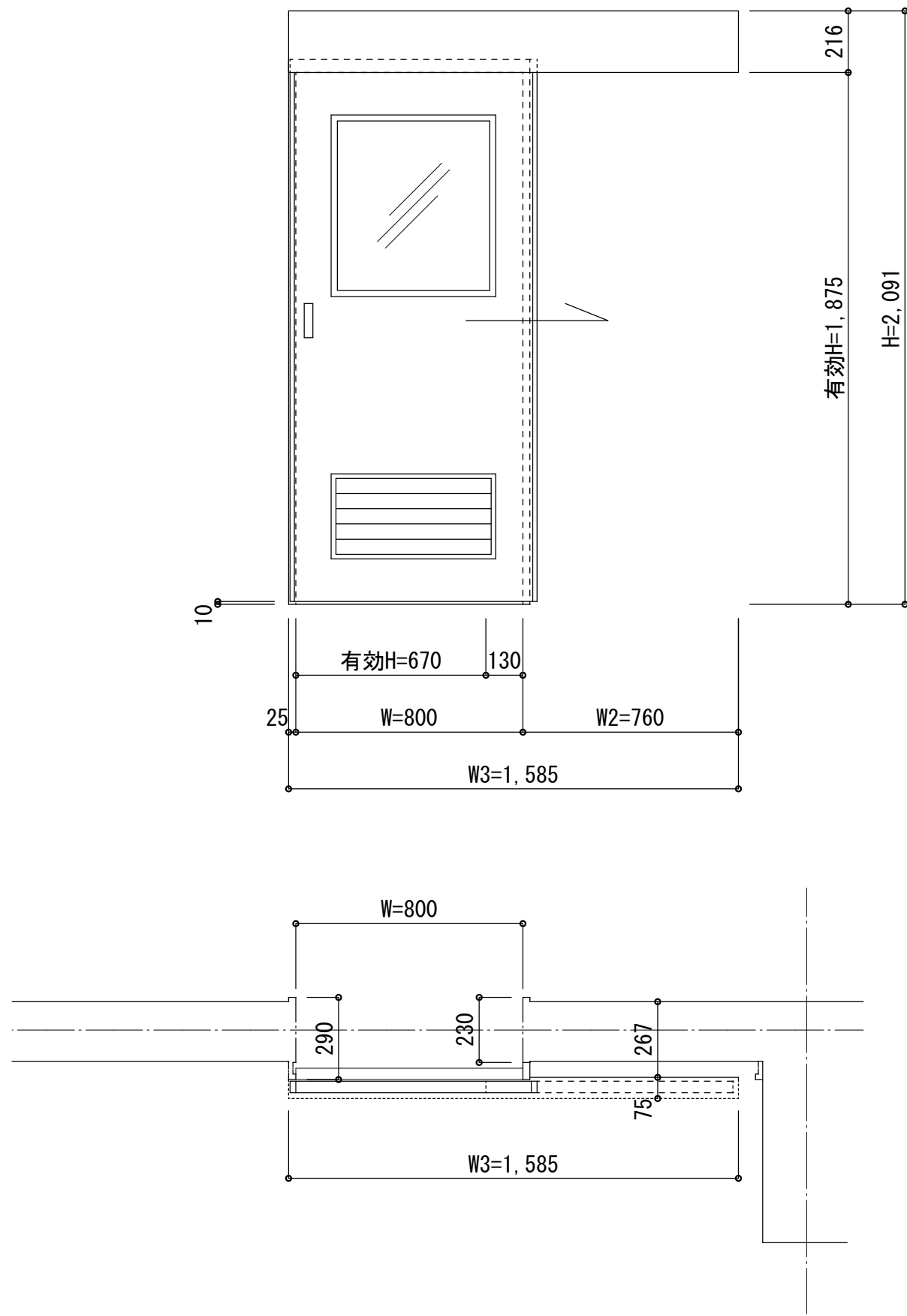
建具表													
凡例 10番安 A便所 20番安 B便所 30番安 C便所 40番安 職員便所 00 既存のまま 又は、既存清掃 T00 撤去 S00 新設 K00 既存改修	今回工事内容		「クレセント新設」、「建具清掃（ガラス含む）」		「建具清掃（ガラス含む）」								
	記号 型式		AW T1A 引違い窓、一部 F I X 窓		AW T1B 引違い窓、一部 F I X 窓								
	取付位置		1、2、3階 男子便所 3ヶ所		1、2、3階 女子便所 3ヶ所								
	材質 仕上		アルミ（アルマイト）		アルミ（アルマイト）								
	金物		※部：レバー式クレセント新設										
	ガラス		型ガラス		型ガラス								
	備考		A P：アルミパネル		A P：アルミパネル								
姿図													
今回工事内容		「撤去」		「撤去」		「新設」		「新設」					
記号 型式		SD T1A 片開き戸		SD T1B 片開き戸		SD T1A 片開き戸		SD T1B 片開き戸					
取付位置		1、2、3階 男子便所 P S 3ヶ所		1、2、3階 女子便所 P S 3ヶ所		1、2、3階 男子便所 P S 3ヶ所		1、2、3階 女子便所 P S 3ヶ所					
材質 仕上		スチール SOP		スチール SOP		スチール SOP		スチール SOP					
金物		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式					
ガラス													
備考													
姿図													
今回工事内容		「扉、下枠撤去」		「扉、下枠撤去」		「新設」		「新設」					
記号 型式		LSD T1A 片引きフラッシュ戸		LSD T1B 片引きフラッシュ戸		LSD T1A 軽量片引きフラッシュ戸 戸厚 40		LSD T1B 軽量片引きフラッシュ戸 戸厚 40					
取付位置		1、2、3階 男子便所 3ヶ所		1、3階 女子便所 2ヶ所		2階 女子便所 1ヶ所		1、2、3階 男子便所 3ヶ所		1、2、3階 女子便所 3ヶ所			
材質 仕上		メラミン樹脂化粧合板		メラミン樹脂化粧合板				扉部 表面材：亜鉛めっき銅板 焼付塗装、芯材：ペーパーコア 枠部 亜鉛めっき銅板 焼付塗装		扉部 表面材：亜鉛めっき銅板 焼付塗装、芯材：ペーパーコア 枠部 亜鉛めっき銅板 焼付塗装			
金物								ハンガードア（傾斜レール 制御装置エアダンパ） ステン掘込引手		ハンガードア（傾斜レール 制御装置エアダンパ） ステン掘込引手			
ガラス		型ガラス (7) 4		型ガラス (7) 4				学校用型板強化ガラス (7) 4		学校用型板強化ガラス (7) 4			
備考		ガラリ付 下枠：SUS		ガラリ付 下枠：SUS		下枠：SUS		ガラリ付 床見切：SUS		ガラリ付 床見切：SUS			
姿図						姿図は 1 1 B 参照 ※引戸無し							
NOTE		株式会社 細 田 設 計 県知事登録 (8) 1718号				DATE		TITLE		ITEMS		SCALE	NO.
		1級建築士 281144号 田 中 謙 也				JOB		校舎トイレ改修工事（東小）		建具表 1（A 便所）		(A3 1/100) 1/50	A — 3 1

建具表										
今回工事内容		「撤去」		「撤去」		「撤去」		「撤去」		
記号	型式	トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース		
取付位置		戸厚 40		戸厚 40		戸厚 40		戸厚 40		
材質	仕上	化粧銅板		化粧銅板		化粧銅板		化粧銅板		
金物		SUS製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り		SUS製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り		SUS製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り		SUS製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り		
備考										
姿図										
今回工事内容		「新設」		「新設」		「新設」		「新設」		
記号	型式	トイレブース		目隠し		トイレブース		トイレブース		
取付位置		パネル厚 40		パネル厚 40		パネル厚 40		パネル厚 40		
材質	仕上	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア		
金物		トイレブース：スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、SUS笠木、SUS巾木 掃除具ブース：引手、中心吊ヒンジ、戸当り、SUS笠木、SUS巾木		SUS笠木、SUS巾木		スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、SUS笠木、SUS巾木		トイレブース：スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、SUS笠木、SUS巾木 掃除具ブース：引手、中心吊ヒンジ、戸当り、SUS笠木、SUS巾木		
備考										
姿図										
今回工事内容										
記号	型式									
取付位置										
材質	仕上									
金物										
ガラス										
備考										
姿図										
NOTE										
		株式会社 細田設計		県知事登録(8)1718号				DATE		
								JOB		
		1級建築士281144号		田中謙也		校舎トイレ改修工事（東小）		TITLE		
						建具表2（A便所）		ITEMS		
								SCALE		
								(A3 1/100)		
								1/50		
								NO.		
								A — 32		

建具表											
今回工事内容		「建具清掃（ガラス含む）」			「建具清掃（ガラス含む）」						
記号	型式	AW21A 引違い窓、一部FIX窓			AW21B 引違い窓、一部FIX窓						
取付位置		1、3階 男子便所 2ヶ所			1、3階 女子便所 2ヶ所						
材質	仕上	アルミ（アルマイト）			アルミ（アルマイト）						
金物											
ガラス		型ガラス			型ガラス						
備考		AP：アルミパネル			AP：アルミパネル						
立面図											
今回工事内容		「清掃」			「清掃」			「清掃」		「清掃」	
記号	型式	SD21A 片開き戸			SD21B 片開き戸			LSD21A 片引きフラッシュ戸		LSD21B 片引きフラッシュ戸	
取付位置		1、3階 男子便所 PS 2ヶ所			1、3階 女子便所 PS 2ヶ所			1、3階 男子便所 2ヶ所		1、3階 女子便所 2ヶ所	
材質	仕上	スチール SOP			スチール SOP			メラミン樹脂化粧合板		メラミン樹脂化粧合板	
金物		付属金物一式			付属金物一式						
ガラス								型ガラス (7) 4		型ガラス (7) 4	
備考								ガラリ付		ガラリ付	
立面図											
今回工事内容		「撤去」			「撤去」			「新設」		「新設」	
記号	型式	TB121 トイレブース 戸厚 40			TB122 トイレブース 戸厚 40			TB121 トイレブース パネル厚 40		TB122 トイレブース パネル厚 40	
取付位置		1、3階 男子便所 2ヶ所			1、3階 女子便所 2ヶ所			1、3階 男子便所 2ヶ所		1、3階 女子便所 2ヶ所	
材質	仕上	化粧銅板			化粧銅板			表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア	
金物		SUS製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り			SUS製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り			トイレブース：スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、SUS笠木、SUS巾木		トイレブース：スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、SUS笠木、SUS巾木	
ガラス								掃除具ブース：引手、中心吊ヒンジ、戸当り、SUS笠木、SUS巾木		掃除具ブース：引手、中心吊ヒンジ、戸当り、SUS笠木、SUS巾木	
備考											
立面図											
NOTE		株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号			1級建築士281144号 田中謙也			DATE JOB		TITLE 校舎トイレ改修工事（東小）	
										ITEMS 建具表3（B便所）	
										SCALE (A3 1/100) 1/50	
										NO. A 33	

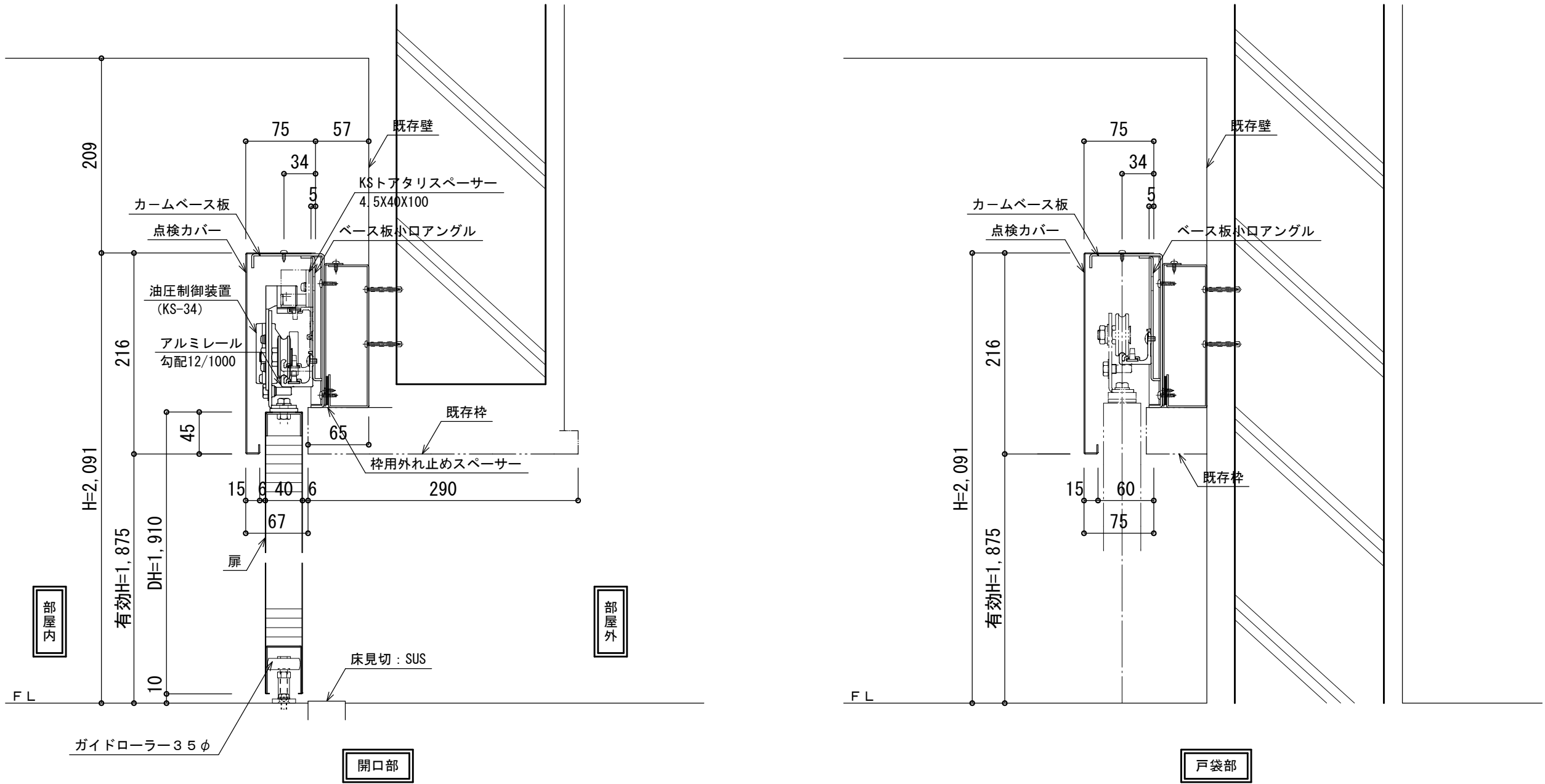
建具表																							
今回工事内容		「建具清掃（ガラス含む）」			「撤去」			「建具清掃（ガラス含む）」			「清掃」		「清掃」										
記号	型式	AW 31 引違い窓、一部 F I X 窓 枠見込 7 0			AW T32A F I X 窓 枠見込 7 0			AW 32B F I X 窓 枠見込 7 0			SD 31 片開き戸		SD 32 片開き戸										
取付位置		1、2、3階 男子便所 3 ヶ所			1階 男子便所 1 ヶ所			2、3階 男子便所 2 ヶ所			1、2、3階 男子便所 P S 3 ヶ所		3階 女子便所 P S 1 ヶ所										
材質 仕上		アルミ（アルマイト）			アルミ（アルマイト）			アルミ（アルマイト）			スチール SOP		スチール SOP										
金物											付属金物一式		付属金物一式										
ガラス		透明ガラス (7)5			型ガラス (7)3			型ガラス (7)3															
備考		A P：アルミパネル (7)3																					
立面																							
今回工事内容		「撤去」			「撤去」			「撤去」			「撤去」					「新設」							
記号	型式	TB T31 トイレブース 戸厚 4 0			TB T32 トイレブース 戸厚 4 0			TB T33 トイレブース 戸厚 4 0			TB T34 トイレブース 戸厚 4 0			TB T35 トイレブース 戸厚 4 0		LSD S31 軽量片引きフラッシュ戸 戸厚 4 0							
取付位置		1階 男子便所 1 ヶ所			1階 女子便所 1 ヶ所			2、3階 男子便所 2 ヶ所			2階 女子便所 1 ヶ所			3階 女子便所 1 ヶ所		1階 バリアフリートイレ 1 ヶ所							
材質 仕上		化粧鋼板			化粧鋼板			化粧鋼板			化粧鋼板			化粧鋼板		扉部 表面材：亜鉛めっき鋼板 焼付塗装、芯材：ペーパーコア 枠部 亜鉛めっき鋼板 焼付塗装							
金物		S U S 製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り			S U S 製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り			S U S 製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り			S U S 製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り			S U S 製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り		ハンガードア（油圧制御装置内蔵）、取手（SUS L=450）、シリンダー表示錠（大型サムターン付）、けり板（SUS製）							
ガラス																型板ガラス (7)4							
備考																ガラリ付							
立面																							
今回工事内容		「新設」			「新設」			「新設」			「新設」			「新設」			「新設」						
記号	型式	TB S31 トイレブース パネル厚 4 0			TB S32 目隠し パネル厚 4 0			TB S33 トイレブース パネル厚 4 0			TB S34 トイレブース パネル厚 4 0			TB S35 トイレブース パネル厚 4 0			TB S36 目隠し パネル厚 4 0		TB S37 目隠し パネル厚 4 0		TB S38 目隠し パネル厚 4 0		
取付位置		1階 男子便所 1 ヶ所			1階 男子便所 1 ヶ所			1階 女子便所 1 ヶ所			2、3階 男子便所 2 ヶ所			2、3階 女子便所 2 ヶ所			2、3階 男子便所 2 ヶ所		2、3階 前室 2 ヶ所		2、3階 前室 2 ヶ所		
材質 仕上		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア			表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア			表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア			表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア			表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア			表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア						
金物		スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、S U S 笠木、S U S 巾木			S U S 笠木、S U S 巾木			スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、S U S 笠木、S U S 巾木			スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、S U S 笠木、S U S 巾木			スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、S U S 笠木、S U S 巾木			S U S 笠木、S U S 巾木						
ガラス																							
備考																							
立面																							
NOTE					株式会社 細 田 設 計 県知事登録 (8) 1718号 1級建築士 281144号 田 中 謙 也						DATE JOB			TITLE 校舎トイレ改修工事（東小）			ITEMS 建具表 4（C便所）			SCALE (A3 1/100) 1/50		NO. A 3 4	

建具表												
今回工事内容		「建具清掃（ガラス含む）」			「建具清掃（ガラス含む）」							
記号	型式	ⒶⒹ ₄₁ 片引きフラッシュ戸 枠見込 70			Ⓐⓦ ₄₁ 引違い窓、一部FIX窓 枠見込 70							
取付位置	1階 職員男子便所、職員女子便所 2ヶ所			1階 職員男子便所、職員女子便所 2ヶ所								
材質	仕上	アルミ（アルマイト）			アルミ（アルマイト）							
金物												
ガラス	型ガラス(7)3			型ガラス(7)3								
備考				A P：アルミパネル(7)3								
姿図												
今回工事内容		「撤去」			「撤去」			「撤去」		「撤去」		
記号	型式	ⓉⒷ _{T41} トイレブース 戸厚 40			ⓉⒷ _{T42} トイレブース 戸厚 40			ⓉⒷ _{T43} 掃除員ブース 戸厚 40		ⓉⒷ _{T44} 掃除員ブース 戸厚 40		
取付位置	1階 職員男子便所 1ヶ所			1階 職員女子便所 1ヶ所			1階 職員男子便所 1ヶ所		1階 職員女子便所 1ヶ所			
材質	仕上	化粧鋼板			化粧鋼板			化粧鋼板		化粧鋼板		
金物	SUS製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り			SUS製頭継ぎ、ラバトリヒンジ、ラバトリラッチ、足金物、戸当り			SUS製頭継ぎ、丁番、握り玉、足金物、戸当り		SUS製頭継ぎ、丁番、握り玉、足金物、戸当り			
ガラス												
備考												
姿図												
今回工事内容		「新設」			「新設」			「新設」		「新設」		
記号	型式	ⓉⒷ _{S41} トイレブース パネル厚40			ⓉⒷ _{S42} トイレブース パネル厚40			ⓉⒷ _{S43} 掃除員ブース パネル厚40		ⓉⒷ _{S44} 掃除員ブース パネル厚40		
取付位置	1階 職員男子便所 1ヶ所			1階 職員女子便所 1ヶ所			1階 職員男子便所 1ヶ所		1階 職員女子便所 1ヶ所			
材質	仕上	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア			表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア			表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア		表面材：高圧メラミン樹脂化粧板、芯材：ペーパーコア		
金物	スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、SUS笠木、SUS巾木			スライドロック（非常解錠付）、中心吊ヒンジ、戸当り帽子掛、SUS笠木、SUS巾木			引手、中心吊ヒンジ、戸当り、SUS笠木、SUS巾木		引手、中心吊ヒンジ、戸当り、SUS笠木、SUS巾木			
ガラス												
備考												
姿図												
NOTE		株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号					DATE	TITLE		ITEMS	SCALE	NO.
		1級建築士281144号 田中謙也					JOB	校舎トイレ改修工事（東小）		建具表5（職員便所）	(A3 1/100) 1/50	A — 35

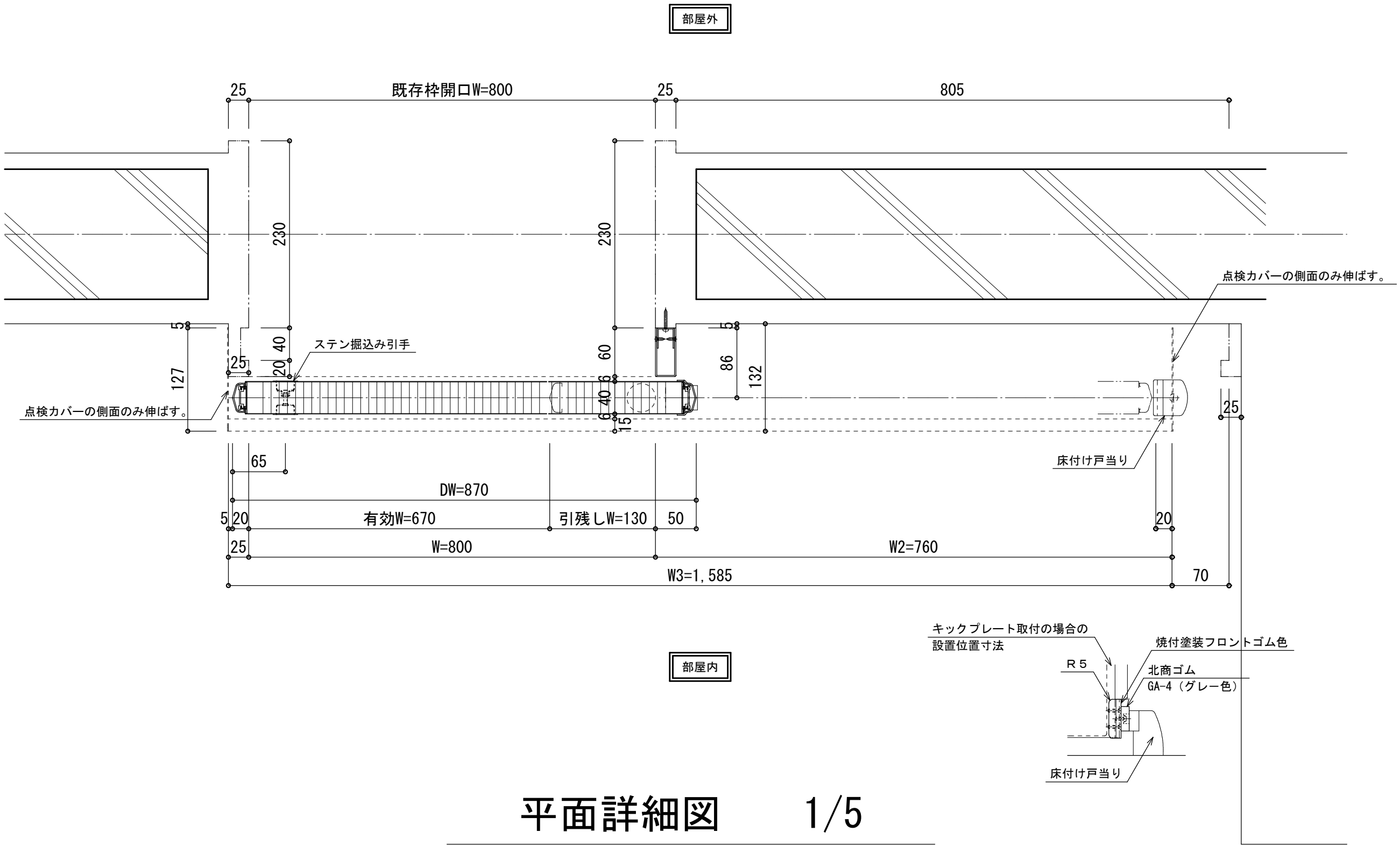


姿図 1/20

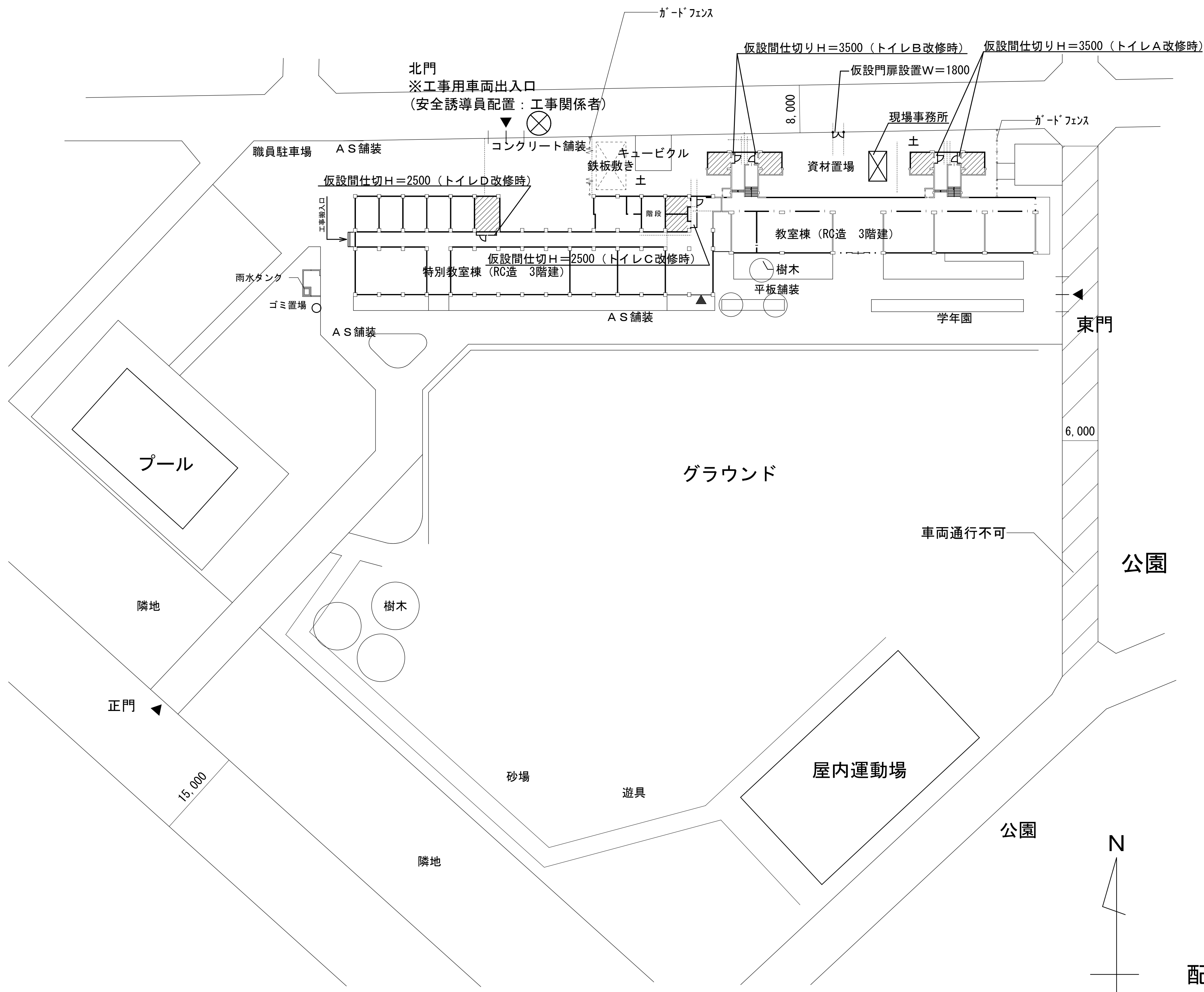
◇仕様表 (小松ウオール カードア外付け枠タイプ同等品)		
項目	部材	材料(板厚mm)
駆動装置	駆動方式	傾斜レール 制御装置エダンバ
	カムベース板	垂鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装仕上>
	カムレール	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上>
	ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットはめつき仕上
枠	先付け枠	垂鉛めっき鋼板 1.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <指定色焼付塗装仕上>
扉	パネル表面材	垂鉛めっき鋼板 0.6mm <指定色焼付塗装仕上>
	芯材	ペーバーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
	ロック	美和 POSTE錠/ゴール AD錠
	取手	掘込引手
	切窓・ガラリ	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
切窓・ガラリ	切窓・ガラリ	アルミ押出型材 <指定色焼付塗装仕上>
	切窓ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm <グレー色>



断面詳細図 1/5



平面詳細図 1/5



凡例

工事部分

仮設工事

仮囲い：ガードフェンス H=1.8m 70.3m

キャスターゲート W6.0m×H2.0m 2ヶ所

鉄板敷き：鋼板（ア）22.40.0㎡

交通誘導員

※搬入路について

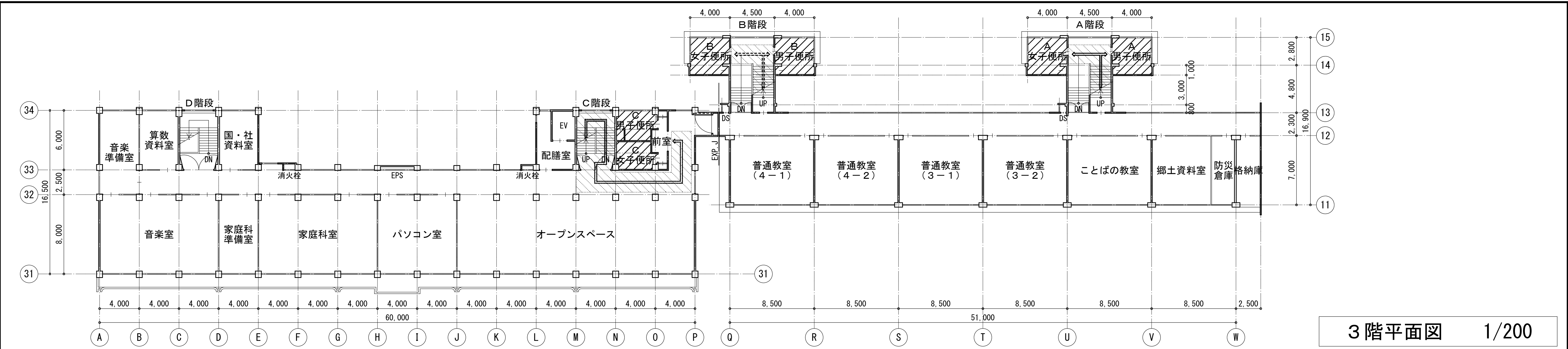
1. 搬入路になる部分は、十分に養生を行い損傷させないようにする。

2. 損傷させた場合は、請負者の負担で復旧する。

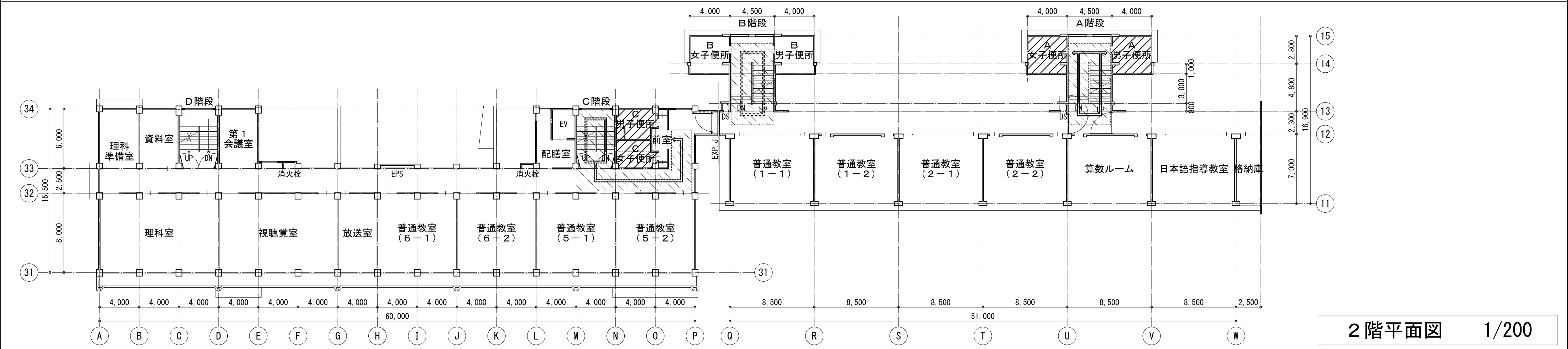
※重機および大型車による資材搬入時には、交通整理員を配置し事故のないよう十分に安全を確保すること。

配置図

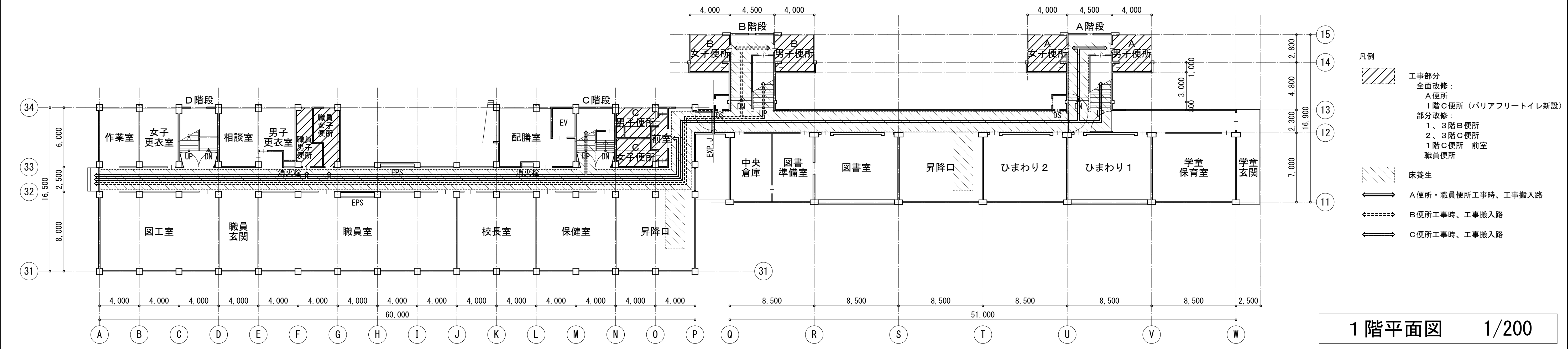
NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号	県知事登録(8)1718号 田中謙也			DATE	TITLE 校舎トイレ改修工事（東小）	ITEMS 仮設計画図（配置図）	SCALE (A3 1/800) 1/400	NO. A — 37
					JOB				



3 階平面図 1/200



2 階平面図 1/200



1 階平面図 1/200

- 凡例
- 工事部分
全面改修：
A 便所
1 階 C 便所（バリアフリートイレ新設）
部分改修：
1、3 階 B 便所
2、3 階 C 便所
1 階 C 便所 前室
職員便所
 - 床養生
 - A 便所・職員便所工事時、工事搬入路
 - ← B 便所工事時、工事搬入路
 - ← C 便所工事時、工事搬入路

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

- 1.1 工 事 名 校舎トイレ改修工事（東小）
1.2 工事場所 蕨市塚越3丁目10-36

- 1.3 工 期
- | | | | | | | | | | |
|----|---|---|----|----|----|---|---|----|----|
| 契 | 約 | 日 | から | 令和 | 年 | 月 | 日 | まで | |
| 令和 | 年 | 月 | 日 | から | 令和 | 年 | 月 | 日 | まで |
- 現場施工期間
- 現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

- 1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

- ☐ 改修工事
- ☐ 電灯コンセント設備
- ☐ 誘導支援設備 呼出し設備工事
- ☐ 撤去工事
- ☐ 発生材処理
- ☐ リサイクル

- 1.5 指定部分 ☐ 無 ・有 (工期:令和 年 月 日)
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

- 請負契約締結の日から、①現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

- 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

- 3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、
工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

- 1.7 建物概要
- 学校 (既存)

.....

- 1.8 工事概要
- 上記工事科目に示す既設を撤去して 改修工事を行う

-

- 1.9 同時期発注の関連工事 建築工事 機械設備工事

2 工事仕様

2.1 共通仕様

- (1) この工事は、建設仕様書、図面によるほか、埼玉電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省官庁庁舎官庁官舎部経路建設工事業標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書」という。）及び監督官の指示に従って施工する。
- なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質、性能基準を優先しとする。
- (2) 機材設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を用いる。
- (3) 法令、基準、仕様書等とは、原則として施工時において最新のものを用いる。

- 2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、印のものは適用しない。
○印と（※）印の付いた場合は、共に適用する。）

項	目	特 記 事 項
1	機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するものと又は同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「旧等」による理機物品等の調達に推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3	工事用電力 水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
5	足場 さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 本工事とする。
6	監督員事務所	本工事 設ける（規模 ） ※設けない
7	保 險	受注者は工事物品及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8	再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9	建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） 適用しない
10	完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する 適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受 発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。
11	発生材処理	引渡を要するもの以外は構内へ搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事 別途） （1）引渡しを要するもの（ ） （2）買取処分をするもの（銅屑 鉄屑 ） （3）再生資源化を図るもの（蛍光管 ） 蛍光管等は再生資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。 （4）特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

12

金属電線管の
塗装

13

鍵

14

地中電線路

15

回路の種別
行先の表示

16

電線の接続

17

電線管の接続

18

接地工事

19

建設発生土の
処理

20

再生砂 再生
アスコン

21

耐震施工

22

あと施工アンカー

23

はつり及びあと
施工アンカー打設

24

改修部分の足場

25

墜落制止用器具
(フルハーネス型)

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。
盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。
(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。
(2) 地中電線路には、ケーブル埋設槽及び機籠シートを設ける。ただし、低圧 弱電回路の導線シートは図面特記による。
(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。
ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線 ケーブルは、回路の種別、行先の表示を行う。
湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。
屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。
漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、湿熱防止のため、緑色、緑×黄又は緑×色帯で区別する。
埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
構外搬出適切処理する。
契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1機体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
設備機器の固定等は、「建築設備前設計 施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量[k $\times$ g]に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。
設計用標準水平震度
【備考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
配電盤 発電装置(防災用) 直流電源装置 交流無停電電源装置
交換機 火災報知器受信機 中央監視装置 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
機器 配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影装置を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) B種 C種 D種 E種 F種
※足場を設ける場合は、「(手すり先行工法等)に関するガイドライン」について(厚生労働省発第0424001号平成24年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、(働きやすい安心感のある足場に関する基
礎として、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン
(平成30年6月22日付け基発0622第2号)による
使用を要しない

- 26 アスベスト事前調査結果の報告 全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あて

- 27 その他

- (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員に承認を受ける。
- (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作物を監督員に提出し、承諾後製作する。
- (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
- (4) 本工事にかかるとの官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
- (5) 特記なき電線 ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線 ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
- (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
- (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
- (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作 安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
- (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を及ぼさない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設置すること。
- (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

- 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する）

項 目	特 記 事 項
1 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は運用形とする。なお、2口コンセントは模式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、保育室およびその関連室では、フラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新築工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 樑柱 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は樑柱を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、樑柱を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルこらしが配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。

- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。
施工前に監督員に書面にて確認する

名 称	測 点	取付高さ (mm)
		一 般
スイッチ (一般)	床上～中心	1,500
〃 (身体障害者用)	〃	1,100
人感センサスイッチ用操作ユニット ガードプレート付	〃	1,500
コンセント、電話用アダプタ、直列ユニット (一般)	〃	1,500
〃 (和室)	〃	150
〃 (台上)	台上～中心	150
防水型コンセント	床上～中心	1,500
分電盤	〃	天井に近く
制御盤、開閉器箱		(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	〃	900
復帰ボタン (〃)	〃	1,500
廊下表示灯 (〃)	〃	1,800
端子盤	〃	(上端1,900以下)1,500

3 その他

3. 1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
3. 2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。
3. 3 疑義

- 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

4 電気設備工事図 図中共通凡例

改修前図

凡例 既設 園中特記無きものは下記を適用し、下記と相違するものは、園中を優先する

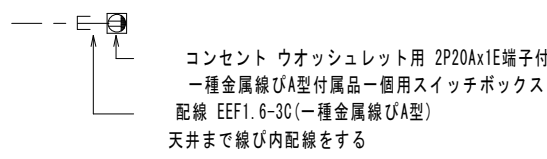
記号	名称	適用
	[VI. 6x2 (19)] 配線配管 天井裏いんべい 壁内 配管	配線密着 配管は天井いんべい部分は撤去する 壁内配管配線は配管のみ撤去する
	位置ボックス	
	[VI. 6x3 (19)]	配線配管 天井裏いんべい 壁内
	天井裏こらがし配線	EEF1.6-30 配線撤去
	蛍光灯 天井密付 40W x 2	
	天井埋込込み形ダウンライト	
	タンブラススイッチ	1P15kx2 既設スイッチ撤去 既設ボックス はそのまゝ取付使用する
	防触れワイヤ操作ユニット	
	換気扇	2006 枠・フード共
	コンセント 換気扇用	2P15kx1 天井付

改修後区

電気設備工事 改修範囲：照明器具・配線器具・配線・換気扇は既設を撤去し新品を取付け施工する

凡例 図中特記無きものは下記を適用し、下記と相違するものは、図中を優先する

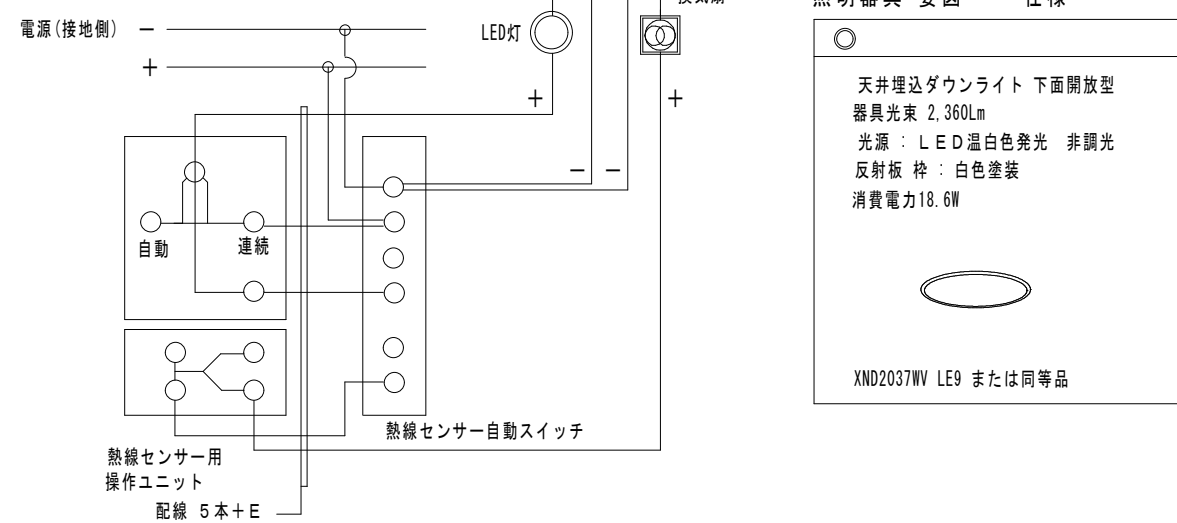
記 号	名 称	適 用
— — — — — (一点鎖線)	天井裏 ころしけ配線	EEF1 6-3C
— — — — — (二点鎖線)	※	EEF1 6-20;2
 OUT	アウトレットボックス	大形 S 4
 J BOX	ジョイントボックス	1種金風筒付付属品
 隠蔽配	ブルボックス 150x150x75	天井内に設置する
 隠蔽	※ ※	露出 指定色仕上
 ○	LEDダウンライト	天井埋込型
 ●	タンブラススイッチ埋込型 1PL15Ax2	既設スイッチを撤去後既設ボックスへ新設を付せる
 ㊦ 2E	コンセント	2P15Ax2 接地端 接地端子付
 ㊦	コンセント 換気扇用	2P15Ax1 天井取付
 ㊦	コンセント 自動水元電源用	2P15Ax1 接地端接地端子付
 ㊦	換気扇	一般形 自動式シャッター 200φ 木枠 フードー般型200φ共 電気取付工事
	換気扇 天井付	200φ 縦断能力バー 本架特共 丸形フード 防虫網付 スバライダダクト100φ 電気取付工事



熱線センサー自動スイッチ関連

※②	※③	※④ 機種	※⑤ 手帳	※⑥
熱感センサー動作検出ユニット ※1 赤外線センサー 自動・手動スイッチ付型 ※2 100Vタイプ/200Vタイプ WTSS2007W または同等品 既設を取り外して新品を 取付ける	熱感センサー操作スイッチ 付 自動・手動入 ※1 赤外線センサー 自動・手動スイッチ付型 WTAS2000K または同等品	熱感センサー自動スイッチ 付 天井付 ※1 赤外線センサー 自動・手動スイッチ付型 WTAS2010K (仕様) WTAS2010K (手帳) WTAS2010K または同等品	熱感センサーと熱感検出ユニット 付 天井付 ※1 赤外線センサー 自動・手動スイッチ付型 WTAS2010K (仕様) WTAS2010K (手帳) WTAS2010K または同等品	

熱線センサー廻りの配線



トイレ呼出し設備 凡例・仕様

[illegible]

	呼出し装置 監視 監視機	
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		
		

壁内の配線は(PF16)に入れる

NOTE	株 式 会 社	細 田 設 計 県知事登録(8)1718号 1級建築士281144号 田 中 謙 也			DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	校舎トイレ改修工事(東小)	電気設備工事 特記仕様書(1) 図中共通凡例		E — O 1	

環境配慮（グリーン）改修工事

1アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項

1本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキンを撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修様式」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月厚生労働省環境省）による。

2アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査を行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 定量分析
	※ 定性分析 定量分析
	※ 定性分析 定量分析
	※ 定性分析 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法 分析方法

※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定を行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示

適 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 （各処理作業室ごと）	備 考
レベル#1	レベル#2	レベル#3					
☐	☐		測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点 各3点	
☐	☐		測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
			測定 3	処理作業中	処理作業室内	各2点	
☐			測定 4		セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
☐			測定 5		負圧 除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認
☐	☐		測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
☐	☐		測定 7	処理作業後 （隔離シート撤去前）	処理作業室内	各2点 （レベル#3は1点）	
☐	☐		測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
			測定 9	処理作業後 （シート撤去後1週間以降）	処理作業室内	各2点 （レベル#3は1点）	
			測定 10		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法―第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差 分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差 分散顕微鏡		
ノズル径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトナートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅）3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ と直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア 測定結果

イ 測定時間

ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）

エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ マウンティング方法

カ 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4アスベスト含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹き付け材の除去を行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位 内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示

5アスベスト含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去を行う

作業上の隔離を行う

行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示

6アスベスト含有成形板類の撤去（レベル3）

1アスベスト含有成形板の除去を行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示

2非石綿部での切断による除去を行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて
石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて
石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて
		※ 図示 撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

（1）設計図書による調査
① 施工年による調査
② 使用建築材料による調査

可能性あり 不明

（2）現場目視による調査
目視調査（建材の確認）

可能性あり 不明

分析を実施しない場合

分析を実施する場合

（3）分析調査による判定
JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など

石綿含有0.1%を超えていると判断

石綿含有0.1%以下と判断

石綿使用あり 届出要件確認 届出

石綿使用なし

NOTE

株式会社 細田設計 県知事登録（8）1718号

1級建築士281144号 田中謙也

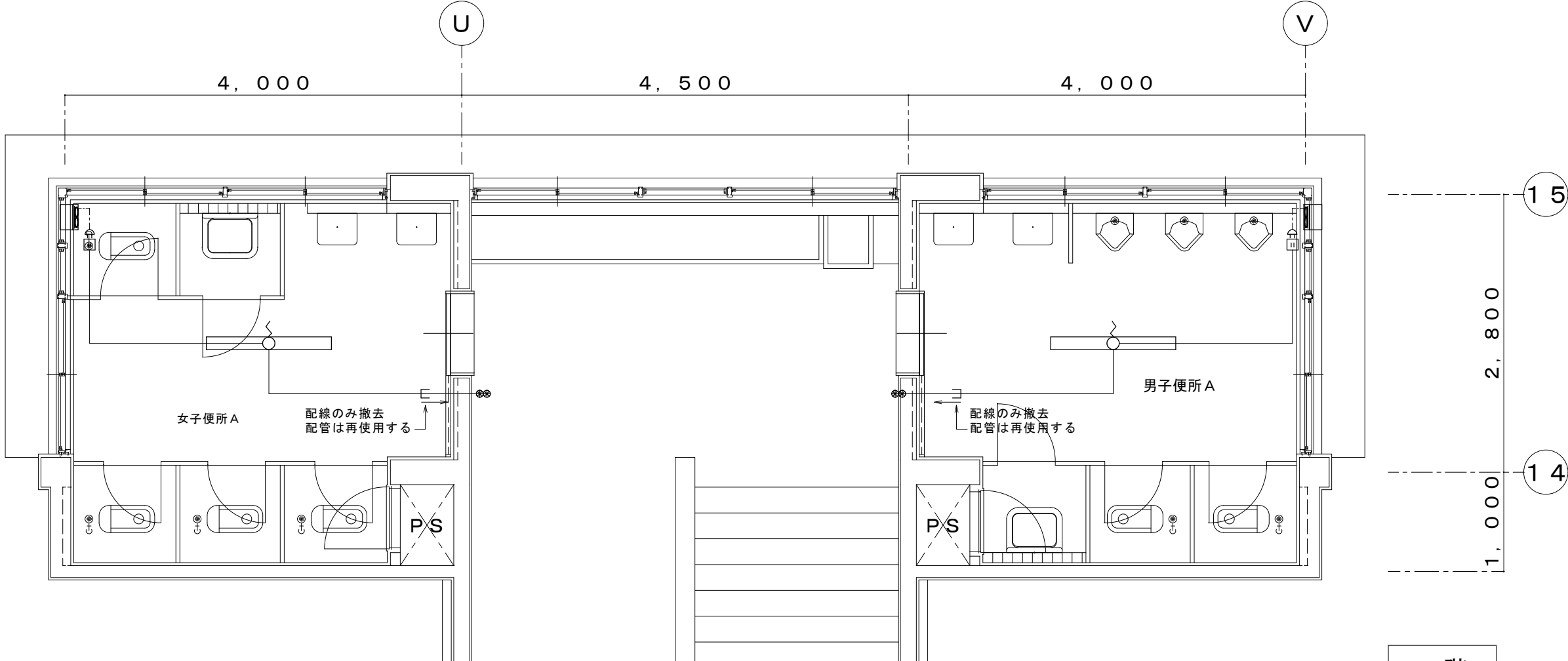
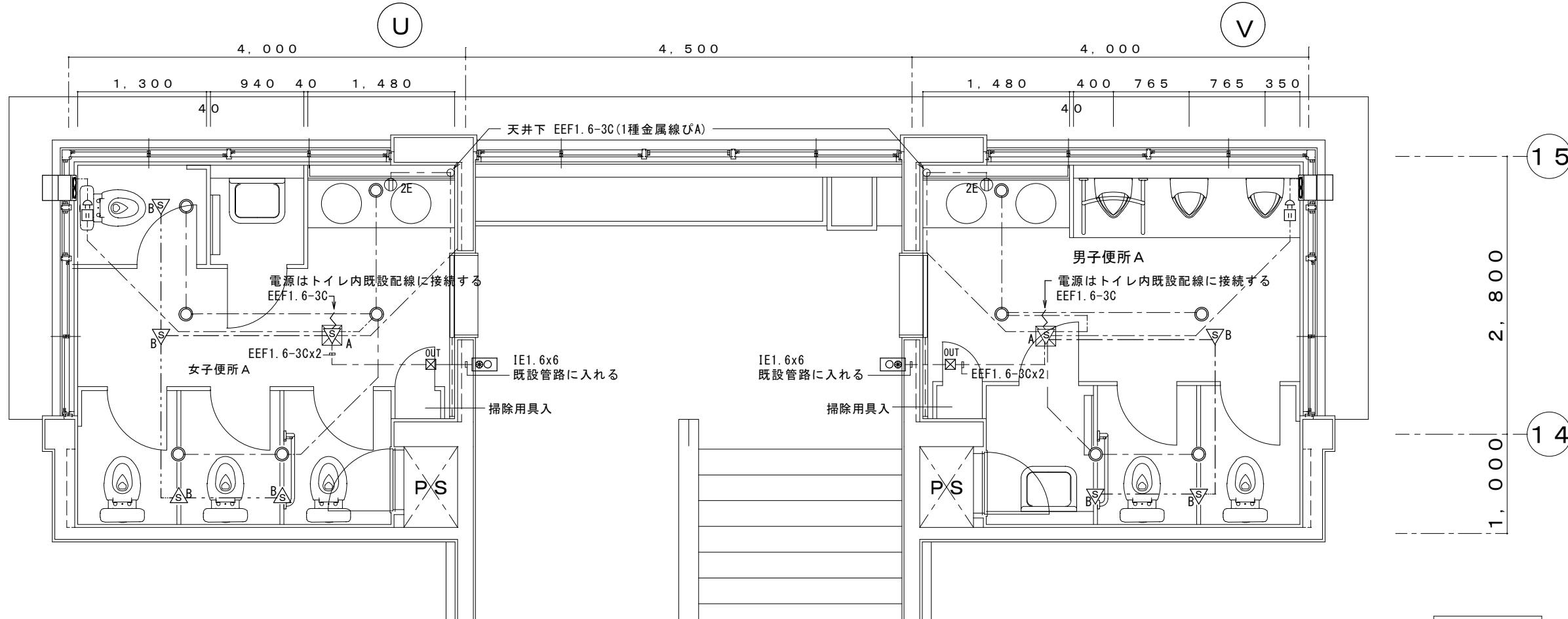
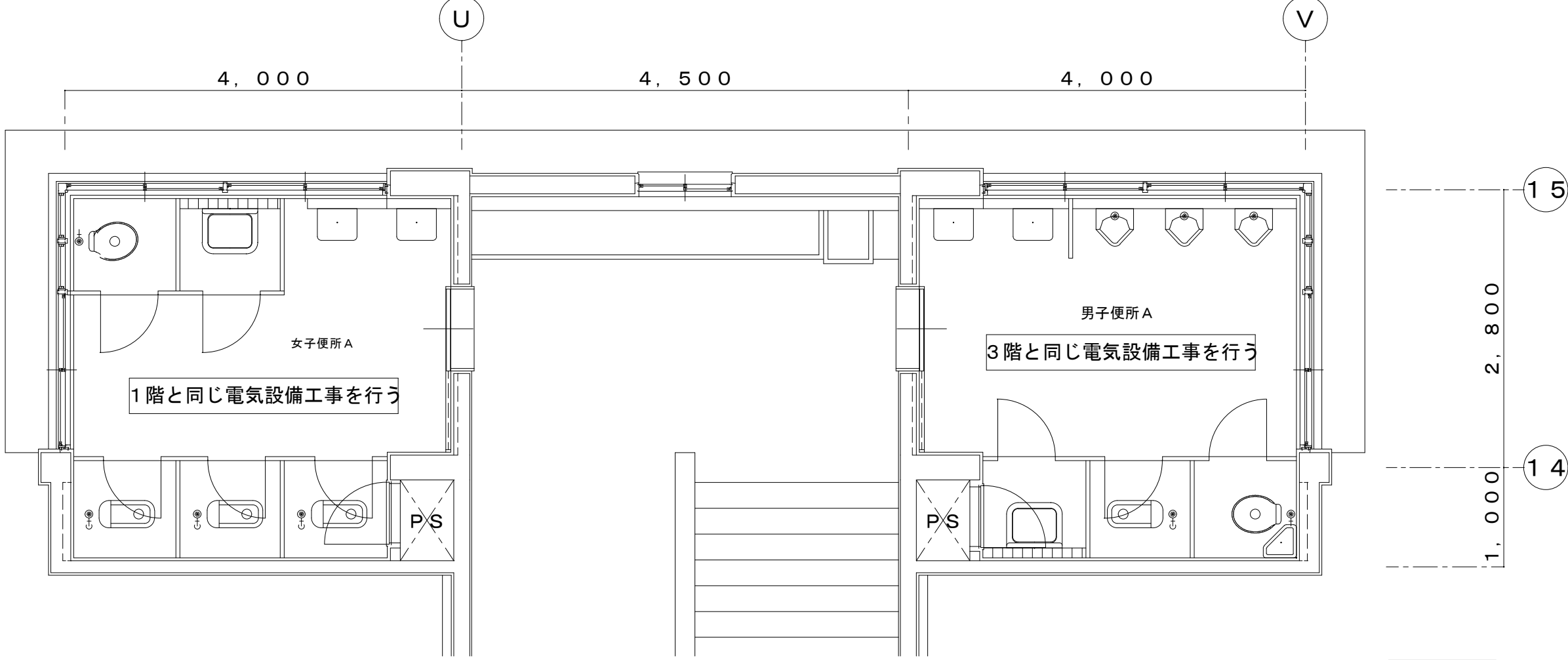
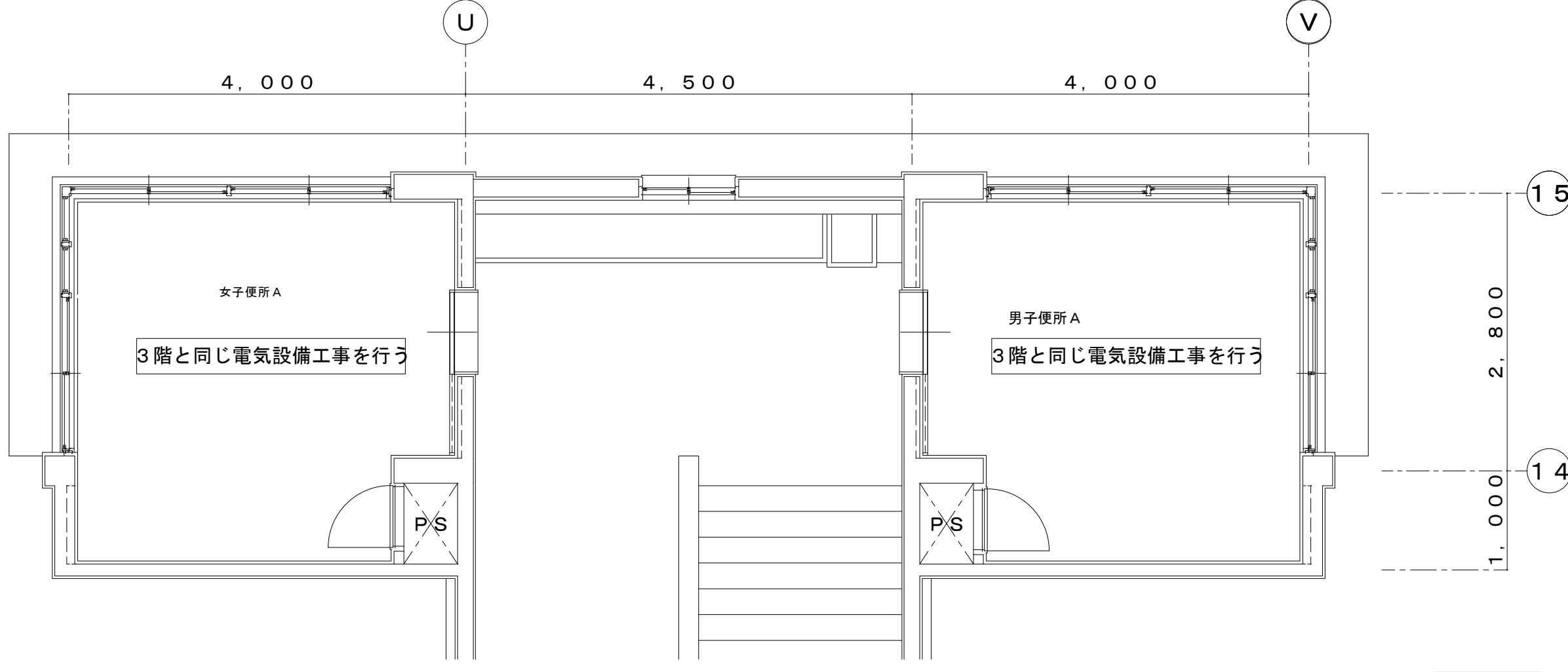
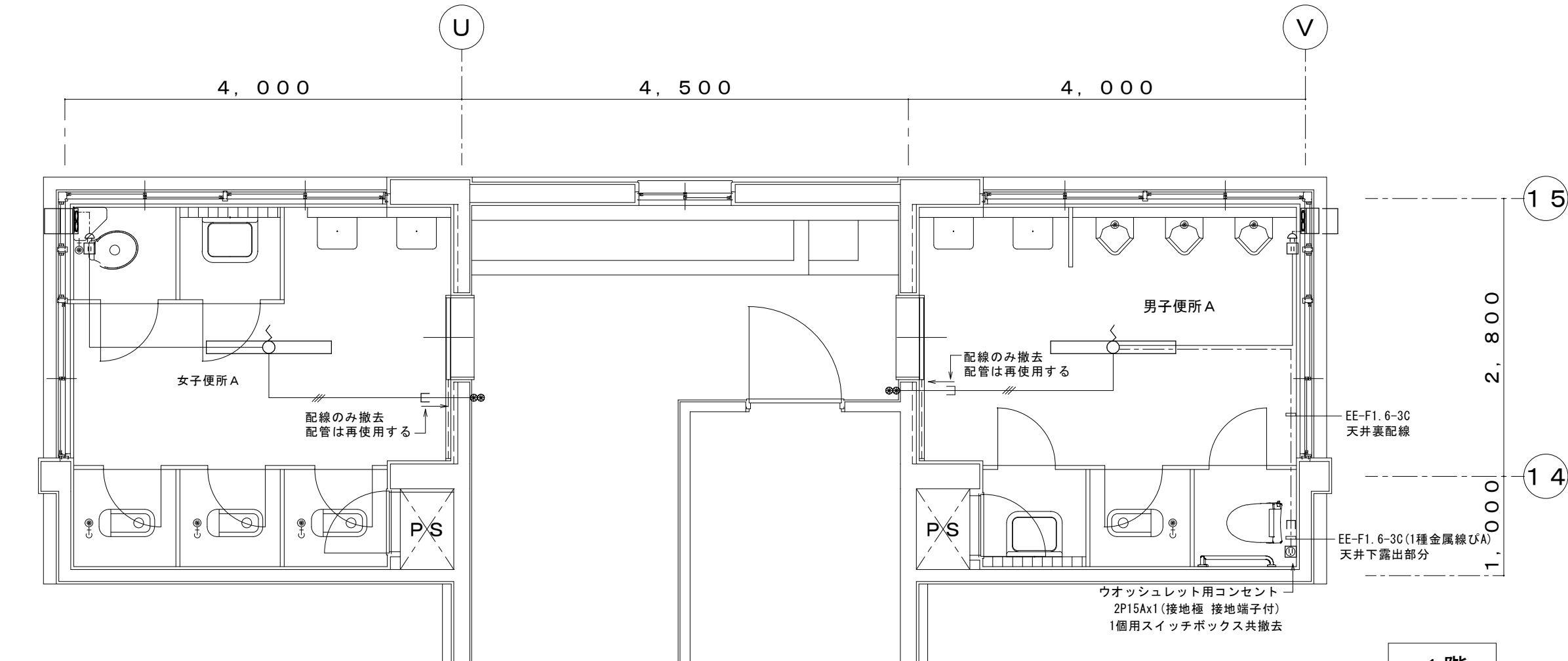
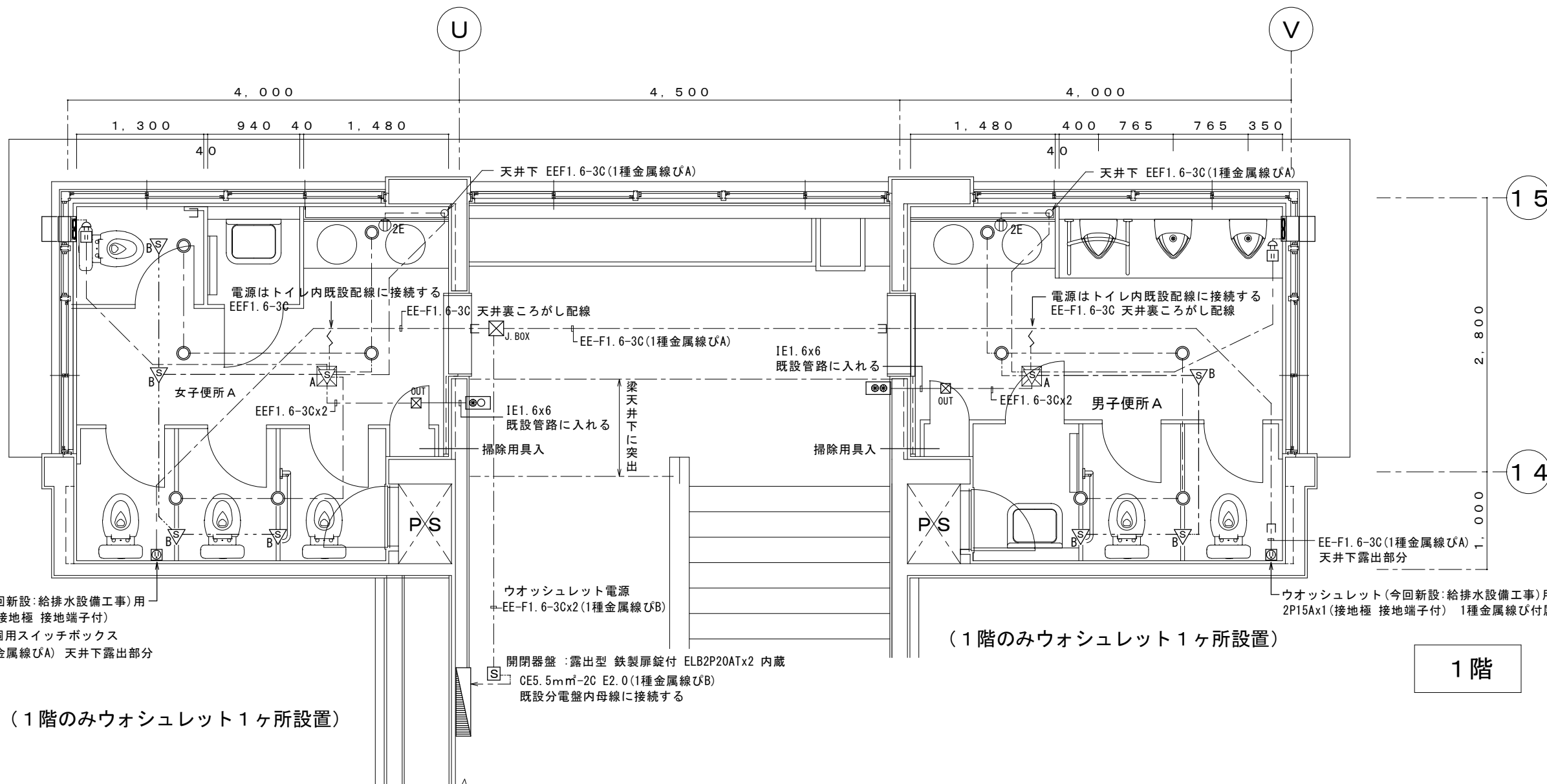
DATE
JOB

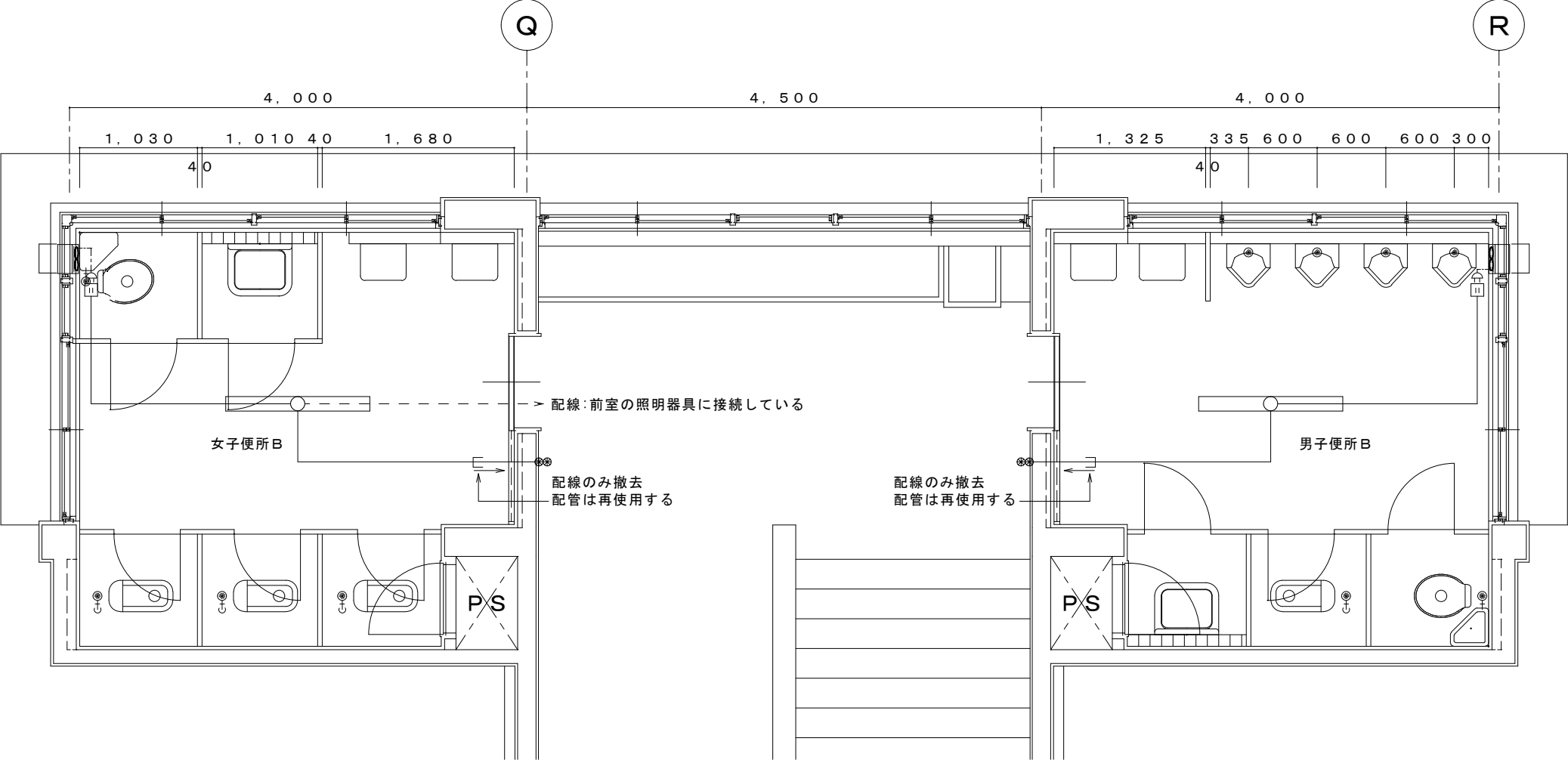
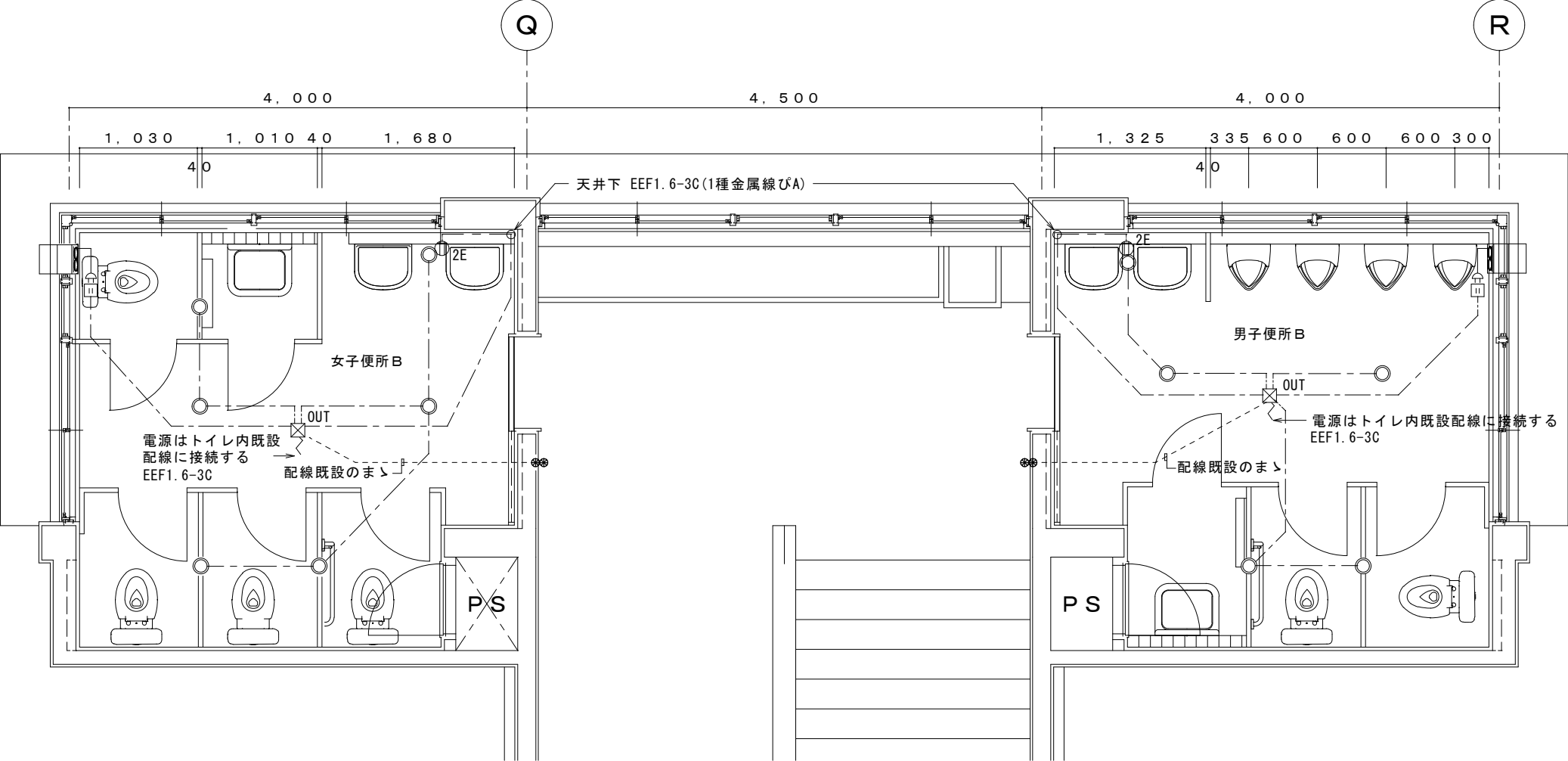
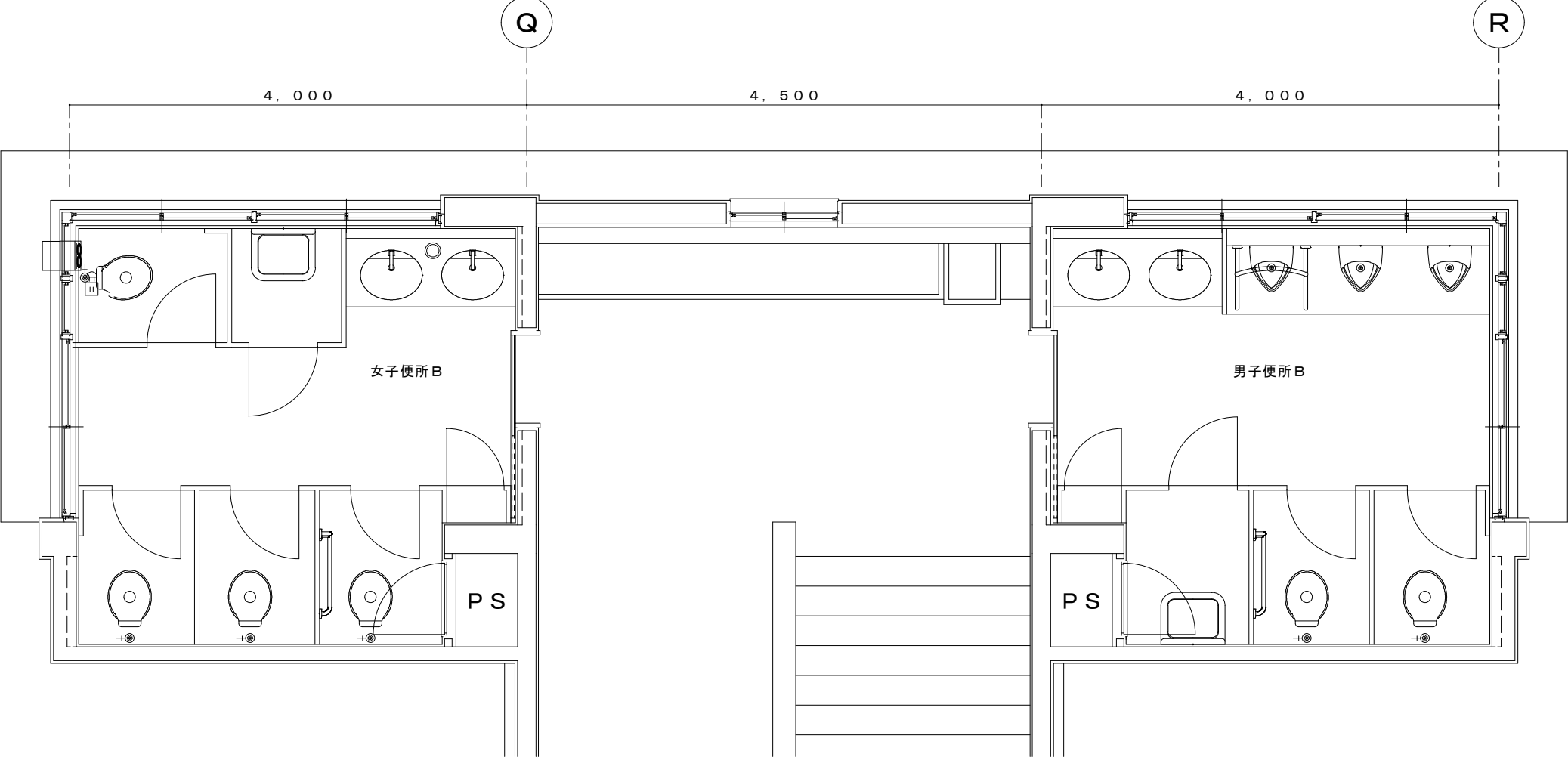
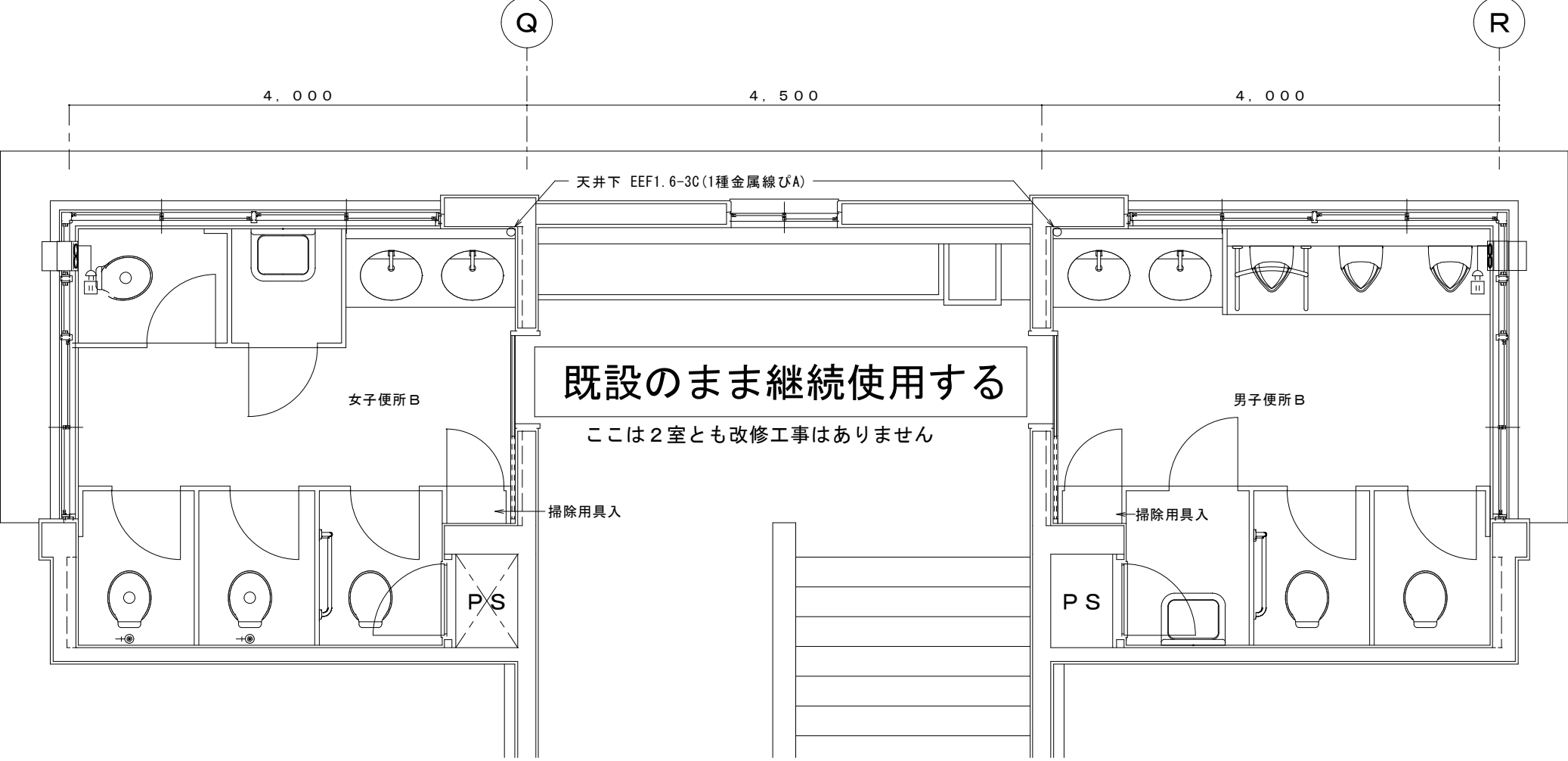
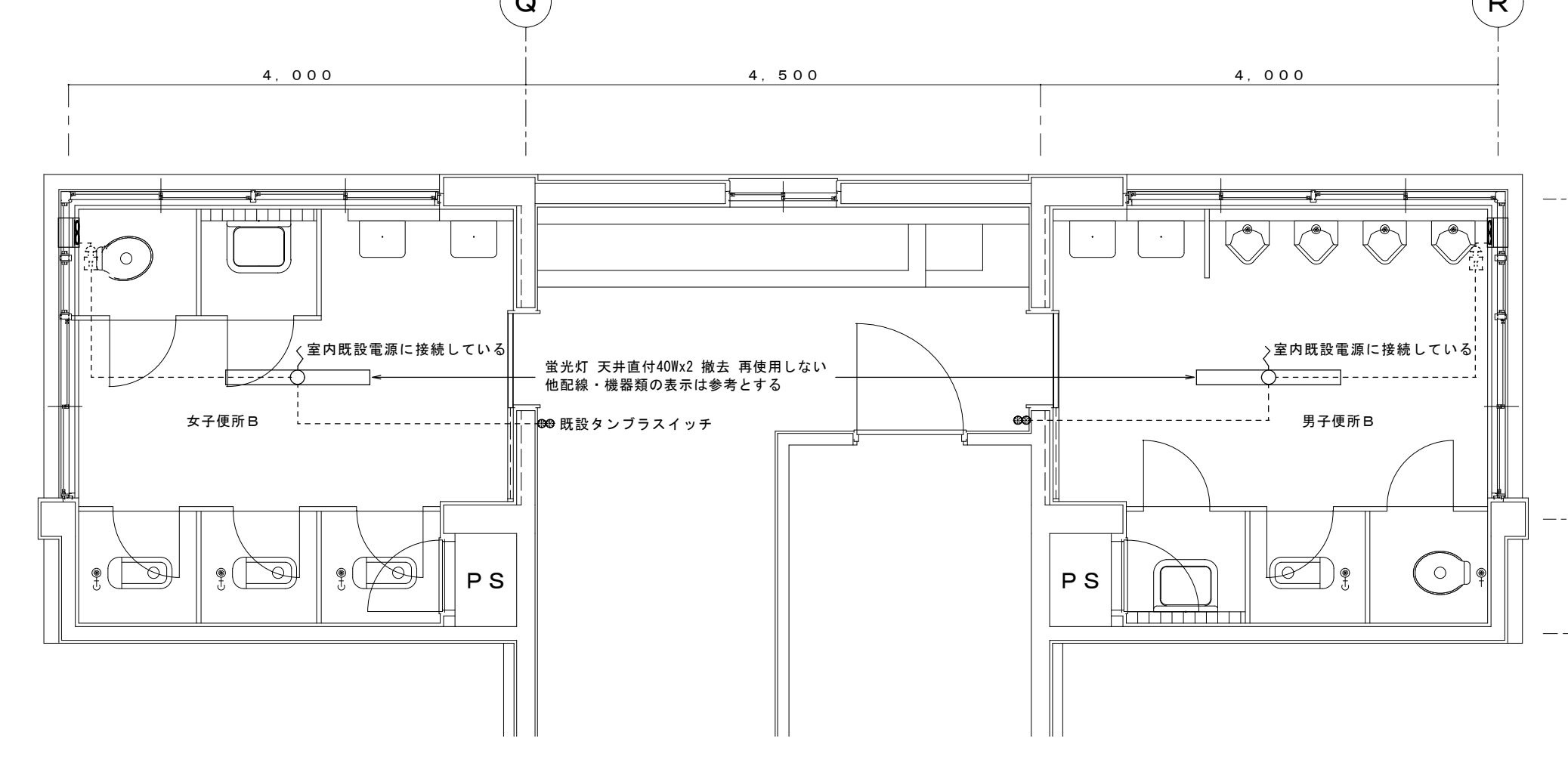
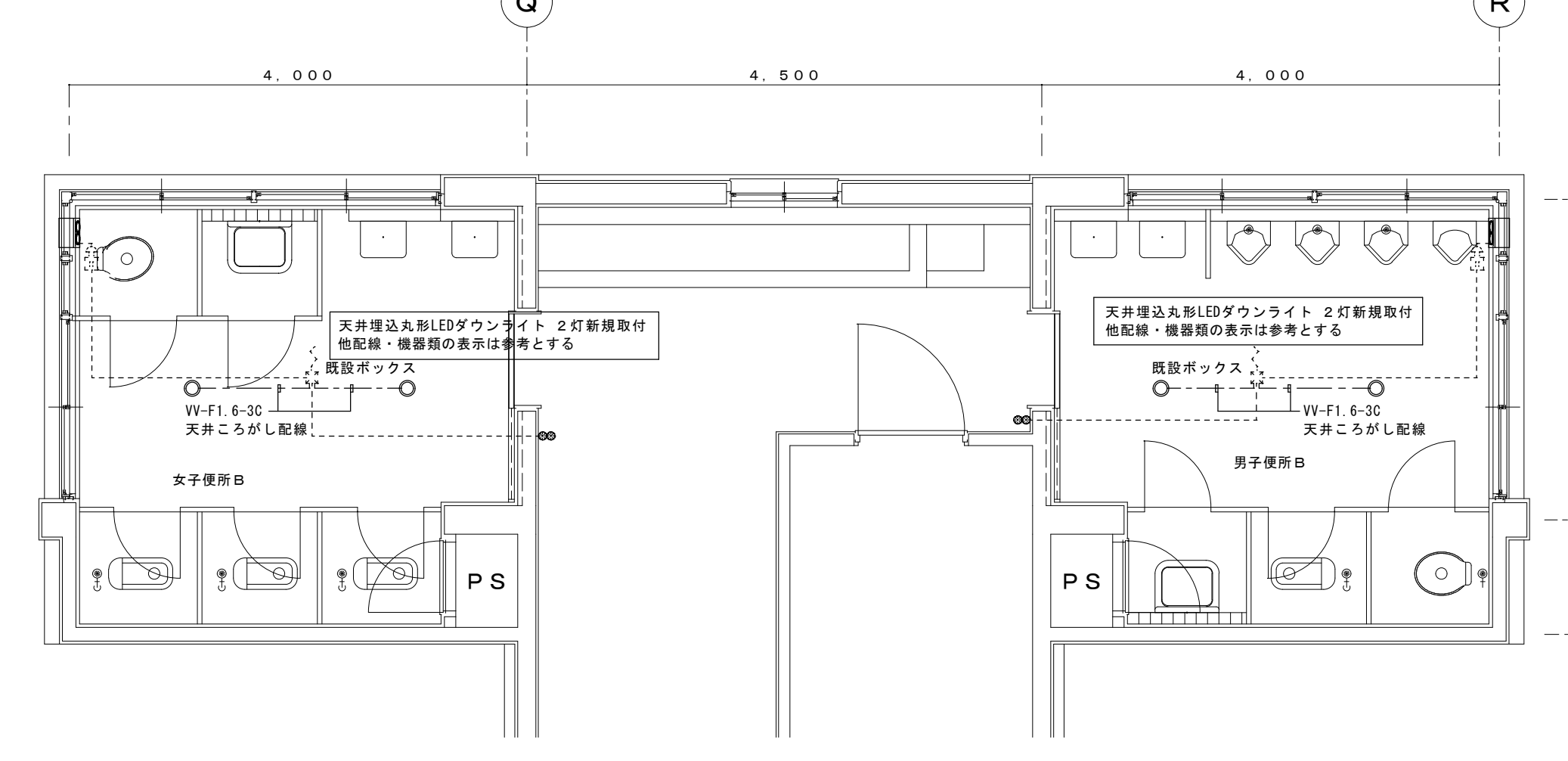
TITLE
校舎トイレ改修工事（東小）

ITEMS
電気設備工事 特記仕様書（2）

SCALE

NO.
E 02

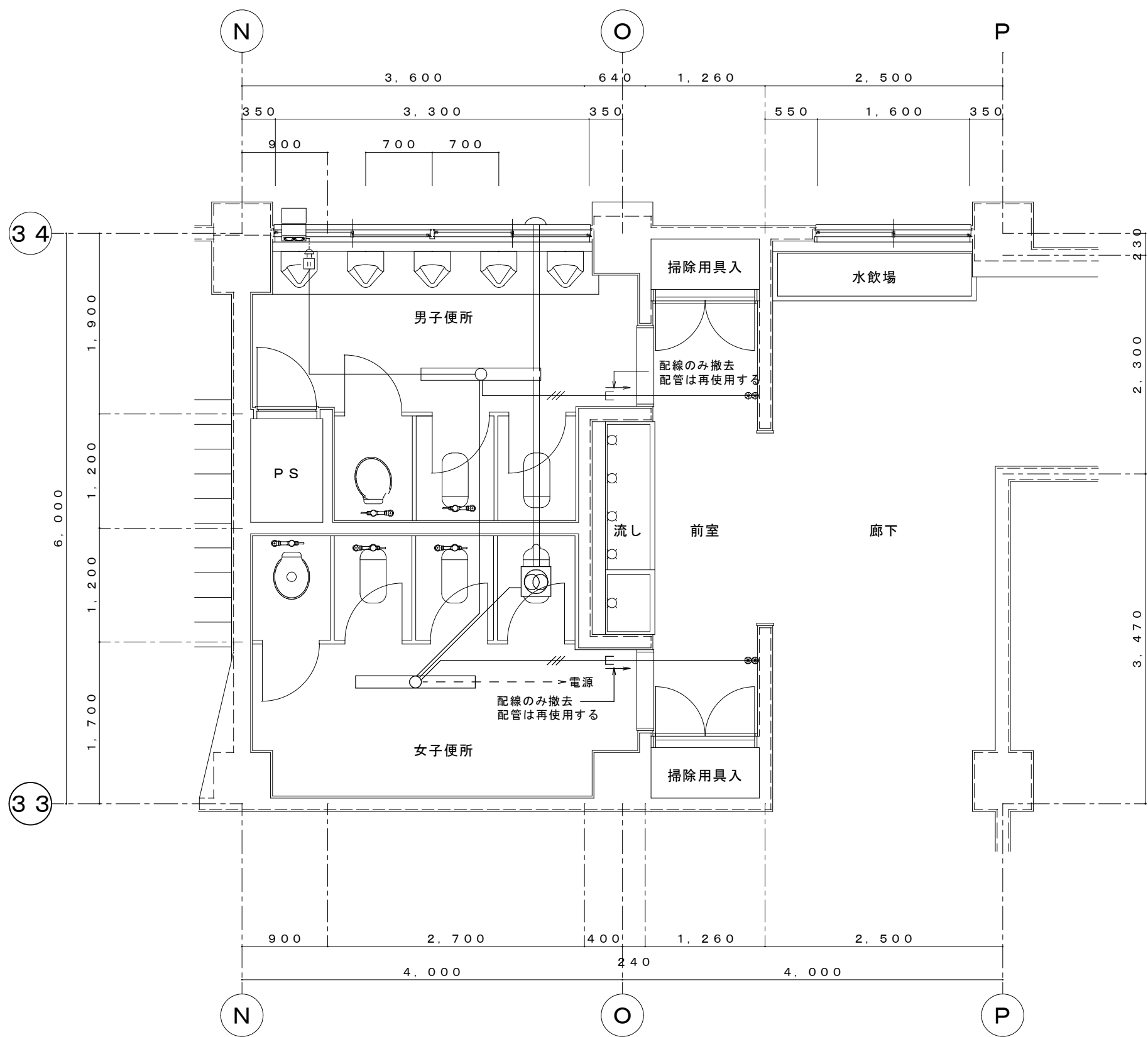
改修前		改修後	
既設撤去：下記撤去して 場外搬出し 産廃処分する 凡例：E-O 1 図 電気設備図凡例を参照して下さい		便所 A タイプ 1～3 階 建築工事 改修範囲：床・天井・壁を全面改修する 電気設備工事 改修範囲：照明器具・配線器具・配線・換気扇は既設を撤去し新品を取付け施工する 凡例：E-O 1 図 電気設備図凡例を参照して下さい	
			
			
			
NOTE		DATE	TITLE
株式 細 田 設 計 県知事登録 (8) 1718 号		May	トイレ改修工事 (東小)
1 級建築士 2 8 1 1 4 4 号 田 中 謙 也			電気設備工事 A 便所設備図
		ITEMS	SCALE
			(A3 1/100)
			1/50
		NO.	E — O 3

改修前		改修後	
便所Bタイプ 1～3階 建築工事 改修範囲：便所内既存天井撤去～天井貼り 電気設備工事 改修範囲：照明器具・配線器具・換気扇は取外し・撤去し 場外搬出し 産廃処分する 既設配線は撤去して 場外搬出し 産廃処分する 凡例：E-01図 電気設備図凡例を参照して下さい		便所Bタイプ 1～3階 建築工事 改修範囲：便所内既存天井撤去～天井貼り 電気設備工事 改修範囲：図中併記以外 配線 照明器具 配線器具は新品を施工する 凡例：E-01図 電気設備図凡例を参照して下さい	
			
3 階		3 階	
			
2 階		2 階	
			
1 階		1 階	
NOTE		DATE May	
株式会社 細田設計 1級建築士281144号 田中謙也		TITLE 校舎トイレ改修工事（東小）	
		ITEMS 電気設備工事 B便所設備図	
		SCALE (A3 1/100) 1/50	
		NO. E — 04	

改修前											
便所Cタイプ 2・3階 建築工事 改修範囲 天井貼り替え 電気設備工事 改修範囲：照明器具・配線器具・換気扇は取外して場外搬出し 産廃処分する 既設配線配管(天井内いんべい部分)は撤去して 場外搬出し 産廃処分する 凡例：E-01図 電気設備図凡例を参照して下さい 2 階 3 階											
改修後											
便所Cタイプ 2・3階 建築工事 改修範囲 天井貼り替え 電気設備工事 改修範囲：既設 配線配管・照明器具・配線器具・換気扇を撤去後新品を施工する 凡例：E-01図 電気設備図凡例を参照して下さい 2 階 3 階											
NOTE		株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号			DATE	TITLE		ITEMS		SCALE	NO.
		1級建築士281144号 田中謙也			May	校舎トイレ改修工事(東小)		電気設備工事 C便所設備図		(A3 1/100) 1/50	E — 05

改修前

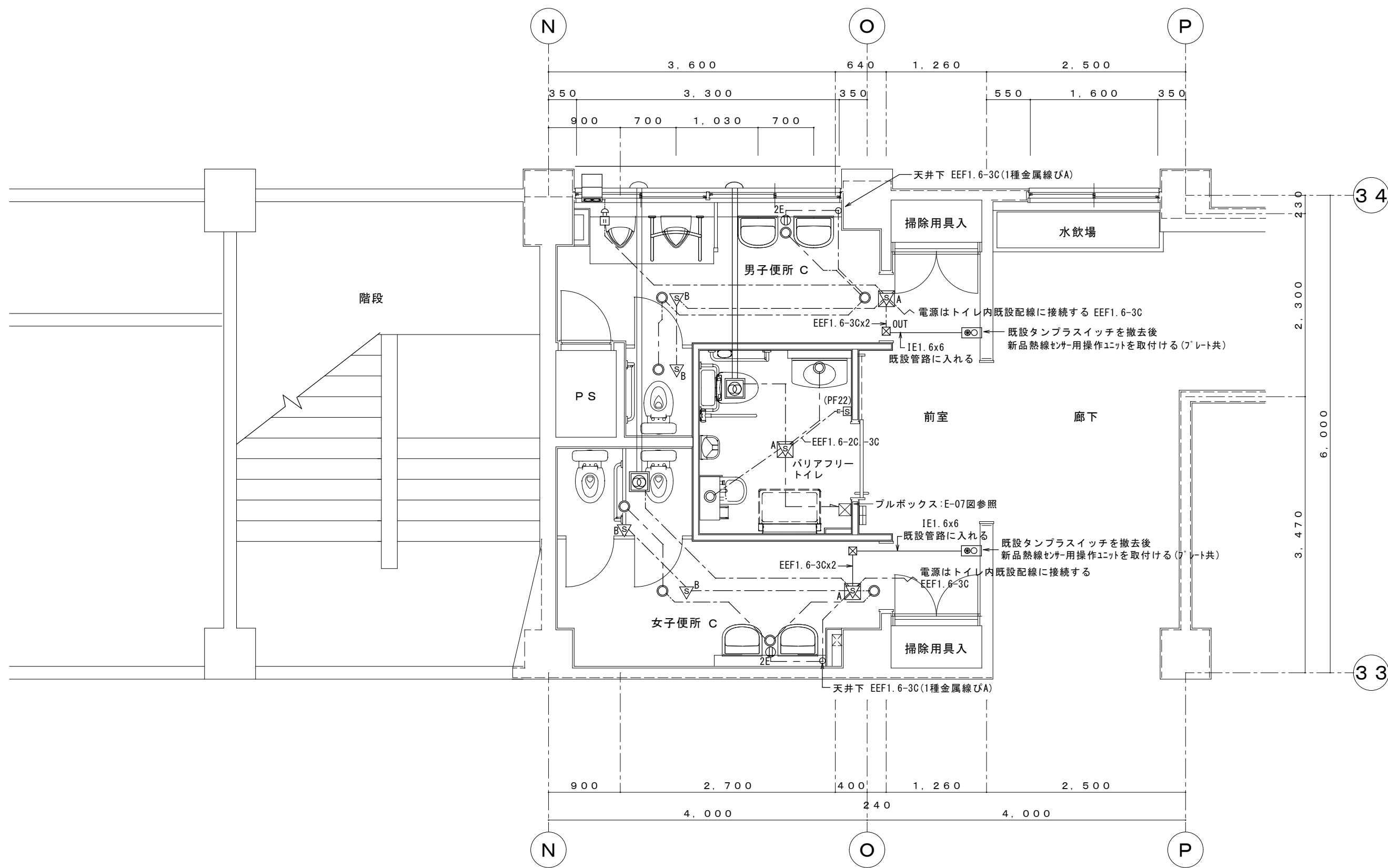
便所Cタイプ 1階
既設撤去：下記撤去して 場外搬出し 産廃処分する
凡例：E-01図 電気設備図凡例を参照して下さい



1階C便所平面図

改修後

便所Cタイプ 1階 建築工事 改修範囲：床・天井・壁を全面改修する
電気設備工事 改修範囲：照明器具・配線器具・配線・換気扇は既設を撤去後新品を取付け施工する
凡例：E-01図 電気設備図凡例を参照して下さい



1階C便所平面図

NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号	県知事登録(8)1718号 田中謙也			DATE	May	TITLE 校舎トイレ改修工事(東小)	ITEMS 1階C便所 電気設備図	SCALE (A3 1/100) 1/50	NO. E — 06

便所Cタイプ 1階
建築工事 改修範囲：便所内全面改修 バリアフリートイレ新設
電気設備工事 改修範囲： 箇中傍記以外 配線 照明器具 配線器具は新品を施工する
凡例： E-0 1 図 電気設備図凡例を参照して下さい

凡例： E-0 1 図 電気設備図凡例を参照して下さい

トイレ呼出し設備 凡例・仕様

メーカー型番は参考とする

記 号	名 称	適 用
≡≡	呼出し装置親機	W04302K
≡≡	呼出し装置子機	W04402K
⊗	呼出し押鈕	押鈕＋引き紐 WS6677Z
⊗	復旧押鈕	NBR-ZAC 746v

既存壁貫通
(PF16)
呼出し装置子機
直取付
職員室

校長室

保健室

昇降口

NOTE

株 式 細 田 設 計 県知事登録 (8) 1 7 1 8 号
会 社
1 級建築士 2 8 1 1 4 4 号 田 中 謙 也

DATE

May

TITLE

校舎トイレ改修工事 (東小)

ITEMS

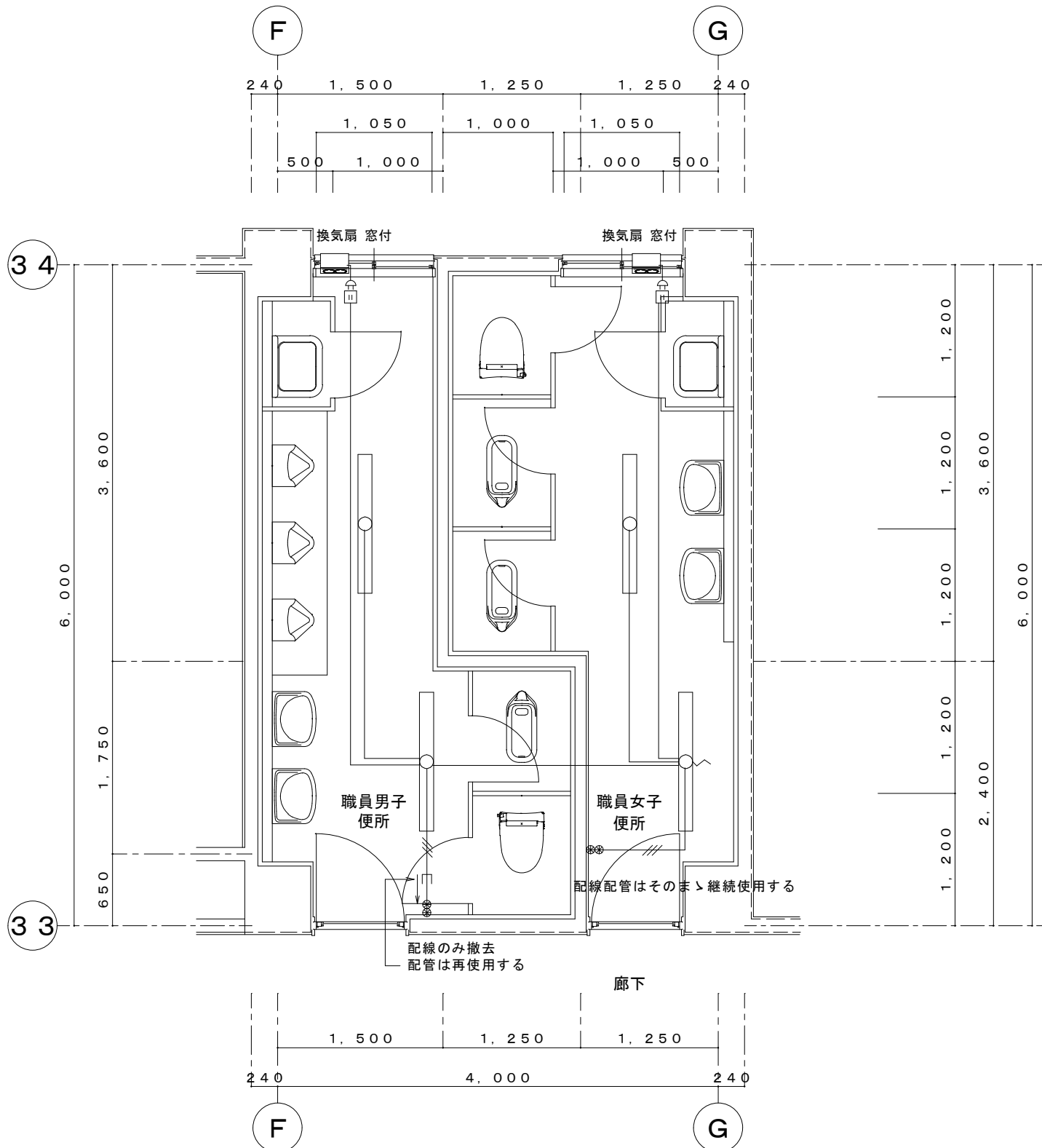
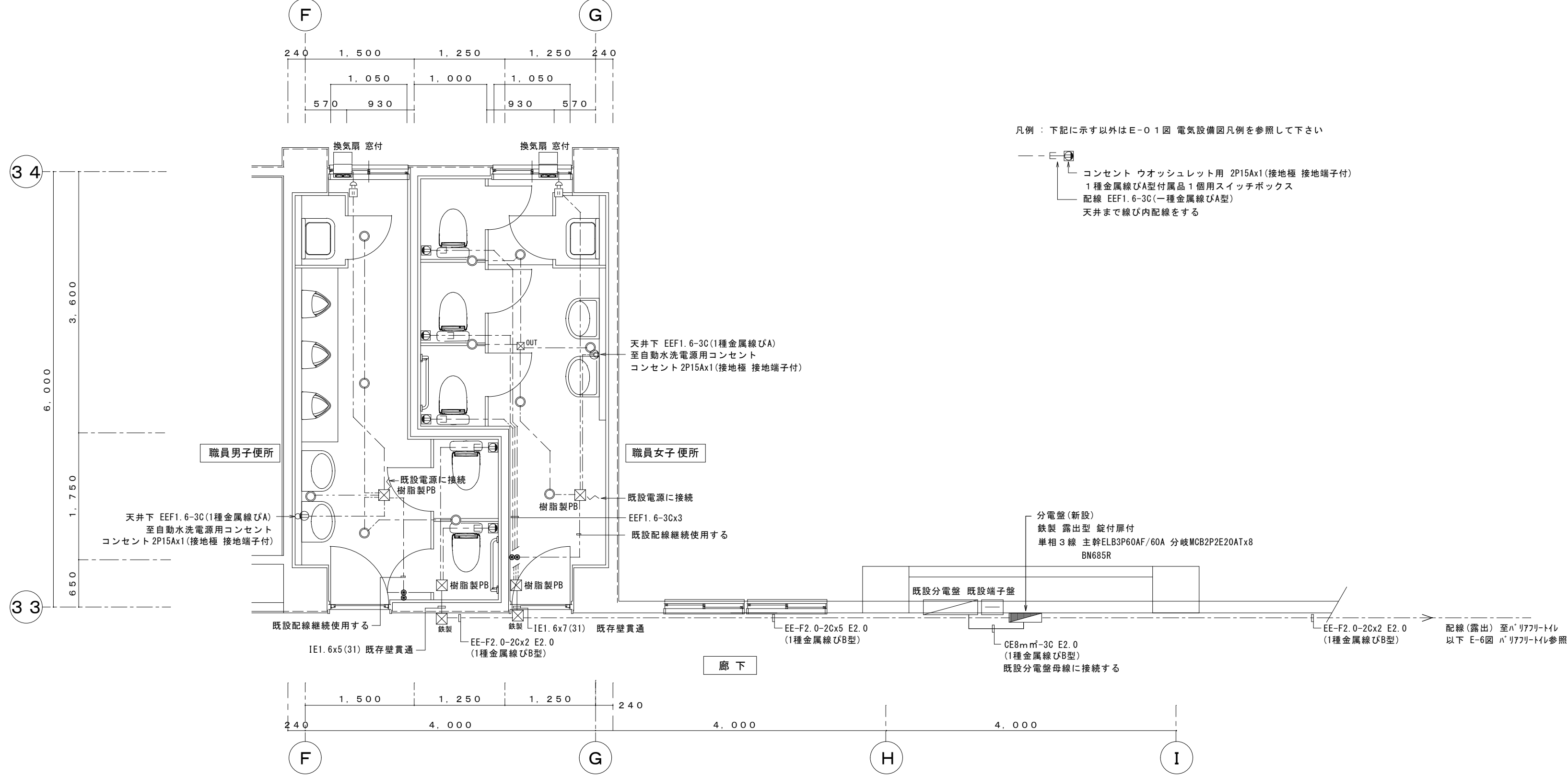
バリアフリートイレ
コンセント・呼出し設備図

SCALE

(A3 1 / 1 0 0)
1 / 5 0

NO.

E 0 7

改修前		改修前	
		職員便所（1階） 電気設備工事 既設改修範囲： 建築工事 改修範囲： 便所内既存天井撤去→天井貼り 壁：現状のまゝ 照明器具・配線器具・換気扇は取外し・撤去し 場外搬出し 産廃処分する 既設配線は撤去して 場外搬出し 産廃処分する 職員便所（1階） 電気設備工事 既設改修範囲： 建築工事 改修範囲： 便所内既存天井撤去→天井貼り 壁：現状のまゝ 照明器具・配線器具・換気扇は取外し・撤去し 場外搬出し 産廃処分する 既設配線は撤去して 場外搬出し 産廃処分する	
改修後		改修後	
		凡例：下記に示す以外はE-01図 電気設備図凡例を参照して下さい コンセント ウォッシュレット用 2P15Ax1(接地極 接地端子付) 1種金属線ひA型付属品1個用スイッチボックス 配線 EEF1.6-30(1種金属線ひA型) 天井まで結び内配線をする 天井下 EEF1.6-30(1種金属線ひA) 至自動水洗電源用コンセント コンセント 2P15Ax1(接地極 接地端子付) 職員男子便所 職員女子便所 天井下 EEF1.6-30(1種金属線ひA) 至自動水洗電源用コンセント コンセント 2P15Ax1(接地極 接地端子付) 既設電源に接続 樹脂製PB 樹脂製PB 既設電源に接続 樹脂製PB 樹脂製PB 既設電源に接続 樹脂製PB 既設配線に接続 樹脂製PB <	

○ 空 気 調 和 設 備	○ 空 気 調 和 設 備	(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機駆動機の制御方式 ・ 回転数制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の耐熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	● 擬音装置 ● そ の 他	※女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(・ 本工事 ・ 別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	● 洗面器等の排水管 ● 満水試験継手 4 樹の適用	洗面器等に直結する排水水栓は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット ※差込ソケット 別紙表による。																																			
		(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。																																									
		1 設計温湿度	<table><tr><th colspan="2">外 気</th><th colspan="4">屋 内</th></tr><tr><th></th><th></th><th colspan="2">一 般 系 統</th><th colspan="2"></th></tr><tr><th></th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏 期</td><td>36. 9℃</td><td>46. 1%</td><td>28 ℃</td><td>5 0 %</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>0. 6℃</td><td>50. 7%</td><td>2 0 ℃</td><td>4 0 %</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table> ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度5 0 %とする。	外 気		屋 内						一 般 系 統					温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36. 9℃	46. 1%	28 ℃	5 0 %	℃	%	冬 期	0. 6℃	50. 7%	2 0 ℃	4 0 %	℃	%							
		外 気		屋 内																																							
				一 般 系 統																																							
			温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																			
		夏 期	36. 9℃	46. 1%	28 ℃	5 0 %	℃	%																																			
		冬 期	0. 6℃	50. 7%	2 0 ℃	4 0 %	℃	%																																			
		2 総合試運転調整	・本工事 ・ 別途 風量調整 水量調整 騒音の測定 室内外空気の温湿度の測定 室内気流及びじんあいの測定 初期運転状態の記録 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録	・する ・しない ・する ・しない ・する ・しない ・する ・しない ・する ・しない																																							
		3 煙 道	(1) 鉄板厚 (・3、2mm ・4、5mm) (2) はい煙湿度計 ・設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ・設ける (測定口は8 0φとする) ・設けない																																								
4 煙 突	・別途 ・本工事																																										
5 長方形ダクト	・低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1 5 0 0 mm以下 ・ 共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ・ B区分)																																										
6 円形ダクト	・スパイラルダクト (・亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・換気用耐火二層管 (大匠認定品) ・フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。	・硬質塩化ビニル管 (V U) ・フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無)																																									
7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト																																										
8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・3 0 0 ×3 0 0 ・3 0 0 ×5 0 0 ※4 0 0 ×6 0 0 ・5 5 0 ×7 5 0 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。																																										
○ 給 水 設 備	○ 給 水 設 備	9 吹出口及び吸込口ボックス	・亜鉛鉄板製 ・グラスウール製																																								
		10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (・遠隔 ・) 定格入力DC2 4 V、0. 7 A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (・遠隔 ・)																																								
		11 配管材料	(1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ・ 配管用炭素鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ・ 断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※2 0 以上 ・1 0 以上 液管 ・2 0 以上 ・1 0 以上) ただし、液管の呼び径が9. 5 2 mm以下の断熱厚さは、8 mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P ドレン管 (屋内) ・保温機能付空調ドレン管 (エスロンACT レンパ イフ 相当品) ・耐火二層管 V P (F D P S - 1) ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調ドレン管は、水圧1 mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ・ 配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼管 (黒) ・ 還 管 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch 4 0 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・																																								
		12 弁 類	規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。																																								
		13 温 度 計	取付部は下記による。 ・熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ・ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ・冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・																																								
		14 圧 力 計	取付部は下記による。 ・熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ・空気調和機の冷温水管 (出入口共) ・冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・																																								
		15 瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1 個 ・ 個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。																																								
		16 油面制御装置	・往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (・固定形 ・ 着脱形) を設ける。 制御部には (・給油ポンプ制御 ・満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。																																								
		17 冷却塔	・直交流式 ・向流型 ・レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。																																								
		NOTE		株式会社	細 田 設 計	県知事登録 (8) 1 7 1 8 号		DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.																															
			1 級建築士2 8 1 1 4 4 号	田 中 謙 也		JOB	校舎トイレ改修工事 (東小)	機械設備工事 特記仕様書 (2)		M — 0 2																																	

環境配慮
(グリーン)

改修工事

1 アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項

1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修様式」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

2 アスベスト含有分析
調査

分析によるアスベスト含有建材の調査

・ 行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481 規格群（1481～1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3 アスベスト粉じん
濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定

・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所	※ 図示				
適 用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考
レベ`ルレベ`ル3					
○	○	測定1	処理作業室内	※各2点 ・ 各3点	
○	○	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
		測定3	処理作業室内	各2点	
○		測定4	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
○		測定5	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
○		測定6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	○	測定7	処理作業室内 (隔離シート撤去前)	各2点 (レベ`ル3は1点)	
○	○	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
		測定9	処理作業室内 (シート撤去後1週間以降)	各2点 (レベ`ル3は1点)	
		測定10	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6、2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 測定0 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡	
メンブ`レンフィルタの直径	25 mm	47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min 10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min 240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法	
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野	
計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質	
定量限界	50 f/l	0.5 f/l 0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア 測定結果

イ 測定時間

ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）

エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ マウンティング方法

カ 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

ク 周辺地形や作業時の状況を撮影した写真

4 アスベ`スト含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹き付け材の除去

・ 行う 除去方法は9. 1. 3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示

5 アスベ`スト含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去

・ 行う

作業上の隔離

・ 行う

・ 行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示

6 アスベ`スト含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去

・ 行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示

2 非石綿部での切断による除去

・ 行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ・撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ・撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ・撤去範囲すべて
		※ 図示 ・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

(1) 設計図書による調査
① 施工年による調査
② 使用建築材料による調査

可能性あり・不明

(2) 現場目視による調査
目視調査（建材の確認）

可能性あり・不明

分析を実施しない場合

石綿含有とみなす

石綿使用あり・届出要件確認・届出

可能性なし

可能性なし

分析を実施する場合

(3) 分析調査による判定
JIS A 1481-2「建設品中のアスベスト含有率測定方法」など

石綿含有0. 1%を超えていると判断

石綿含有0. 1%以下と判断

石綿使用なし

＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2）

成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。

＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

工事計画・要領書の作成・届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示

外部から見やすい位置に掲示する。

事前清掃

周辺の養生

床養生以外に開口部もシート等で養生する。

粉じん飛散抑制剤の散布・浸透

取り残しあり

原形のまま取り外し

破壊した場合は、高性能真空掃除機で清掃する。

取り残しがないことの確認

除去面に粉じん飛散防止処理剤散布

養生材の清掃または粉じん飛散抑制剤散布

養生の撤去

最終清掃

作業記録

作業に適用した呼吸用保護具・専用の作業衣着用

所管行政庁の指導により、特別管理産業廃棄物として最終処分

2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）

建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

作業計画の作成・作業の届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示
(所管行政庁の指導がある場合)

事前清掃

石綿含有部分以外の部分で切断

参考図のとおり切断する。

プラスチックシートまたは袋で二重梱包

最終清掃

作業記録

切断部分の収集・運搬

最終処分

作業に適用した呼吸用保護具・専用の作業衣着用

参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法

石綿含有パ`ッキング

ジョイントボ`ス

切断

鉄締め

ダ`クトダクト鉄板

切断

参考図2 配管フランジパッキンの除去方法

石綿含有パ`ッキング

切断

ガス管

切断

3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）

直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

工事計画・要領書の作成・届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示

外部から見やすい位置に掲示する。

事前清掃

周辺の養生

開口部等をシート等で養生する。

配管エルボ部をポリシートまたは養生テープで養生
配管エルボ部を運らしたウエス等で湿潤化

石綿含有部分以外の部分で切断

参考図のとおり切断する。

袋液で安定化し、プラスチックシートまたは袋で二重梱包

最終清掃

作業記録

切断部分の収集・運搬

最終処分
※廃棄する場合、特別管理産業廃棄物として管理責任者を選任し適正に処理すること。

作業に適用した呼吸用保護具・専用の作業衣着用

参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法

養生テープ

石綿含有保温材

ポリシート

養生テープ

切断

NOTE

株式会社 細田設計

県知事登録（B）1718号

1級建築士281144号

田中 謙也

DATE
JOB

TITLE
トイレ改修工事（東小）

ITEMS
機械設備工事 特記仕様書（3）

SCALE

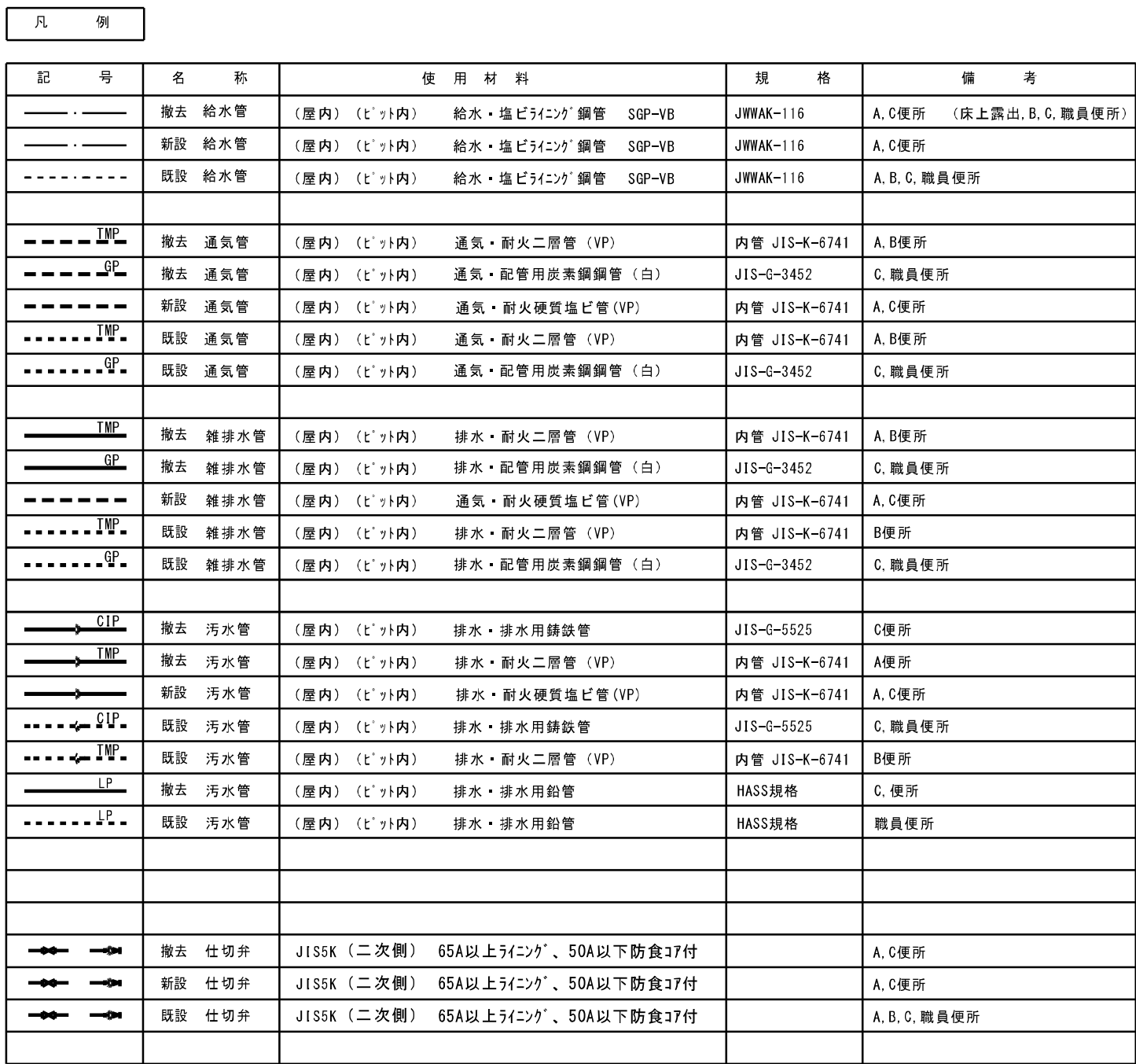
NO.
M 03

2023. 4

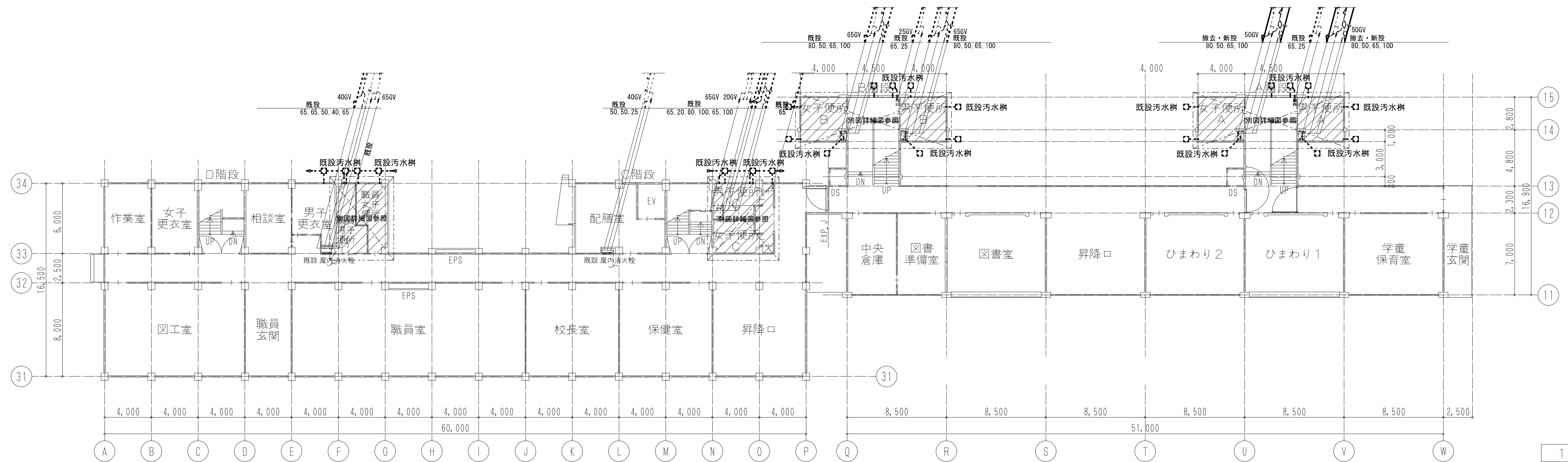
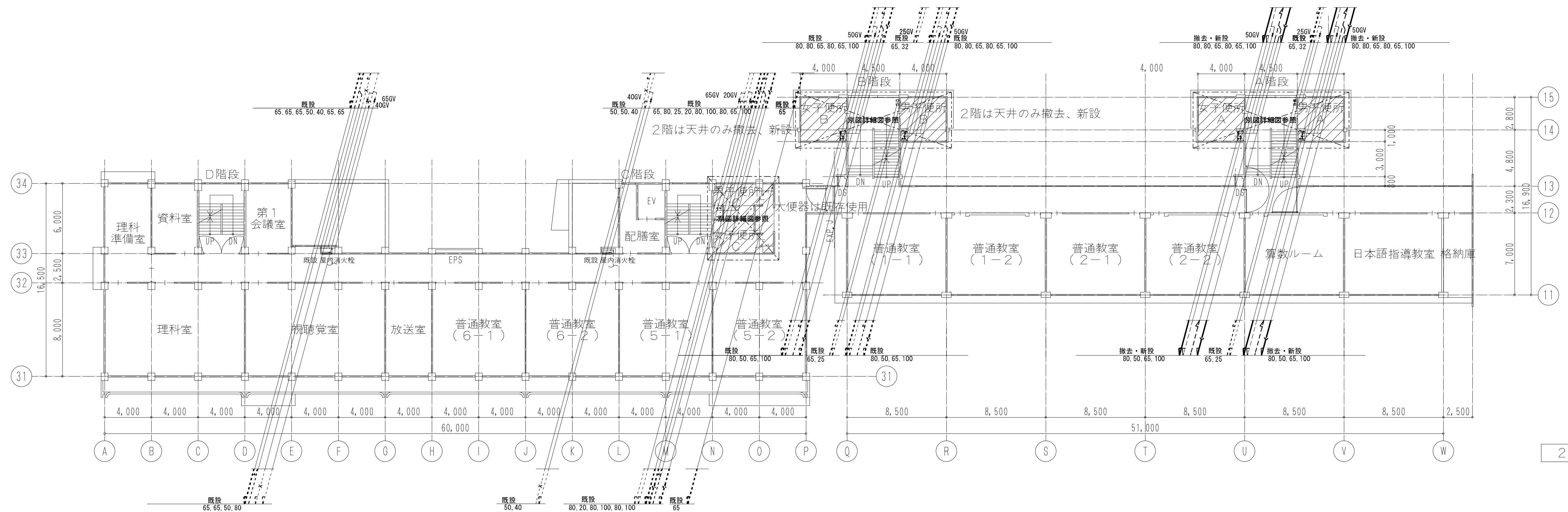
[illegible]

給排水衛生設備 撤去 器具表														
	器 具 名 (メーカー品番)		付 属 品		数 量								備 考	
					撤去計 台	1期計 台	1期計 個	2期計 台	2期計 台	3期計 台	3期計 台	計		
A 便 所	和風大便器	C750	F V 紙巻器	他一式	3	1		3	1	3	2	13		
				他一式				3	1	3	2	9		
	和風大便器用前付カバー			他一式				3	1	3	2	9		
	洋風大便器	C21	F V 紙巻器	他一式		1		1		1		3	汚すトイレのためジェット便	
	洋風大便器	C-21 S570	ロータンク 紙巻器	他一式	1				1			2		
	小便器	LB07	F V	他一式		3			3		3	9		
	洗面器	L230S	単水栓 排水トラップ	他一式	2	2		2	2	2	2	12		
	化粧鏡	TS119AS3	363×455	他一式	1	1		1	1	1	1	6		
	掃除用流し	SQ22A	機水栓 止水栓 排水トラップ	他一式	1	1		1	1	1	1	6		
B 便 所	和風大便器	C750	F V 紙巻器	他一式	3	1				3	1	8		
	洋風大便器	C-21	F V 紙巻器	他一式	1	1				1	1	4		
	小便器	LB07	F V	他一式		4					4	8		
	洗面器	L230S	単水栓 排水トラップ	他一式	2	2				2	2	8		
	化粧鏡	TS119AS3	363×455	他一式	1	1				1	1	4		
	掃除用流し	SQ22A	機水栓 止水栓 排水トラップ	他一式	1	1				1	1	4		
C 便 所	和風大便器	C375VF	F V 紙巻器	他一式	3	2						5		
	洋風大便器	C-S140	F V 紙巻器	他一式	1	1	4	3				9		
	小便器	LB07	F V	他一式		5		5		5		15		
	万能ホーム水栓 (手洗用)	T200SNR13		他一式			5					5		
	化粧鏡	TS119AS3	363×455	他一式			4					4		
	職員用便所	和風大便器	C375VF	F V 紙巻器	他一式	2	1						3	
		洋風大便器	C-14	ジェット便 F V 紙巻器	他一式	1	1						2	
小便器		LB07	F V	他一式		3						9		
洗面器		L230?	単水栓 排水トラップ	他一式	2	2						4		
化粧鏡		S3		他一式	2	2						4		
化粧鏡		TS119AS3	363×455	他一式	2	2						4		
掃除用流し		SQ22A	機水栓 止水栓 排水トラップ	他一式	1	1						2		

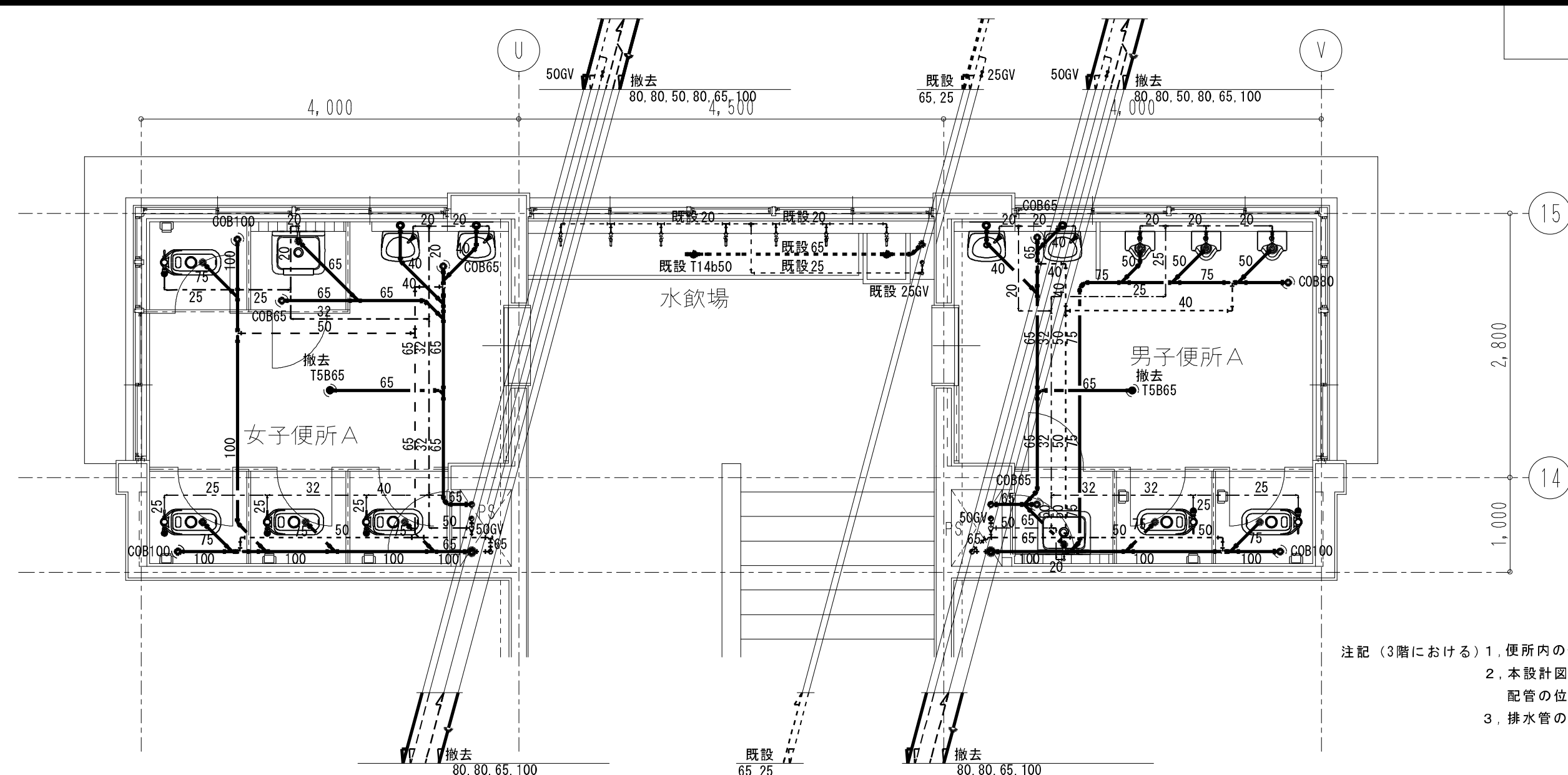
	T I T L E	I T E M S	S C A L E	N O.
	校舎トイレ改修工事（東小）	機械設備工事 器具表（改修前・改修後）	N O S C A L E	M — O 4



株 式 会 社	細 田 設 計	県知事登録(8)1718号	1 級建築士281144号	田 中 謙 也
------------	---------	---------------	---------------	---------

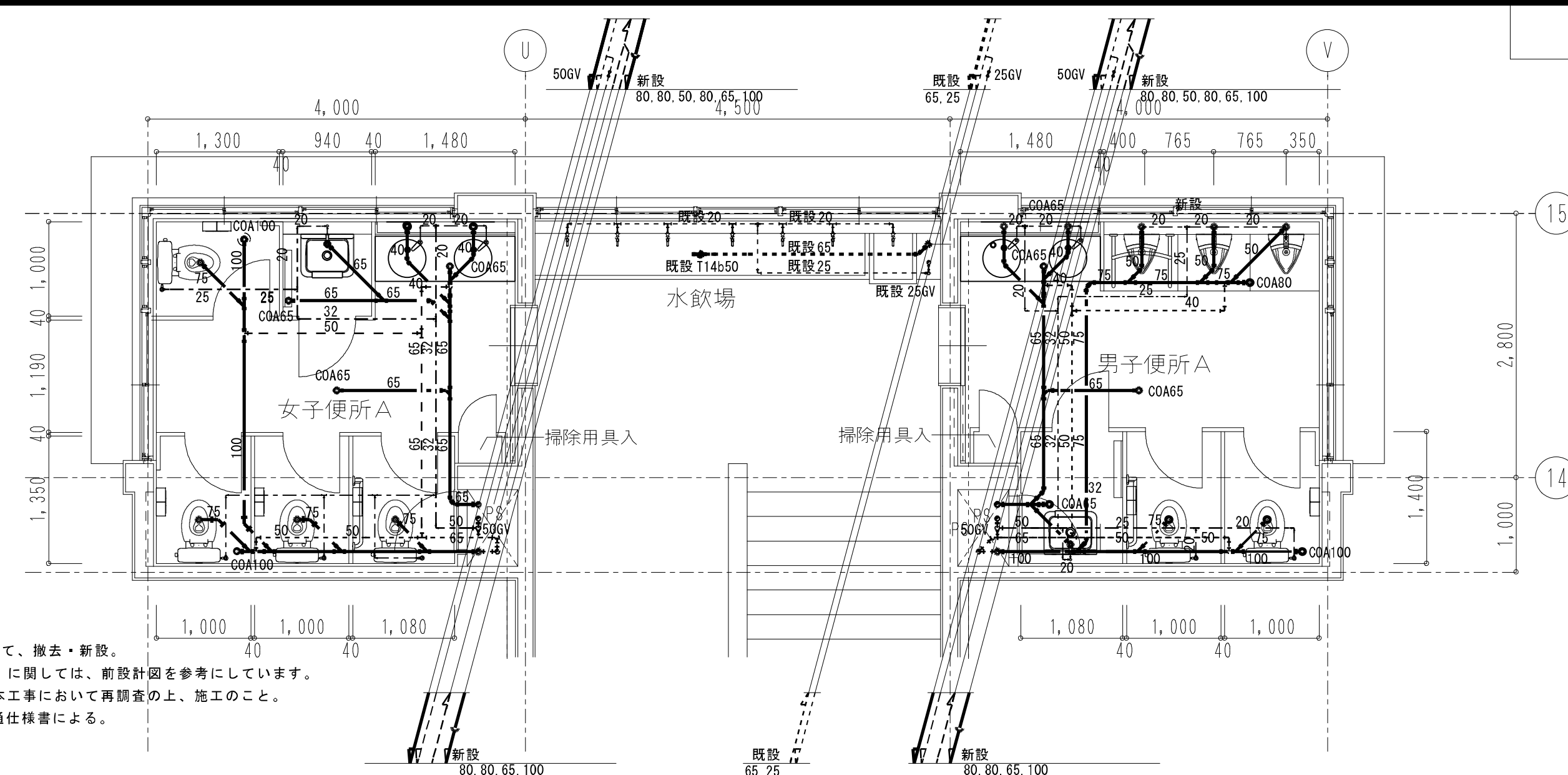


NOTE	株式会社 細田設計 県知事登録(登録)1718号 1級建築士281144号 田中謙也			DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	校舎トイレ改修工事（東小）	機械設備工事 1・2階平面図	(A31/400) 1/200	M — 06

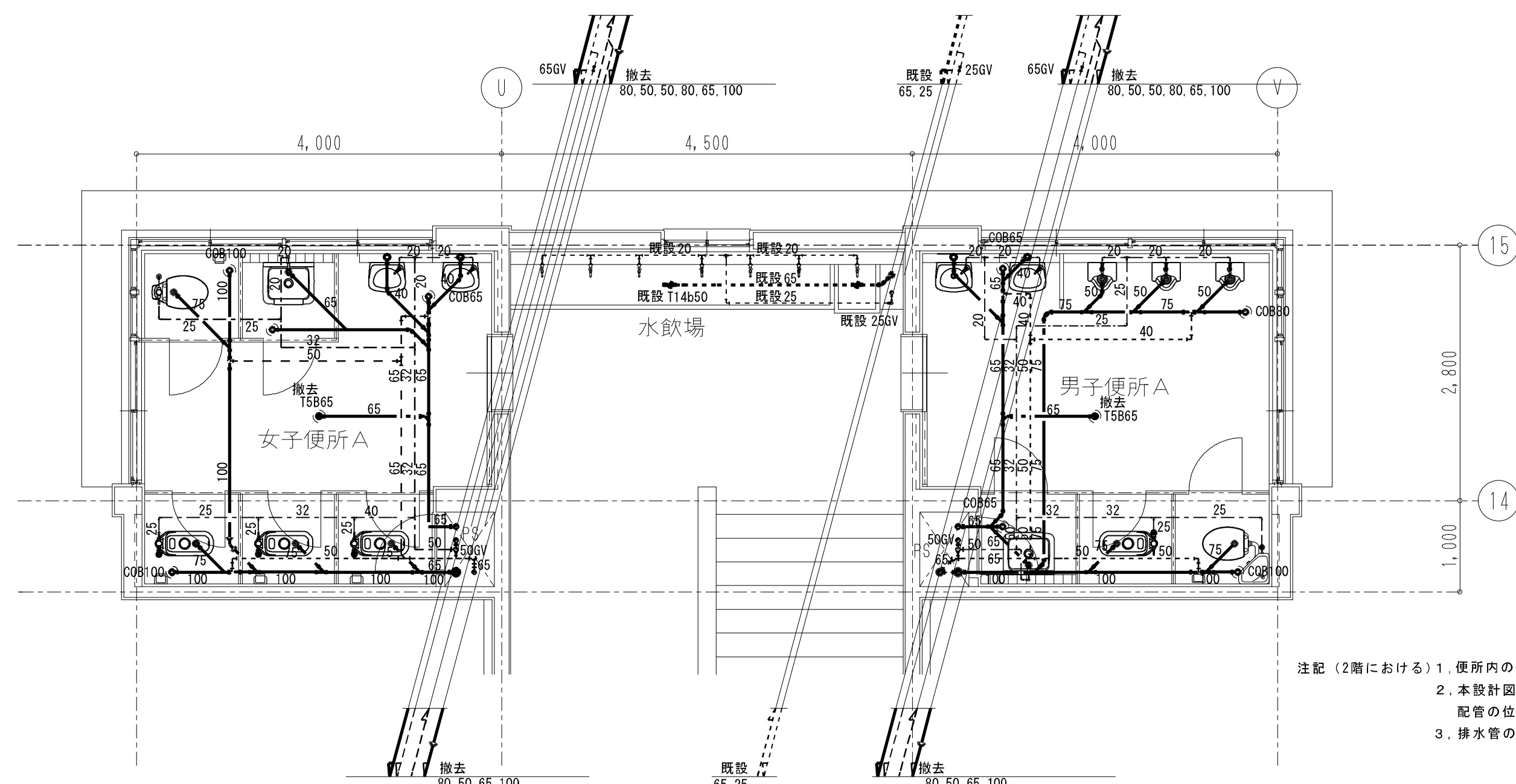


注記 (3階における) 1. 便所内の給排水衛生設備 (衛生器具・配管等) は全て、撤去・新設。
2. 本設計図において、給水管・排水管 (通気管含む) に関しては、前設計図を参考にしています。
配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。
3. 排水管の伸縮継手設置基準は公共住宅建築工事共通仕様書による。

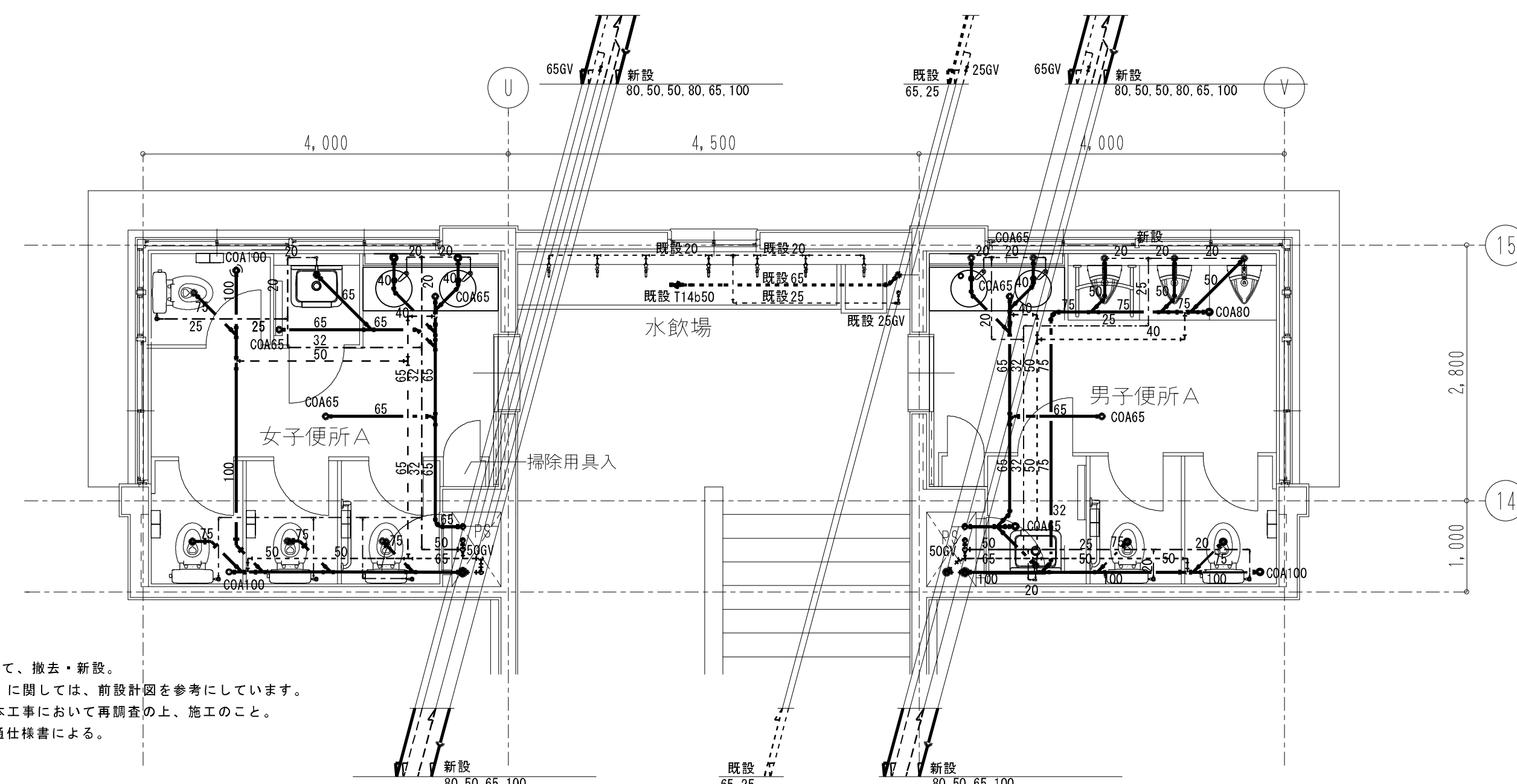
3階



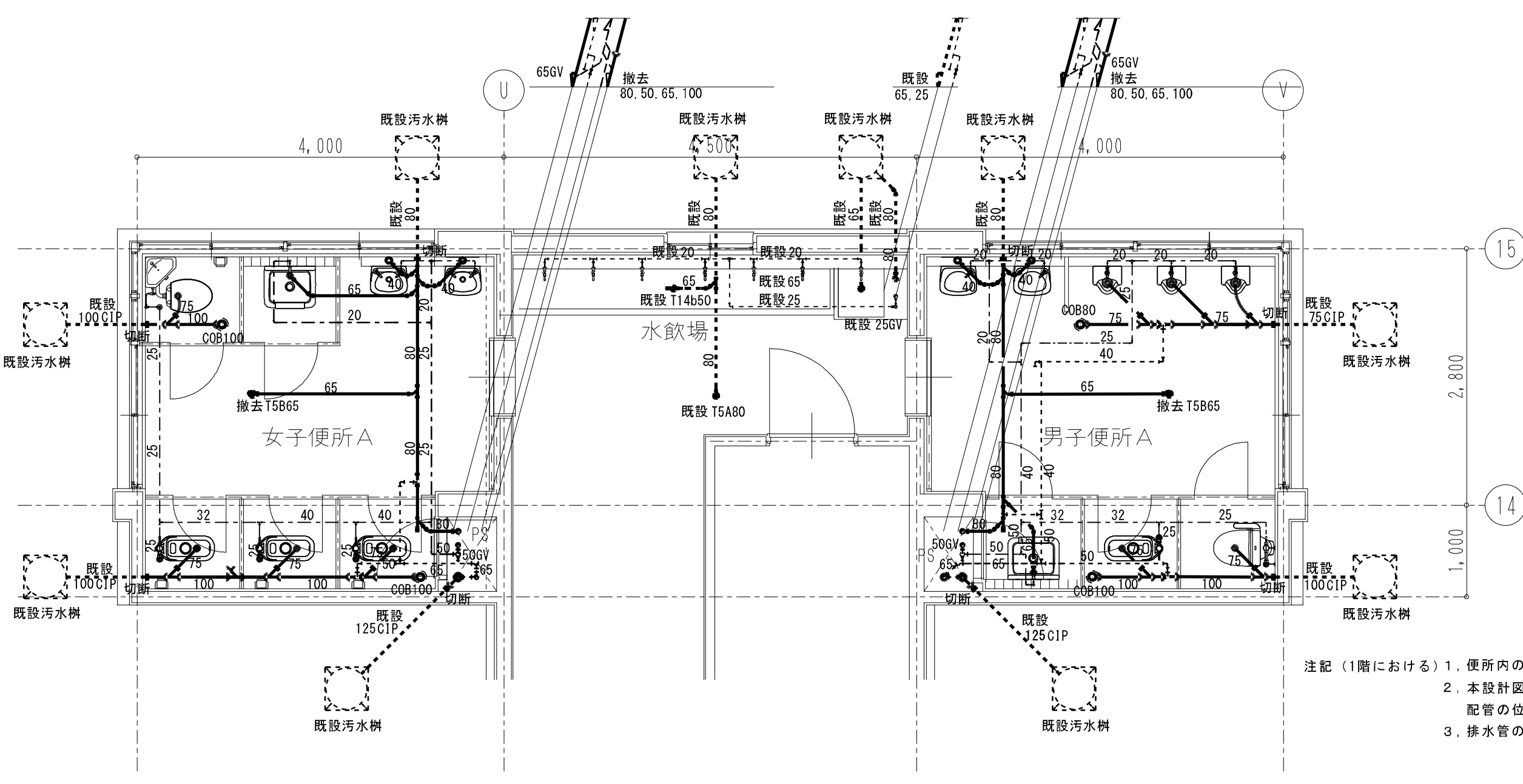
3階



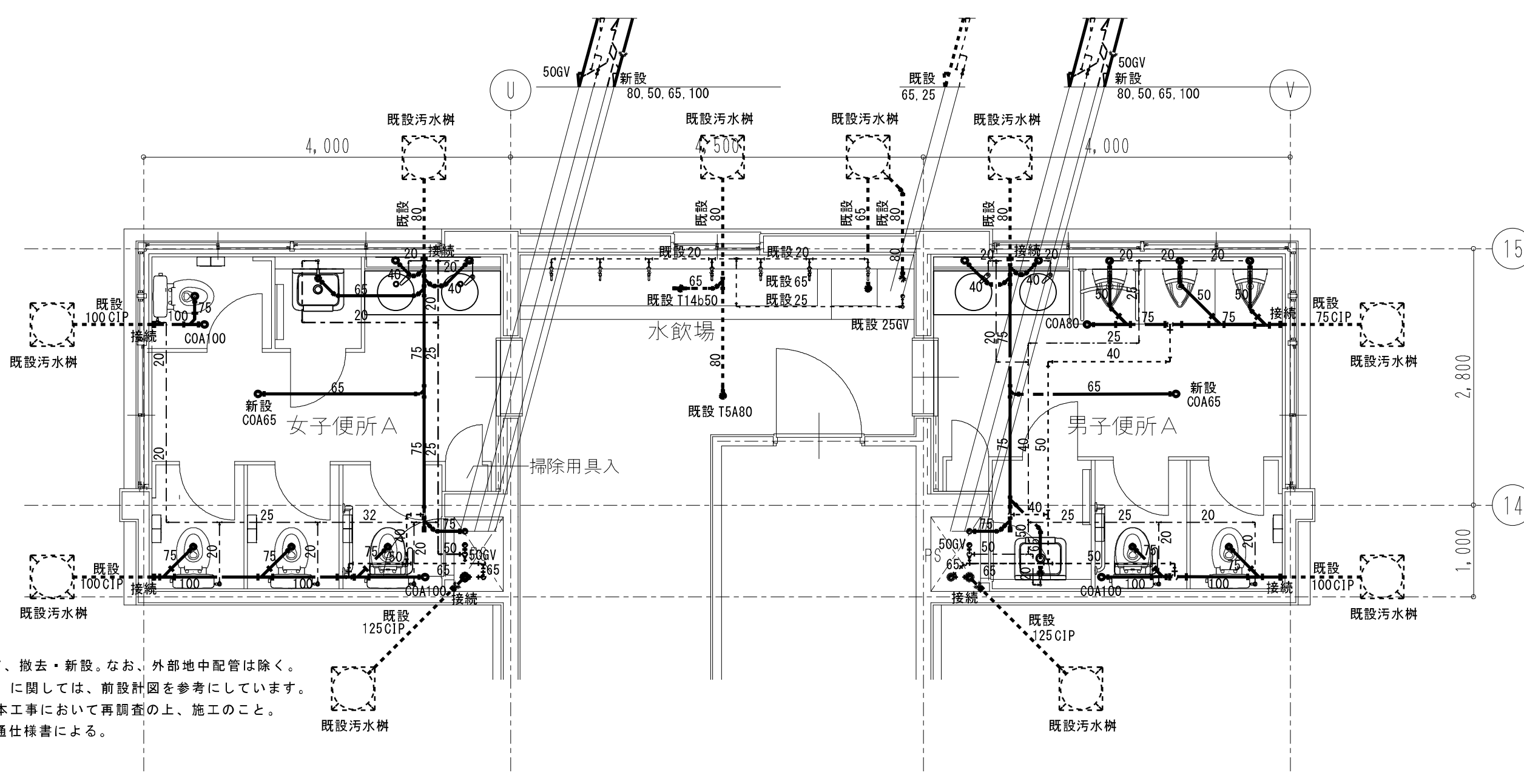
2階



2階

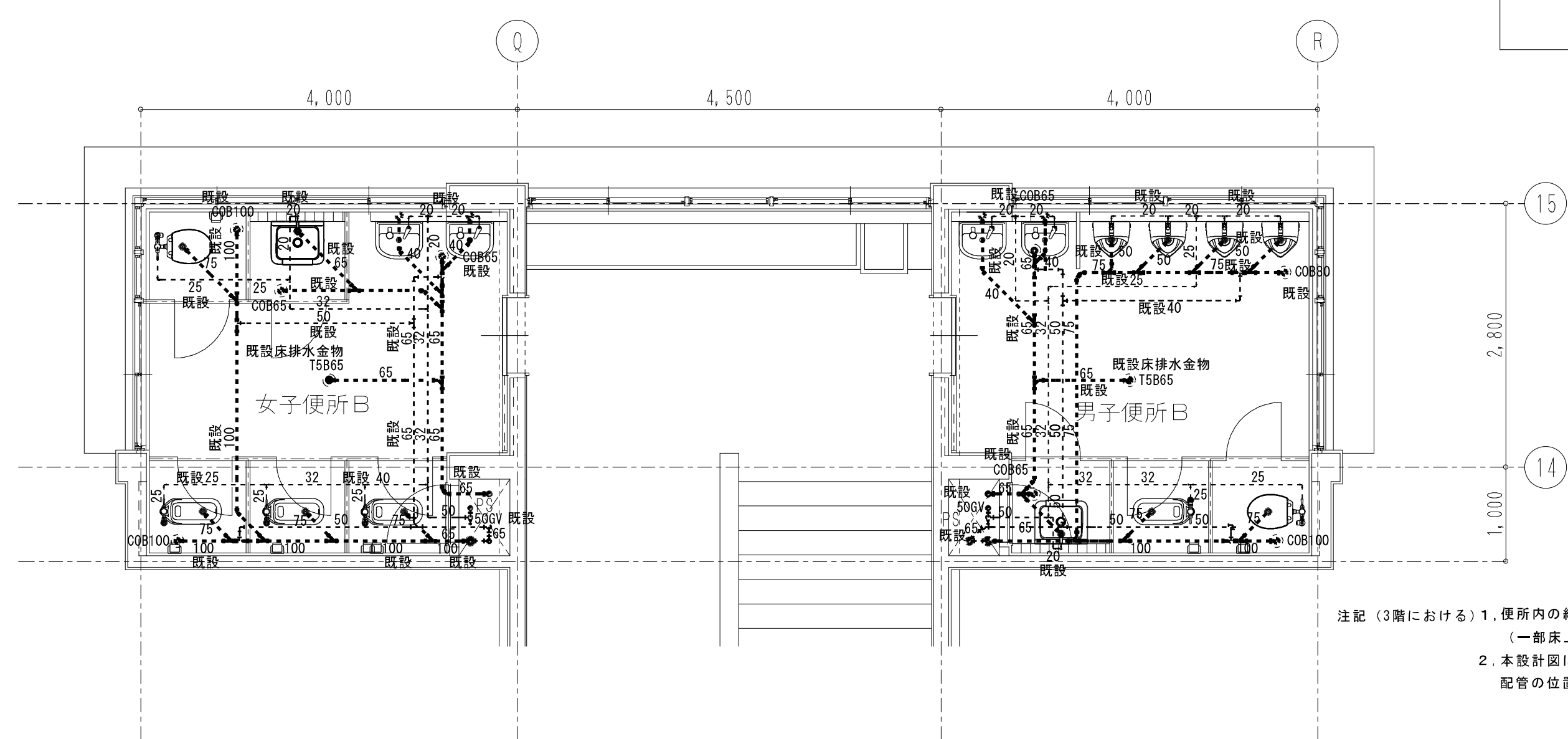


1階



1 階

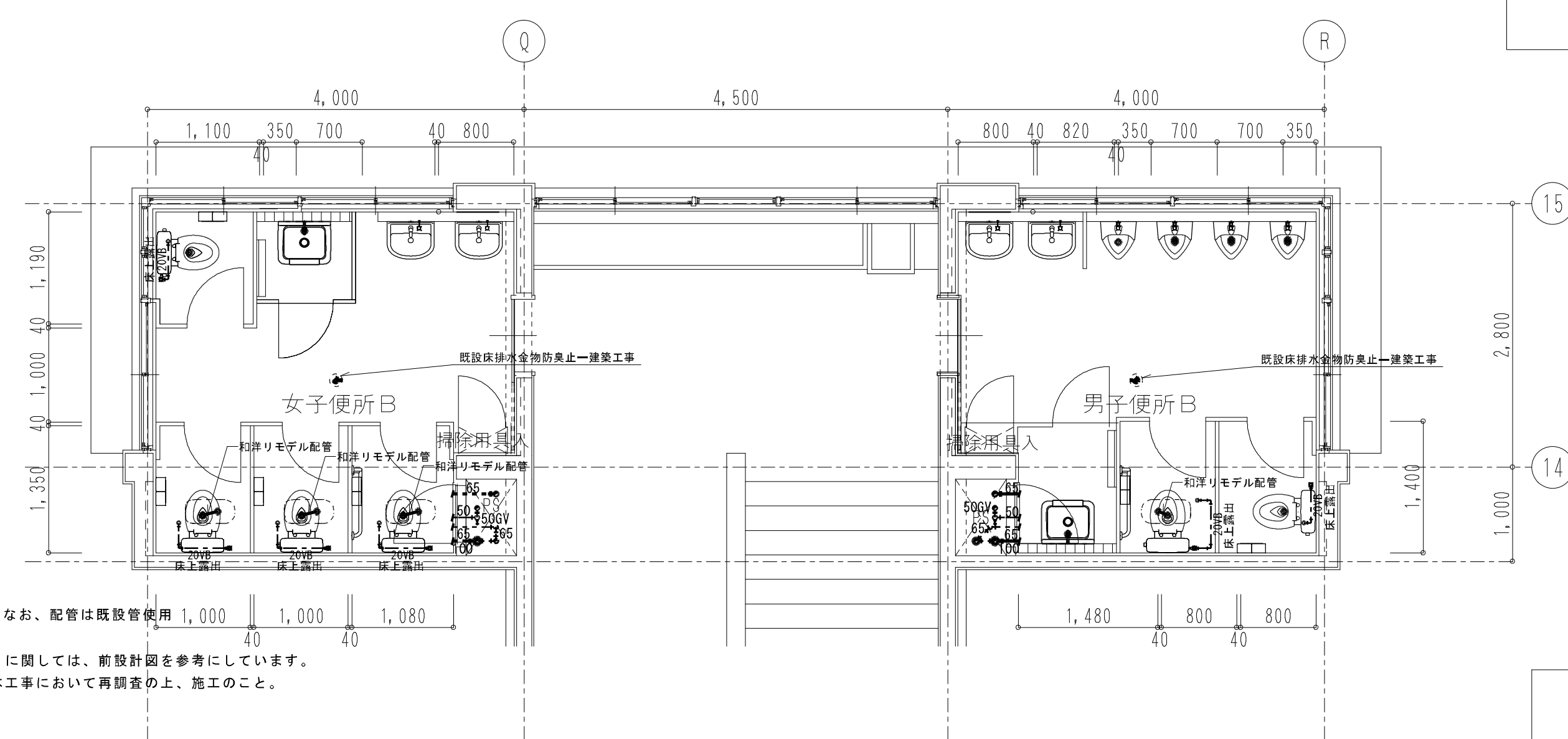
NOTE	株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号 〒1級建築士281144号 田中謙也			DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	校舎トイレ改修工事（東小）	機械設備工事 A 便所平面詳細図	(A3 1/100) 1/50	M — 08



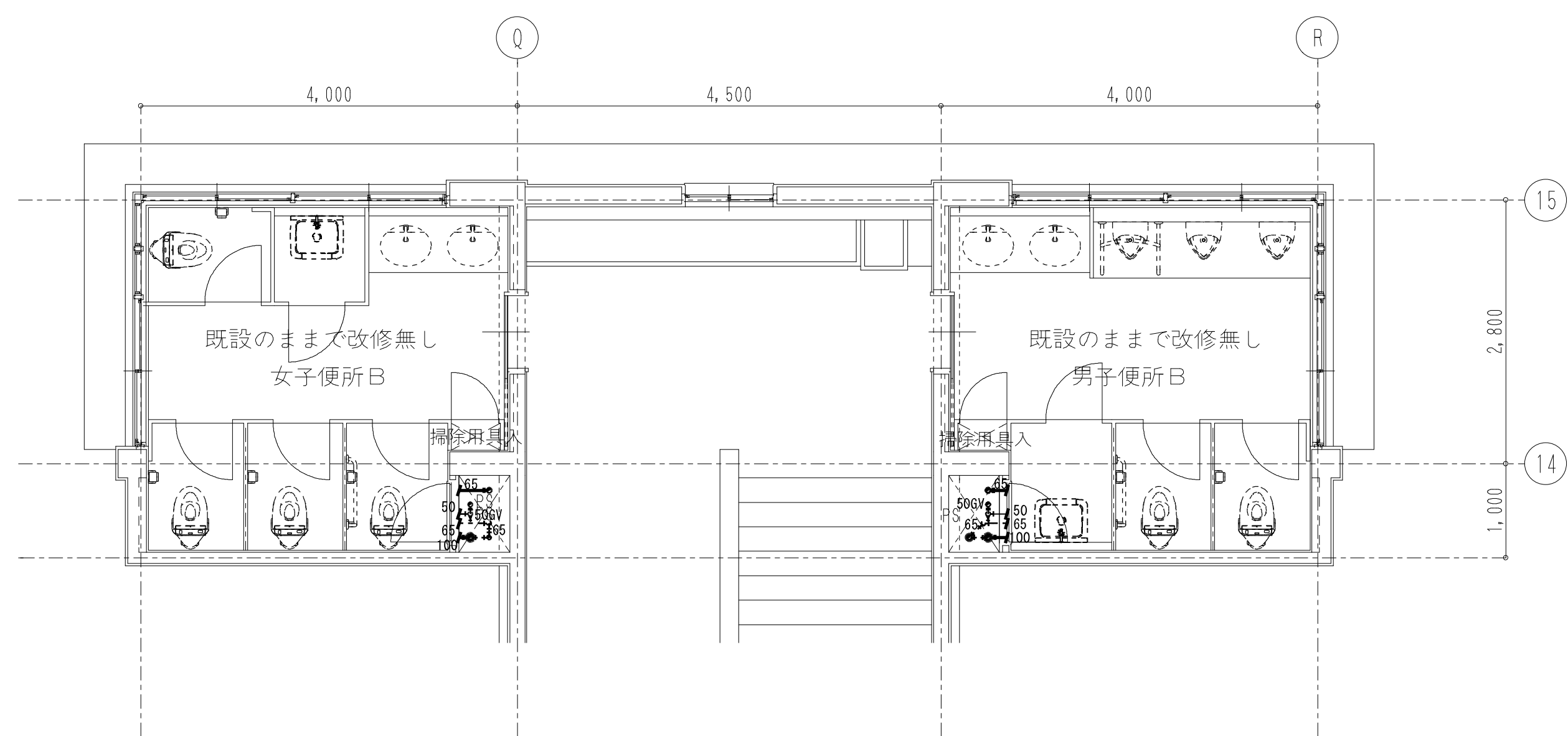
注記（3階における）1、便所内の給排水衛生設備（衛生器具）撤去・新設。なお、配管は既設管使用、1,000φ（一部床上露出給水管・リモデル排水管は新設）

2、本設計図における、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。
配管の位置・深さ等は想定し図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。

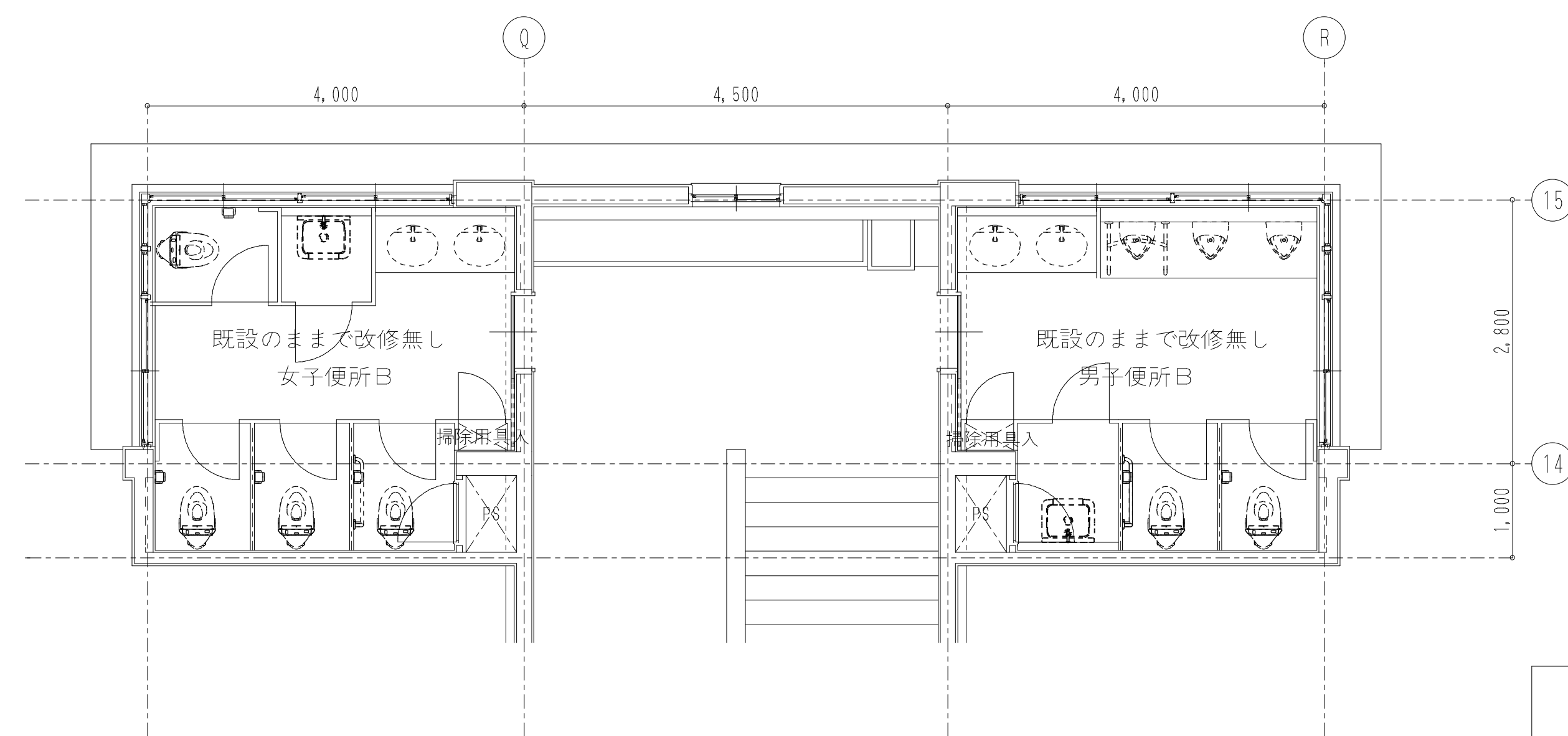
3階



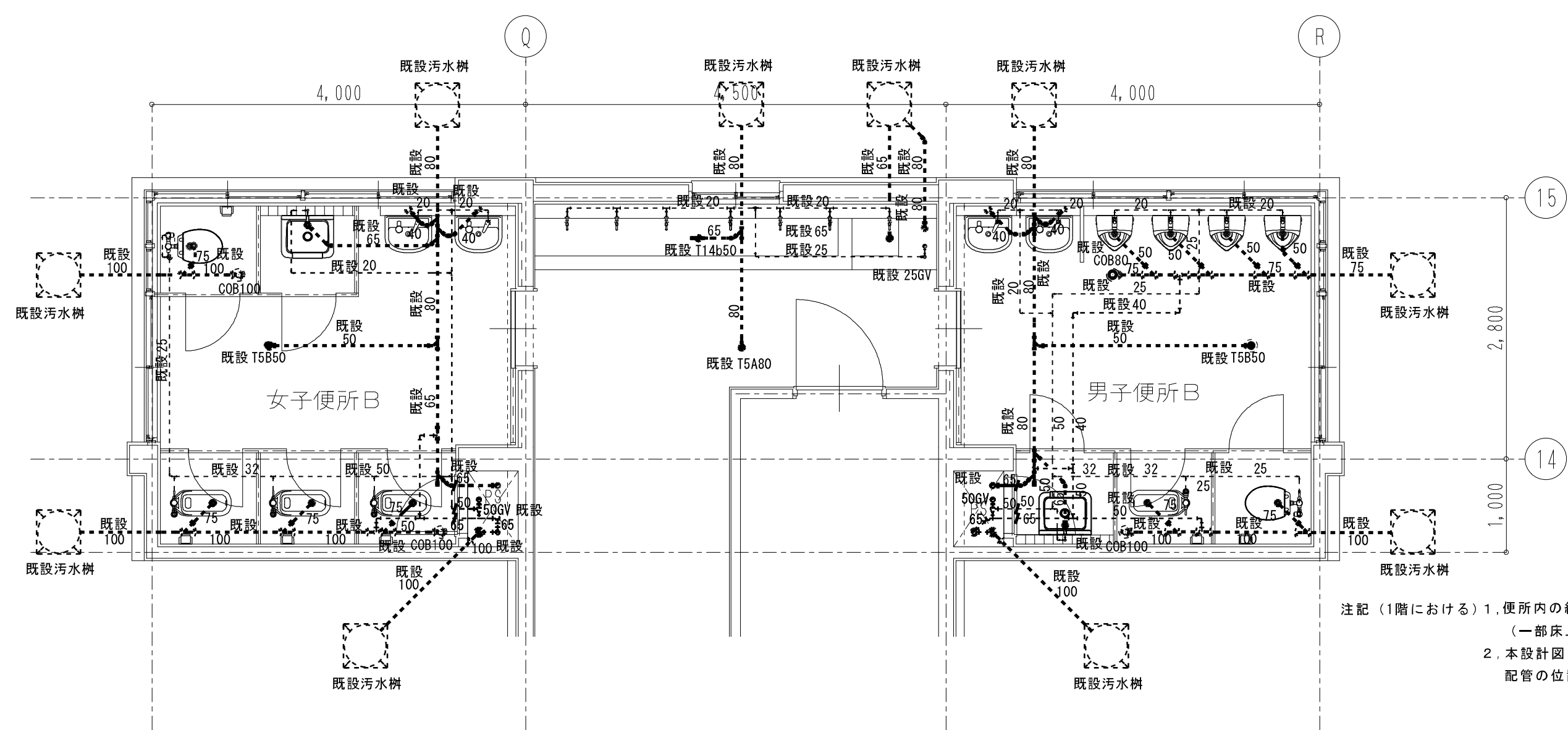
3階



2階

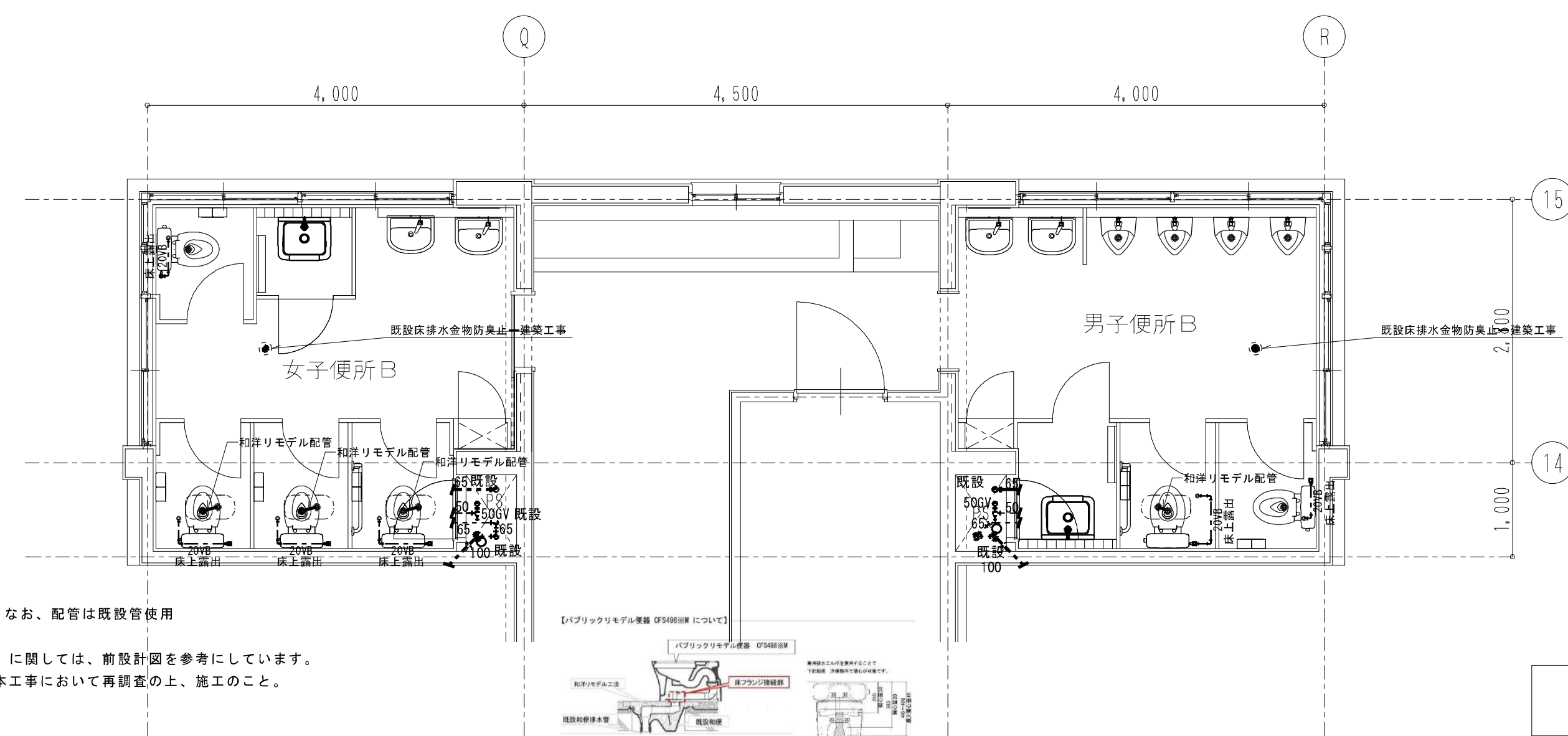


2階



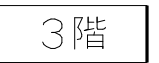
注記（1階における）1. 便所内の給排水衛生設備（衛生器具）撤去・新設。なお、配管は既設管使用（一部床下露出給水管・リモデル排水管は新設）。
2. 本設計図に示る、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。

1 階



1 階

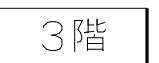
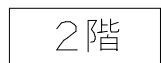
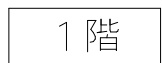
NOTE	株式会社 細田設計 県知事登録(8)1718号 1級建築士281144号 田中謙也			DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	校舎トイレ改修工事（東小）	機械設備工事 B便所平面詳細図	(A3 1/100) 1/50	M — 09



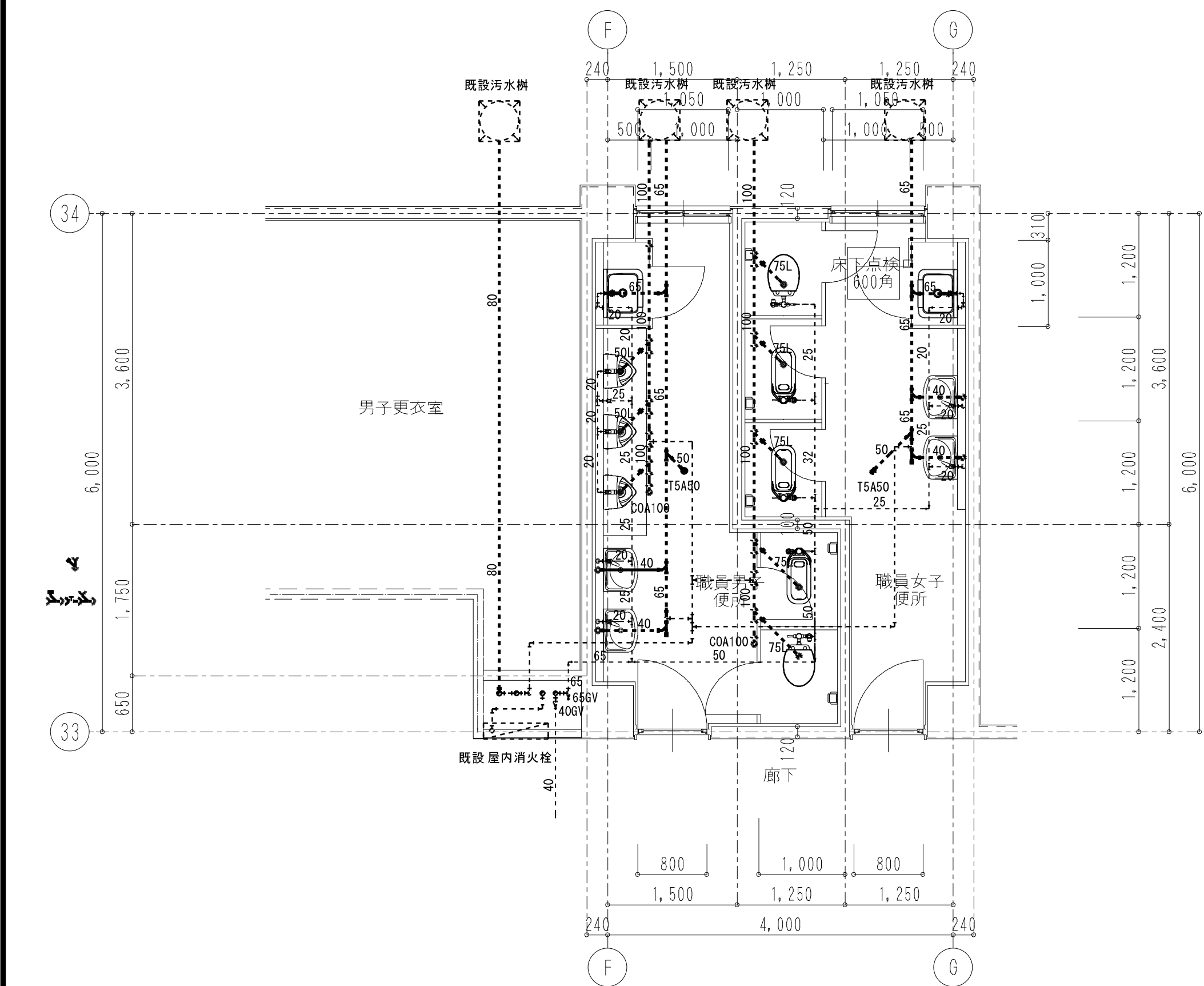
注記（1階における）1. 便所内の給排水衛生設備（衛生器具・配管）は全て、撤去・新設。なお、PS内・残置配管は除く。 2. 本設計図における、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。 配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。 3. 排水管の伸縮継手設置基準は公共住宅建築工事共通仕様書による。	注記（2階における）1. 便所内の給排水衛生設備（衛生器具）は全て、撤去・新設。なお、配管は既設管使用（一部床上露出給水管・リモデル排水管は新設）。 2. 本設計図における、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。 配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。	注記（3階における）1. 便所内の給排水衛生設備（小便器・大便器用手すり） 撤去・新設。なお、配管は既設管使用 2. 本設計図における、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。 配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。
改修後		

注記（2階における）1. 便所内の給排水衛生設備（衛生器具）は全て、撤去・新設、なお、配管は既設管使用（一部床上露出給水管・リモレ排水管は新設）。 2. 本設計図における、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。	注記（3階における）1. 便所内の給排水衛生設備（小便器・大便器用サすり）撤去・新設。なお、配管は既設管使用 2. 本設計図における、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。	改修後
---	--	------------

注記（３階における）１．便所内の給排水衛生設備（小便器・大便器用手すり）撤去・新設。なお、配管は既設管使用
 ２．本設計図における、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。
 配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。

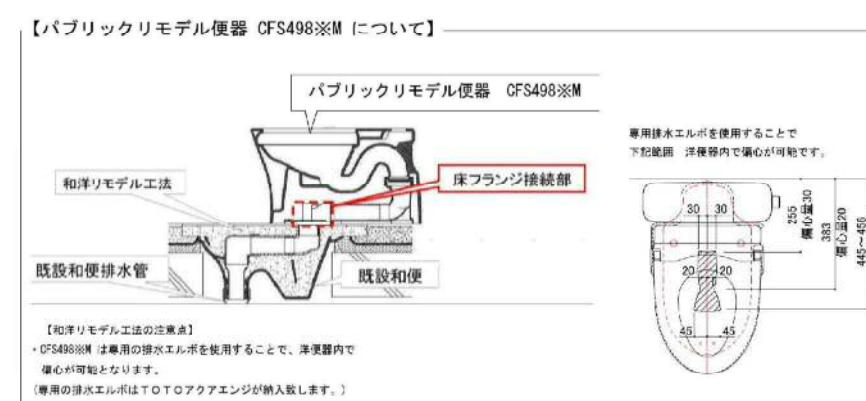
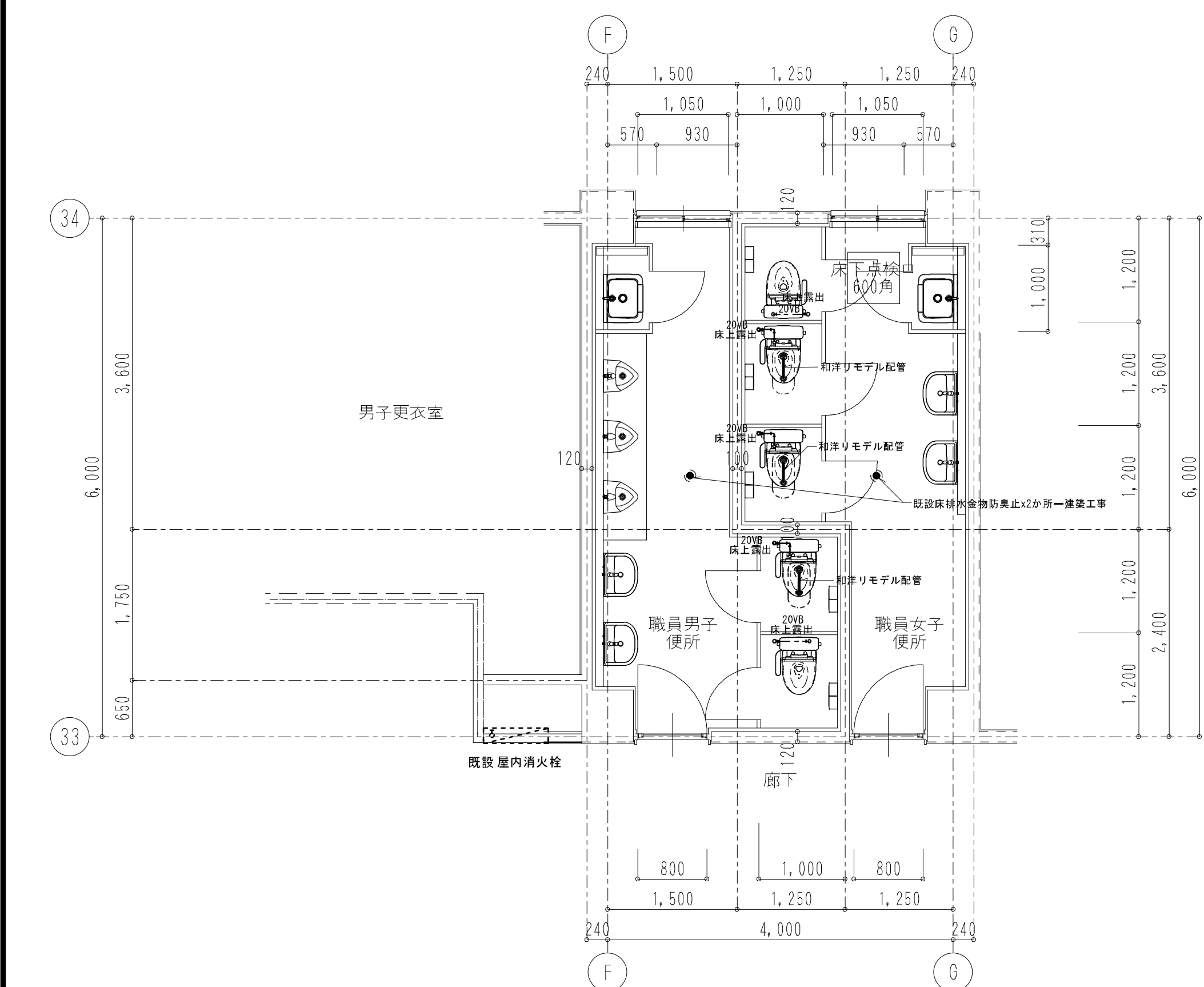


NOTE	株式会社 細 田 設 計 県知事登録 (8) 1718号 1級建築士281144号 田 中 謙 也			DATE	TITLE	ITEMS	SCALE	NO.
				JOB	校舎トイレ改修工事 (東小)	機械設備工事 C便所平面詳細図	(A3 1/100) 1/50	M — 1 O



注記（1階における）1. 便所内の給排水衛生設備（衛生器具）撤去・新設。なお、配管は既設管使用（一部床上露出給水管・リモデル排水管は新設）。

2. 本設計図における、給水管・排水管（通気管含む）に関しては、前設計図を参考にしています。配管の位置・深さ等は想定して図示している為、本工事において再調査の上、施工のこと。



NOTE	株式会社 細田設計 1級建築士281144号	県知事登録(8)1718号	田中謙也	DATE JOB	TITLE 校舎トイレ改修工事（東小）	ITEMS 機械設備工事 職員便所平面詳細図	SCALE (A3 1/100) 1/50	NO. M — 11
------	---------------------------	---------------	------	-------------	------------------------	---------------------------	-----------------------------	---------------